

# 海のそなえプロジェクト

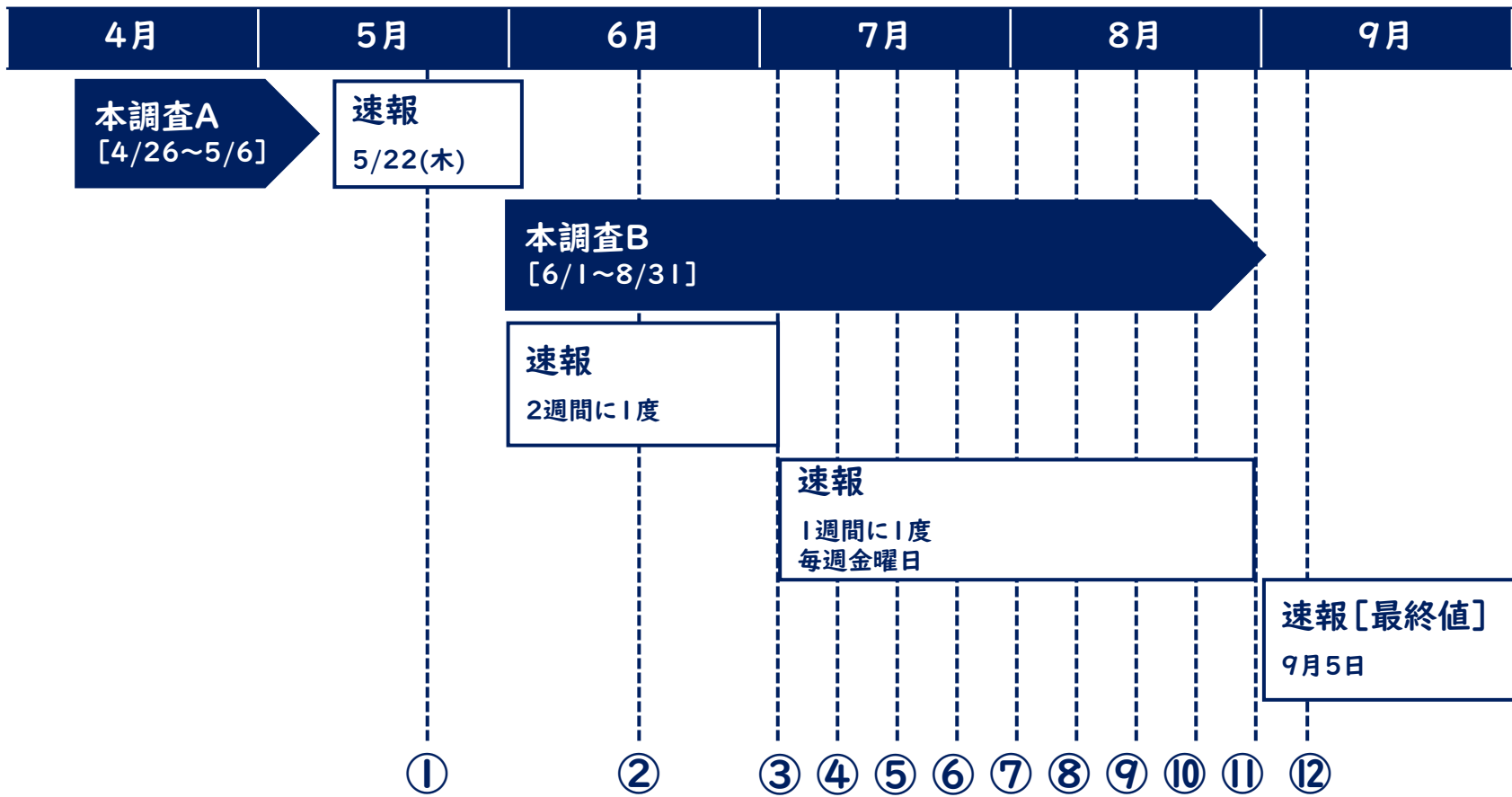
- 2025年夏季報道調査の報告 -





# 2025年夏季報道調査の報告

## 【速報値公表スケジュール】



### 【公表スケジュール】

#### GW

第1回: 5/22(木) [4/26(土)~5/6(火)対象]

#### 6月: 2週間に1度

第2回: 6/19(木) [6/1(日)~6/15(日)対象]

第3回: 7/3(木) [6/1(日)~6/30(月)対象]

#### 7月: 1週間に1度

第4回: 7/10(木) [6/1(日)~7/6(日)対象]

第5回: 7/18(金) [6/1(日)~7/14(月)対象]

第6回: 7/25(金) [6/1(日)~7/21(月)対象]

第7回: 8/1(金) [6/1(日)~7/28(月)対象]

#### 8月: 1週間に1度

第8回: 8/8(金) [6/1(日)~8/4(月)対象]

第9回: 8/15(金) [6/1(日)~8/11(月)対象]

第10回: 8/22(金) [6/1(日)~8/18(月)対象]

第11回: 8/29(金) [6/1(日)~8/25(月)対象]

#### 9月: 速報 [最終値]

第12回: 9/5(木) [6/1(日)~8/31(日)対象]



1. 2025年GW(4月26日～5月6日)の報道調査結果
2. 2025年6月1日～9月30日の報道調査結果
3. 2025年6月・7月・8月・9月のデータ比較
4. 2024年と2025年のデータ比較(7, 8月)
5. 都道府県別の水難事故の特徴
6. 水域別の水難事故の特徴
7. 追加分析, 要因分析
8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

参考資料 水難事故の要因の記述, 2025年海水浴場等での救助実績速報値

# 1. 2025年GW(4月26日~5月6日)の報道調査結果

# 1. 2025年GW(4月26日～5月6日)の報道調査結果

## 概要

2025年4月26日～5月6日(GW)の期間において、報道された全国の水難事故は18件、水難事故者数は31人であった。死亡は約5割、生存は約5割。

## 水域別

水難事故の発生場所は沖合が最も多く(48%)、次いで港・漁港(26%)であった。海域(沖合、海岸、港・漁港)が全体の8割を占める。

水難事故件数：18件 水難事故者数：31人

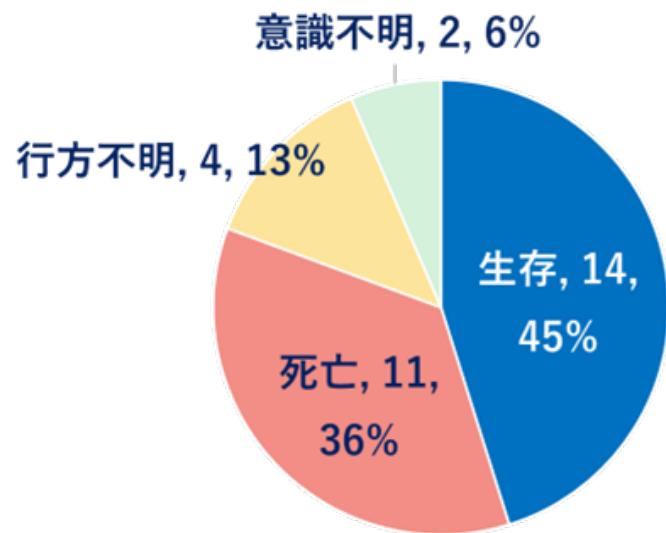


Fig. 1.1 水難事故の内訳 (生存, 死亡, 意識不明, 行方不明)

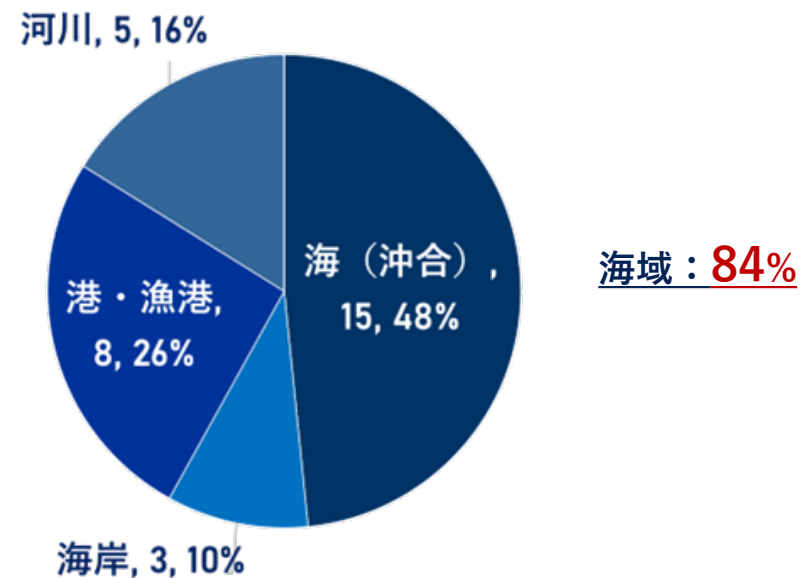


Fig. 1.2 水難事故の発生場所

# 1. 2025年GW(4月26日~5月6日)の報道調査結果

## 性別

男性は約5割を占め、女性の7.5倍であった。

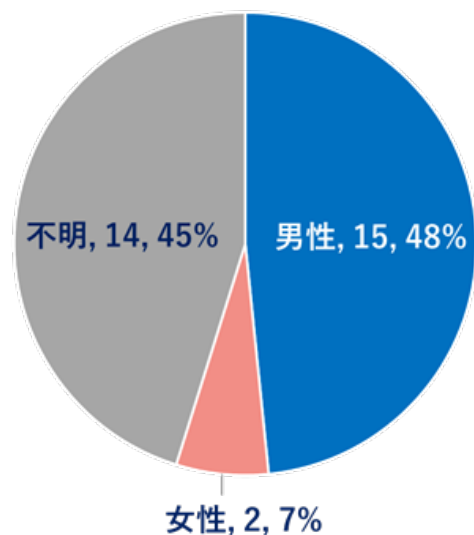
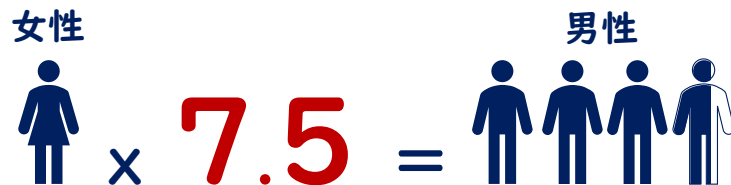


Fig. 1.3 水難事故者の性別

## 年代

50代が最も多く(16%),次いで40代,60代(10%)1人であった。どの年代も男性の方が多い。

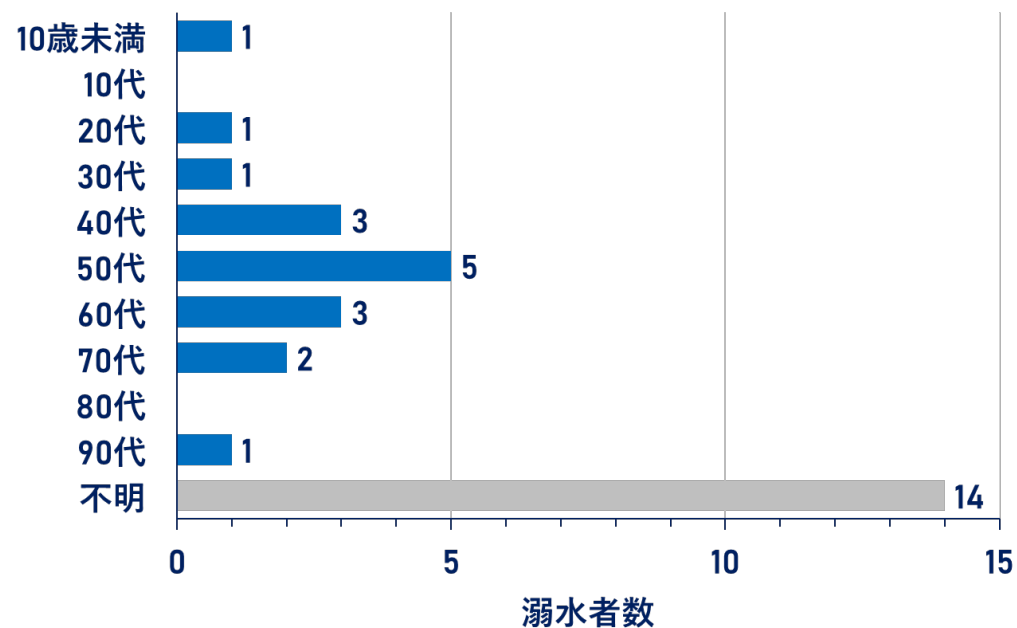


Fig. 1.4 水難事故者の年齢別・性別

# 1. 2025年GW(4月26日～5月6日)の報道調査結果

## 行為別

水難事故発生前の行為は、**漁業が最も多く(45%)**、次いで釣り(26%)、ダイビング、転落(6%)であった。

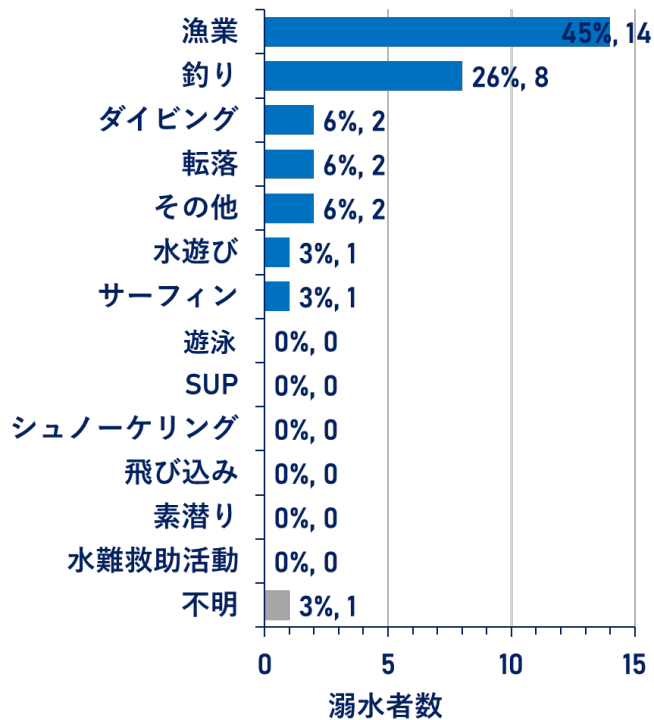


Fig. 1.5 水難事故発生前の行為



# 1. 2025年GW(4月26日～5月6日)の報道調査結果

## 午前/午後

水難事故発生の時間帯は午後が多く, 約5割であった。

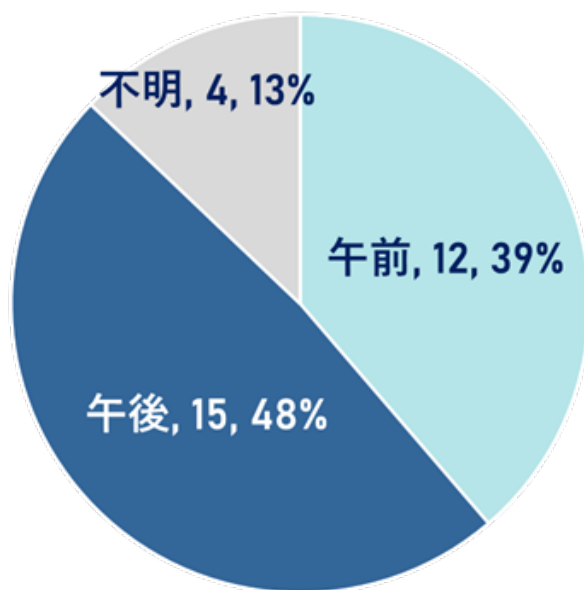


Fig. 1.7 水難事故発生の時間帯

## 国籍

水難事故者の国籍では, 外国人が45% (14人)であった。

内訳はインドネシア(1), 中国(1), 不明(12)であり, 不明が多い。

インドネシア(1), 中国(1),  
不明(12)

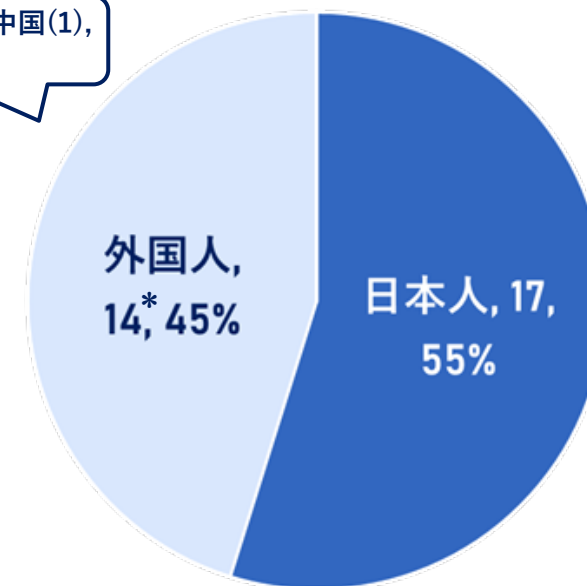


Fig. 1.8 水難事故者の国籍

\*漁業13人, 船から転落1人

# 1. 2025年GW(4月26日～5月6日)の報道調査結果

## 利用状況[単独/複数]

複数利用が多く64%占めていた。

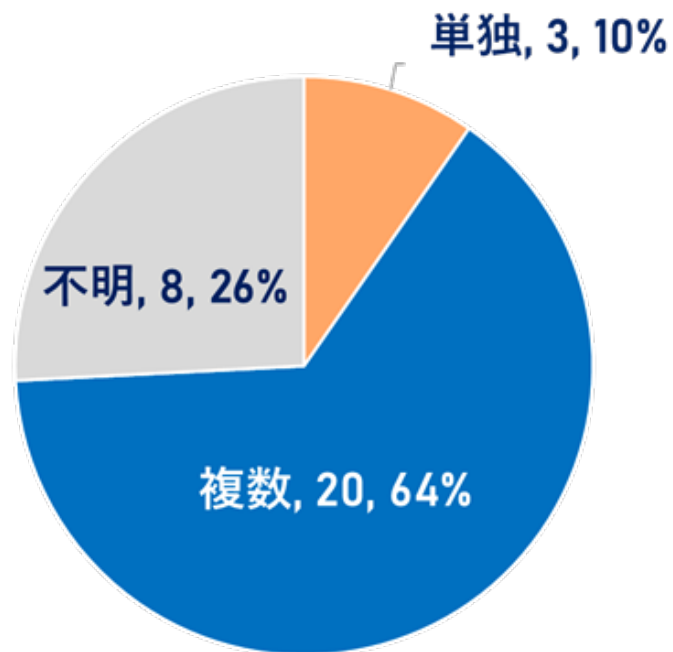


Fig. 1.7 水難事故者の利用状況 [単独利用・複数利用]

## 水難事故の発生場所と居住地の関係

来訪者による事故が52%と多く、中でも外国籍半数占めていた。

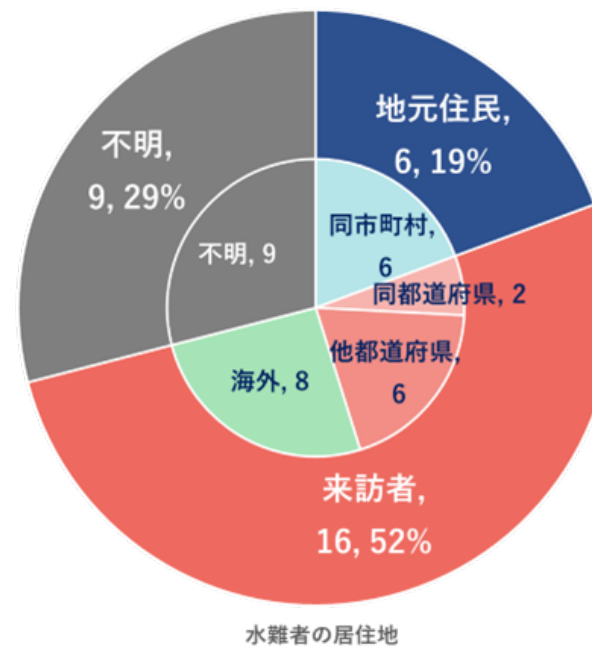


Fig. 1.8 水難事故者の国籍

# 1. 2025年GW(4月26日～5月6日)の報道調査結果

- 2025年4月26日～5月6日のGW期間において、報道された全国の水難事故は18件、水難事故者数は31人(死亡:約5割, 生存:約5割)であった。
- 水難事故の発生場所は沖合が最も多く、次いで港・漁港であった。海域(沖合, 海岸, 港・漁港)が全体の8割を占める。
- 水難事故者は、男性は約5割を占め、女性の7.5倍であった。
- 水難事故者は、50代が最も多く、次いで40代、60代であった。
- 水難事故発生前の行為は、漁業が最も多く、次いで釣り、ダイビング、転落であった。
- 水難事故発生の時間帯は午後が多く約5割であった。
- 水難事故者の国籍では、外国人が45%であり、国籍は不明が多い。
- 水難事故者は複数利用が64%占めていた。
- 来訪者による事故が52%と多く、中でも外国籍半数占めていた。

## 2. 2025年6月1日～9月30日の報道調査結果

## 2. 2025年6月1日～9月30日の報道調査結果

### 概要

2025年6月1日～9月30日の期間において、報道された全国の水難事故は337件、水難事故者数は401人であった。死亡は約7割、生存は約2割。

### 水域別

水難事故の発生場所は海岸が最も多く(38%)、次いで河川(30%)であった。海域(沖合, 海岸, 港・漁港)が全体の6割を占める。

水難事故件数: **337**件 水難事故者数: **401**人

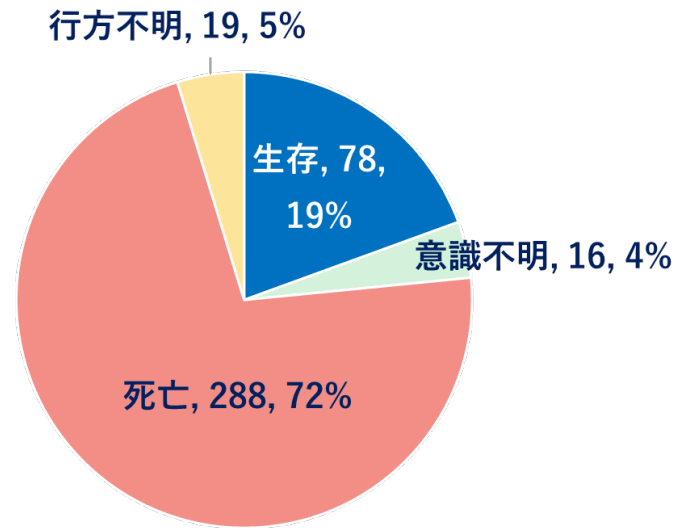


Fig. 1.1 水難事故の内訳 (生存, 死亡, 意識不明, 行方不明)

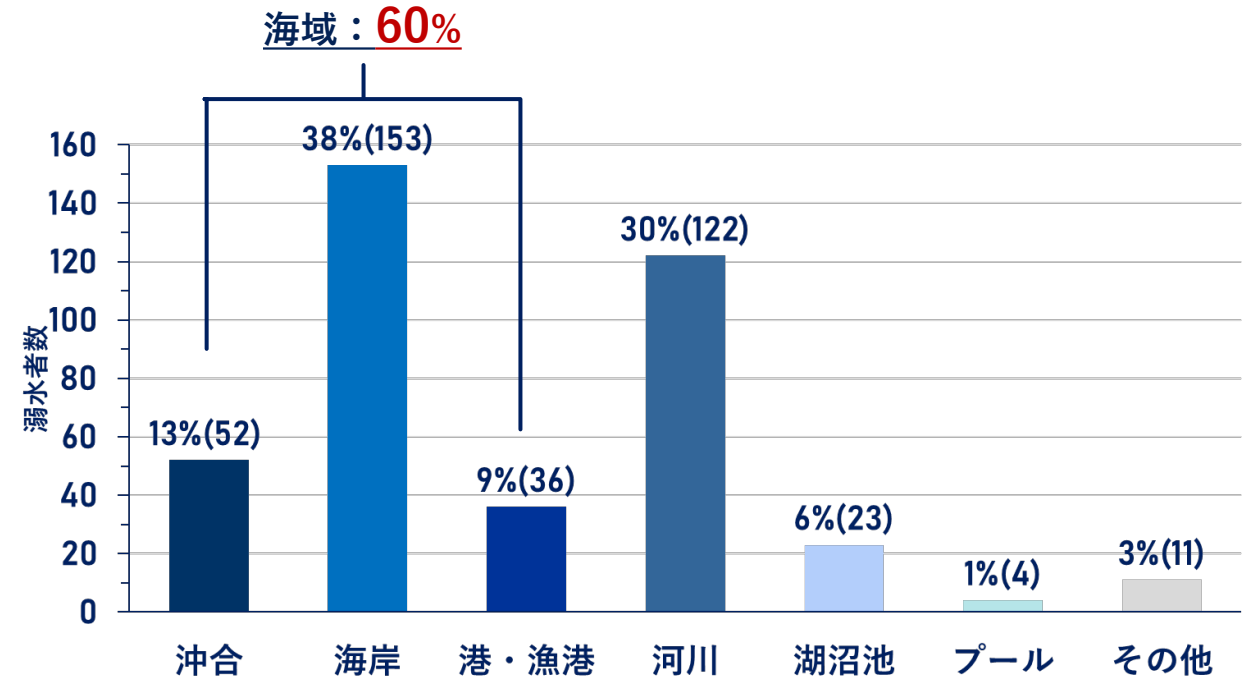


Fig. 1.2 水難事故の発生場所

# 2. 2025年6月1日～9月30日の報道調査結果

## 性別

男性は約8割を占め、女性の3.8倍であった。

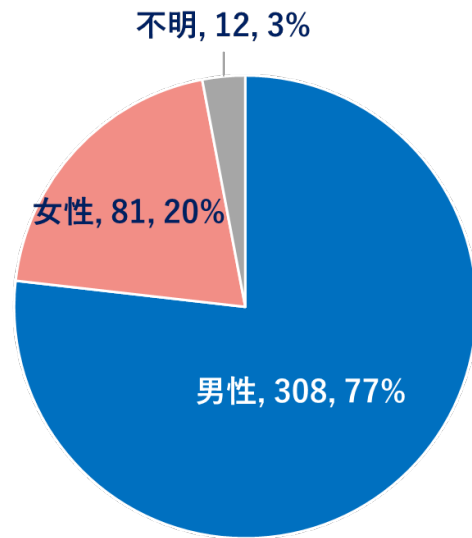
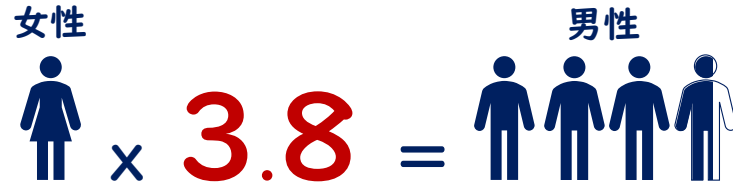


Fig. 1.3 水難事故者の性別

## 年代

70代が最も多く(72人), 次いで10代(61人), 60代(51人)であった。どの年代も男性の方が多い。

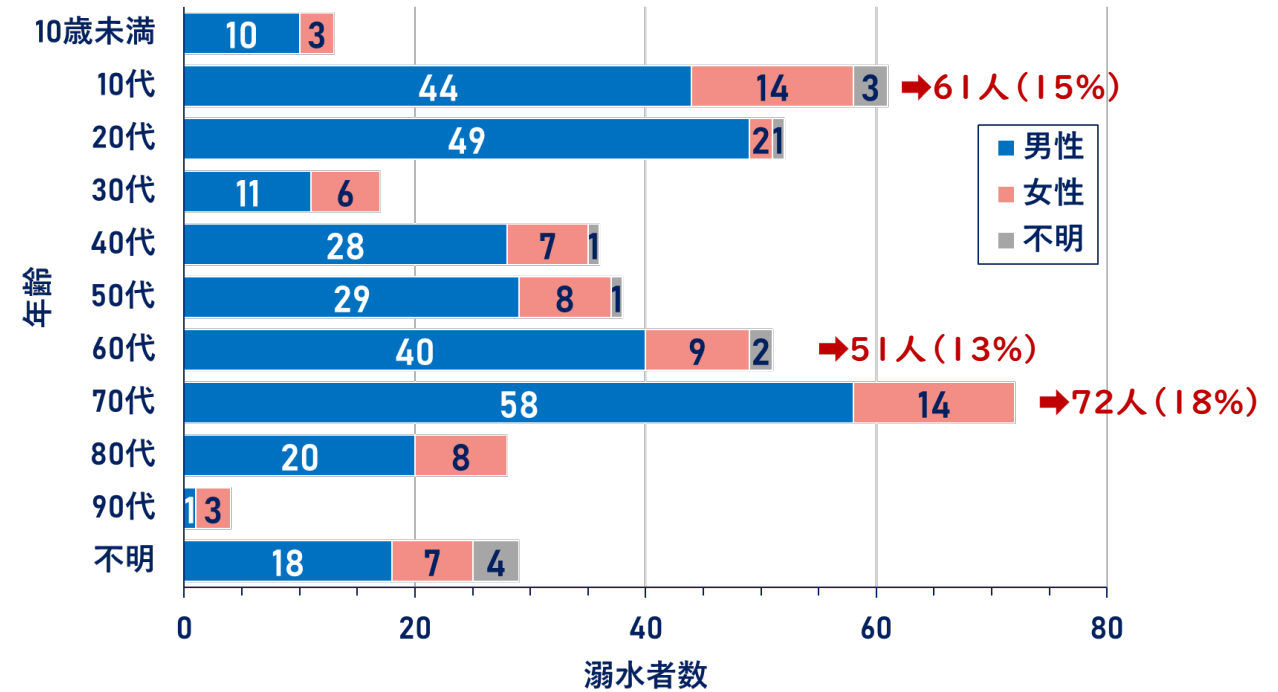


Fig. 1.4 水難事故者の年齢別・性別

## 2. 2025年6月1日～9月30日の報道調査結果

### 行為別

水難事故発生前の行為は、遊泳が最も多く(19%)、次いで釣り(11%)、水遊び(10%)であった。

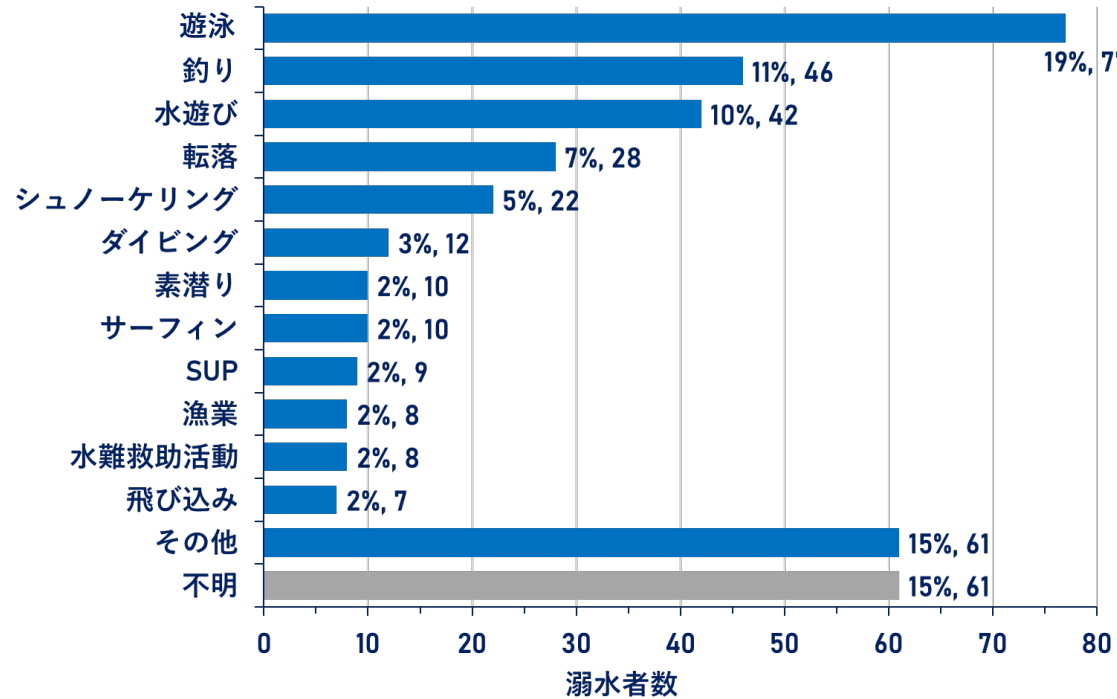


Fig. 1.5 水難事故発生前の行為

### TOP5



遊泳

19%



釣り

11%



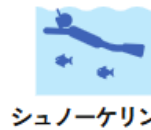
水遊び

10%



転落

7%



シュノーケリング

5%

# 2. 2025年6月1日～9月30日の報道調査結果

## 都道府県別

調査期間での水難事故は、**沖縄県が最も多く**(42件, 10%), 次いで**北海道**(30件, 8%), **神奈川**(22件, 6%)であった。

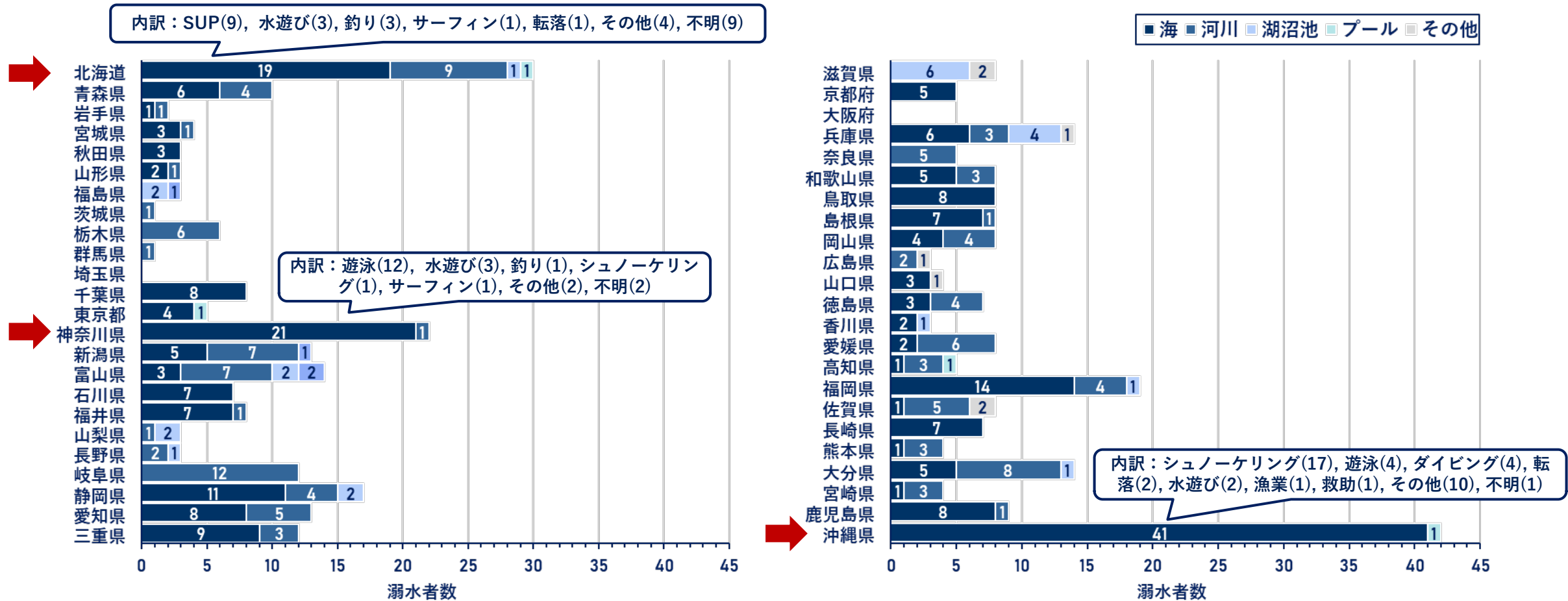


Fig. 1.6 都道府県別水難事故者数

## 2. 2025年6月1日～9月30日の報道調査結果

### 午前/午後

水難事故発生の時間帯は午後が多く、約5割であった。

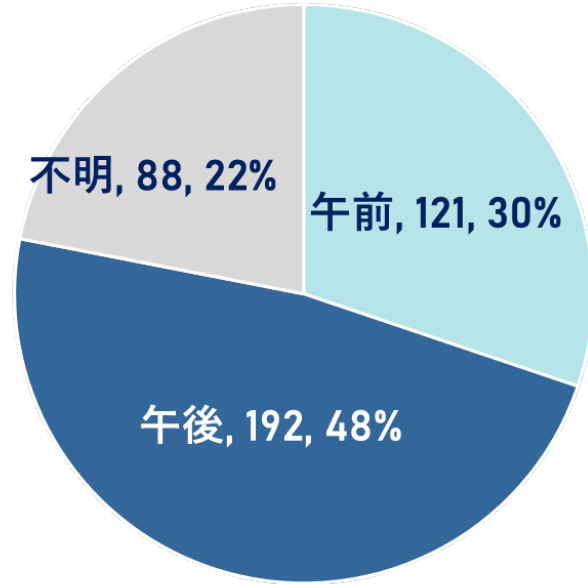


Fig. 1.7 水難事故発生の時間帯

### 国籍

水難事故者の国籍では、外国人が9% (37人)であった。

内訳はインドネシア(6)、ベトナム(5)、アメリカ(4)、韓国(4)、台湾(3)、ブラジル(3)、中国(2)、パキスタン(2)、インド、ネパール、フィリピン、マレーシア、ミャンマー、モンゴル(各1)、不明(2)であり、アジア圏が多い。

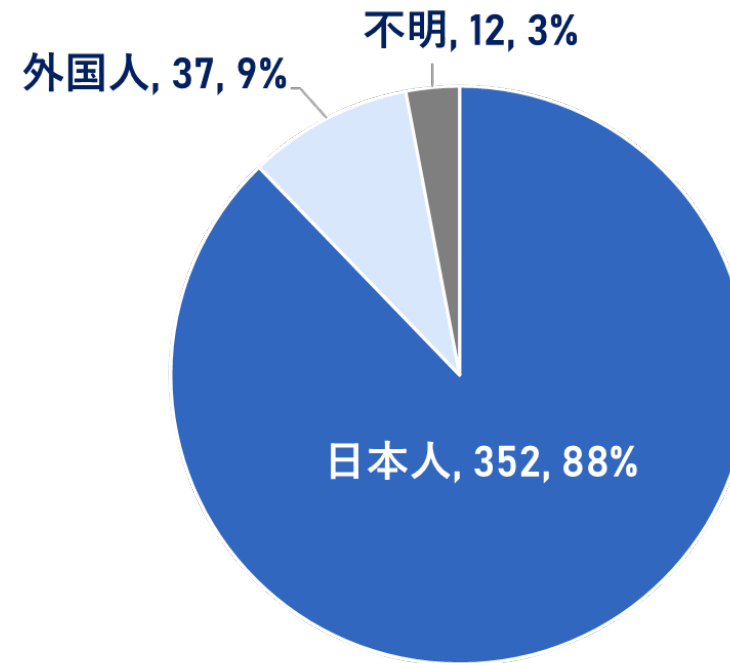


Fig. 1.8 水難事故者の国籍

# 2. 2025年6月1日～9月30日の報道調査結果

## 日付

水難事故が最も多かったのは、**8月1日(金)**と**8月4日(月)**で、それぞれ11人であった。  
曜日別では、**日曜日(23%)**に事故が多く、次いで**土曜日(20%)**であった。

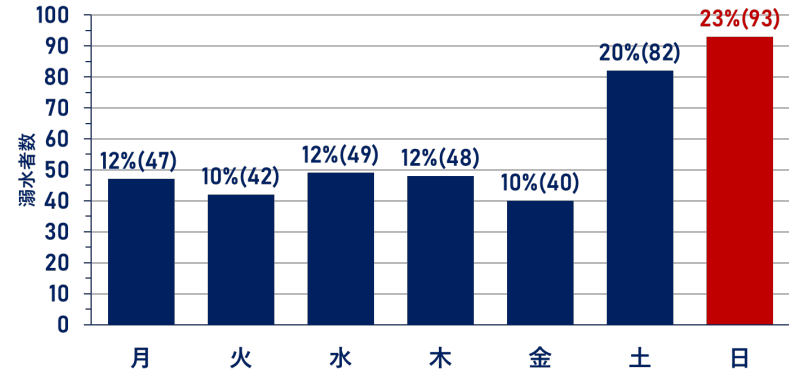


Fig. 1.10 曜日別水難事故者数（6月～9月平均値）

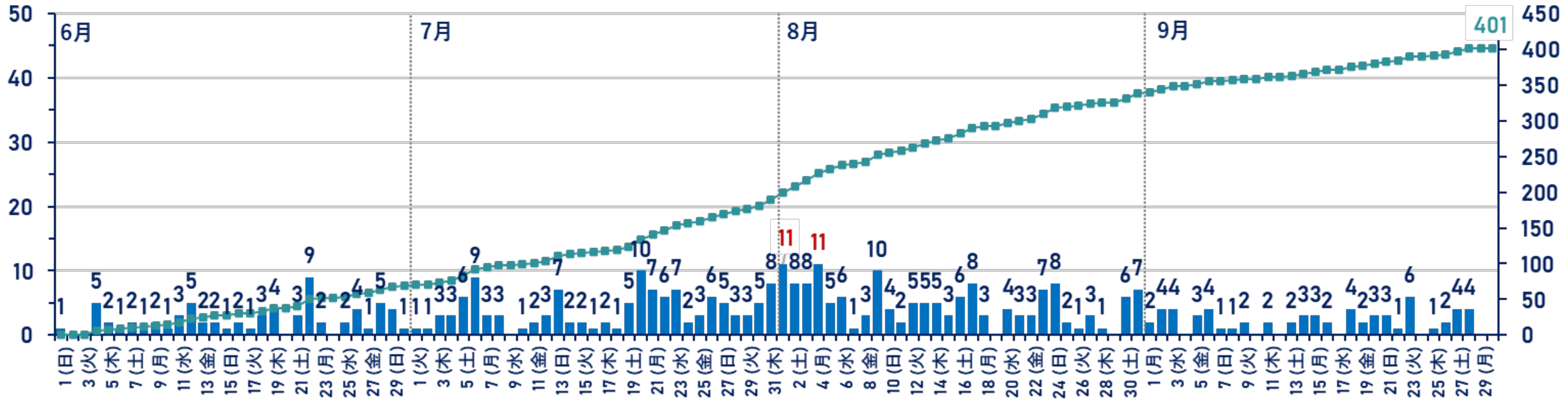


Fig. 1.9 水難事故の推移（6月～9月）



## 2. 2025年6月1日～9月30日の報道調査結果

- 2025年6月1日～9月30日の期間において、報道された全国の水難事故は337件、水難事故者数は401人（死亡：約7割、生存：約2割）であった。
- 水難事故の発生場所は海岸が最も多く、次いで河川であった。海域（沖合、海岸、港・漁港）が全体の6割を占める。
- 水難事故者は、男性は約8割を占め、女性の3.8倍であった。
- 水難事故者は、70代が最も多く、次いで10代、60代であった。
- 水難事故発生前の行為は、遊泳が最も多く、次いで釣り、水遊びであった。
- 水難事故発生の時間帯は午後が多く約5割であった。
- 水難事故者の国籍では、外国人が9%であり、アジア圏が多い。
- 水難事者は複数利用が64%占めていた。
- 水難事故が最も多かったのは、8月1日、4日で、曜日別では日曜日が多く、次いで土曜日であった。

### 3. 2025年6月・7月・8月・9月のデータ比較

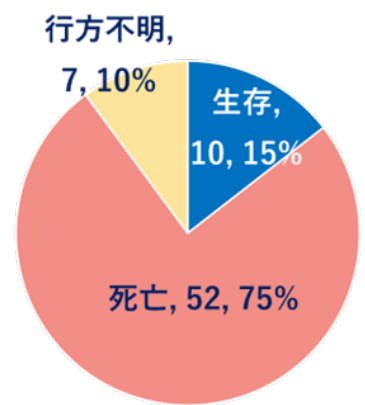
### 3. 2025年6月・7月・8月・9月のデータ比較

#### 概要・内訳

水難事故者数は、6月:69人、7月:120人、8月:149人、9月:63人であり、8月が最も多い。

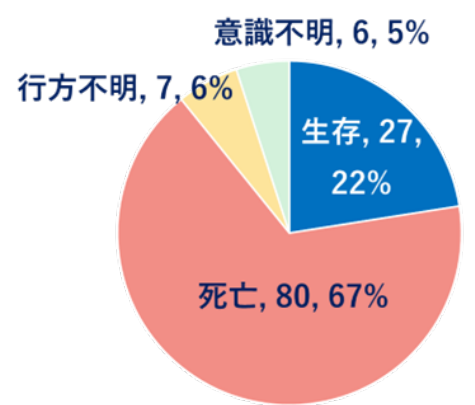
死者・行方不明者は6月は85%、7月は73%、8月は75%、9月は78%と、7割を超えていた。

6月: **69**人



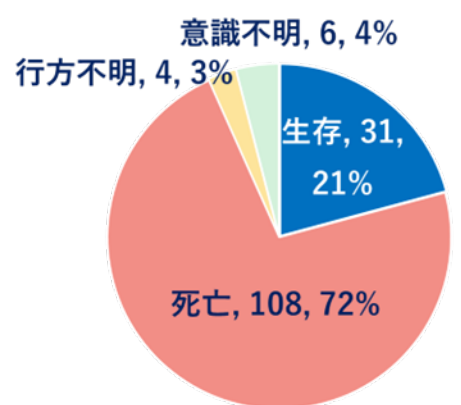
死者・行方不明者; **85%**

7月: **120**人



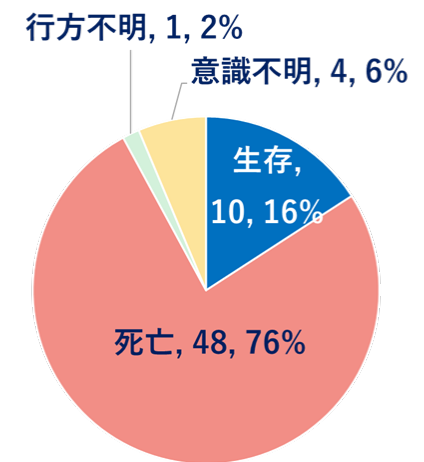
死者・行方不明者; **73%**

8月: **149**人



死者・行方不明者; **75%**

9月: **63**人



死者・行方不明者; **78%**

Fig. 3.1 水難事故者の内訳 [6月・7月・8月・9月]



# 3. 2025年6月・7月・8月・9月のデータ比較

## 水域

水難事故の発生場所は、6月は河川(38%)が最も多く、次いで海岸(35%)であったが、7, 8, 9月は海岸が最も多く(38%, 41%, 35%), 次いで河川(26%, 29%, 33%)であった。水難事故の多い水域が時期によって異なる。

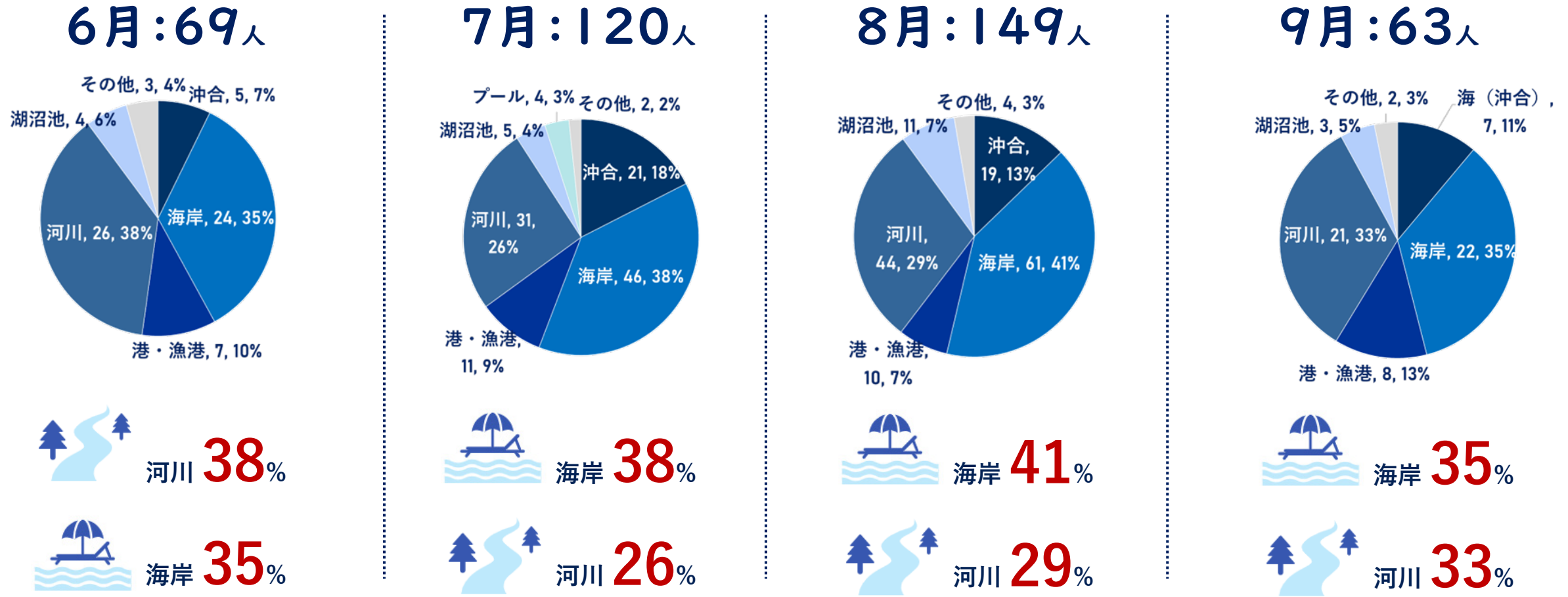


Fig. 3.2 水難事故の発生地域 [6月・7月・8月・9月]

# 3. 2025年6月・7月・8月・9月のデータ比較

## 年代

年代別で水難事故が最も多いのは、**6月は60代(25%)**、**7月は10代(21%)**、**8月は70代(18%)**、**9月は70代(30%)**であった。

**水難事故の多い年代が時期によって異なる**。この理由として水域を利用するアクティビティの違いが考えられる(P.25参照)。

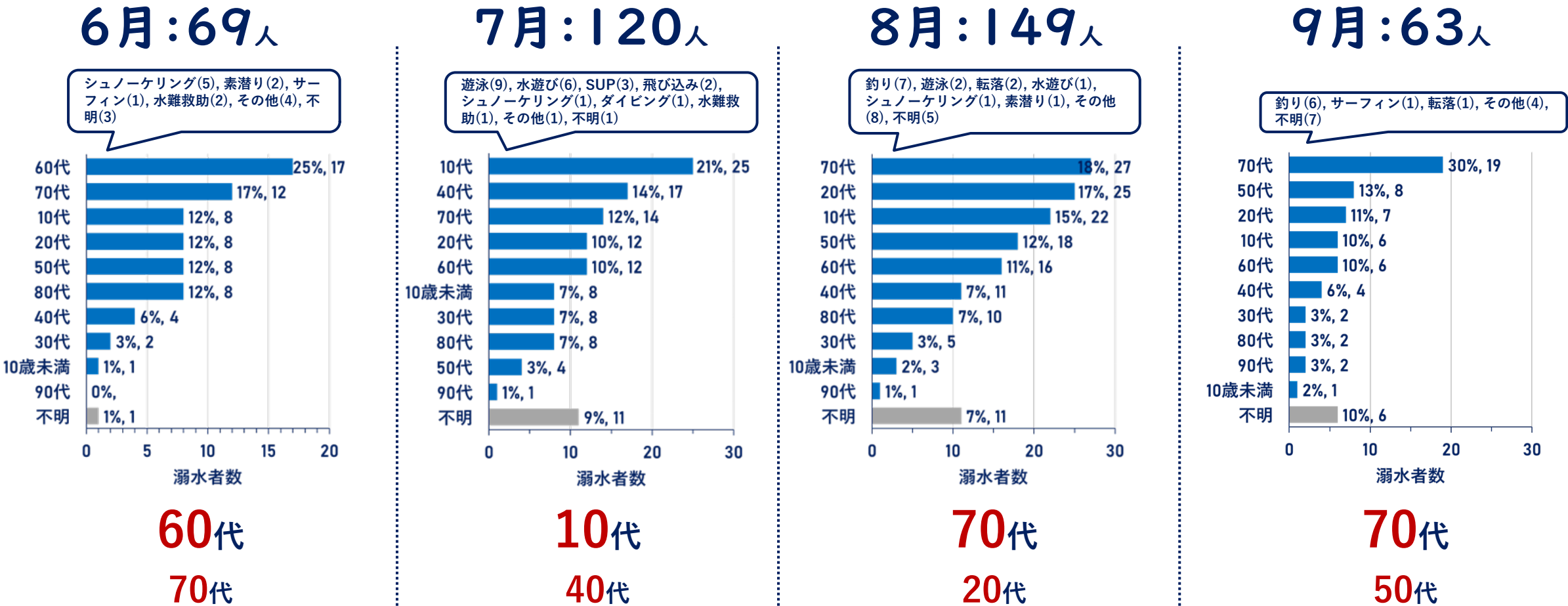


Fig. 3.3 年代別水難事故者数 [6月・7月・8月・9月]

# 3. 2025年6月・7月・8月・9月のデータ比較

**性別**  
男性の割合は、6月は74%、7月は79%、8月は75%、9月は79%であった。  
男性が多い特徴は時期によって変わらない。

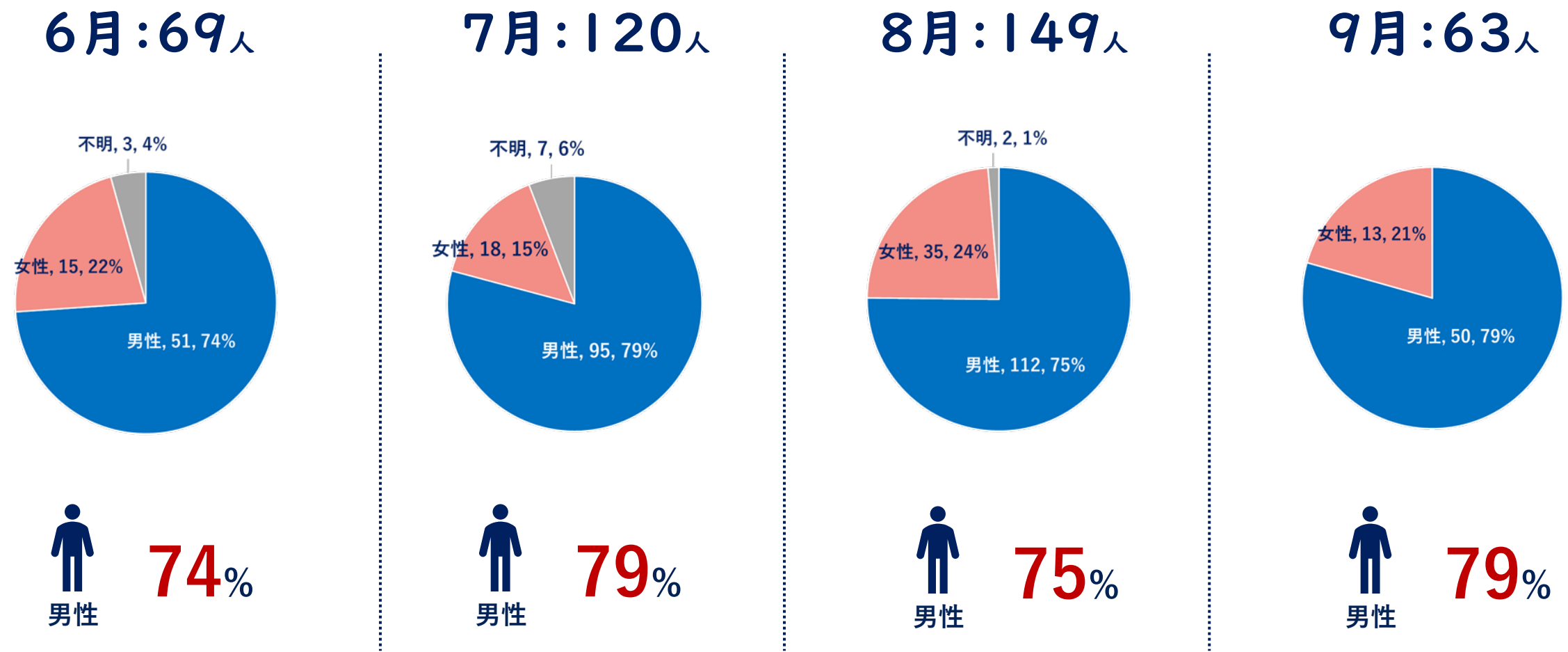


Fig. 3.4 水難事故者の性別 [6月・7月・8月・9月]

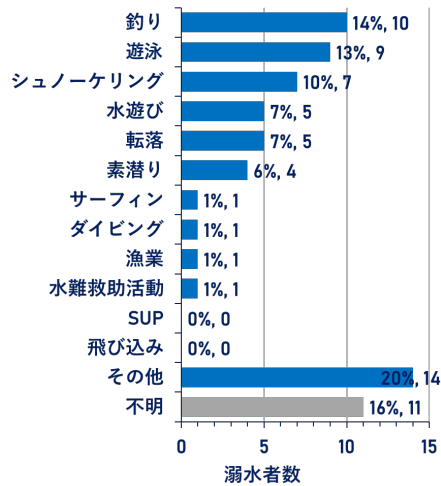
# 3. 2025年6月・7月・8月・9月のデータ比較

## 行為別

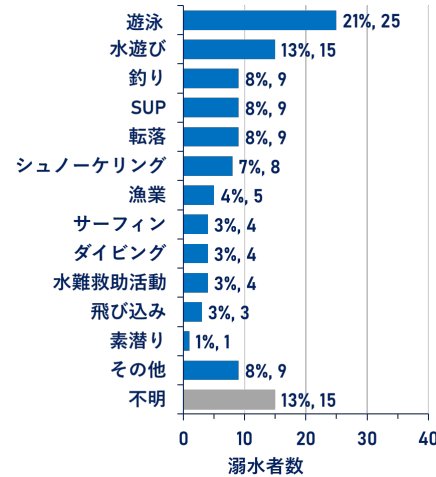
水難事故者の行為で6月は釣り、7月、8月は遊泳、9月は遊泳・釣り(同率)であった。釣りはすべての時期で上位3以内であった。

水難事故者の行為が時期によって異なる。

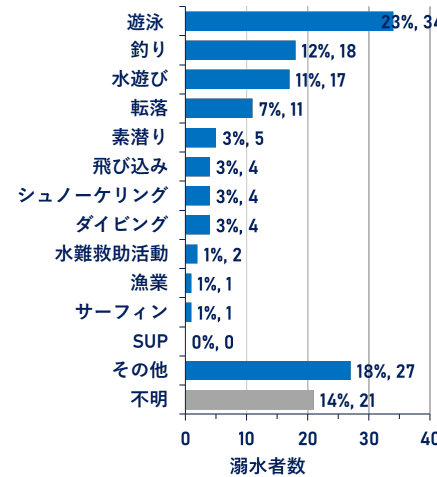
6月:69人



7月:120人



8月:149人



9月:63人

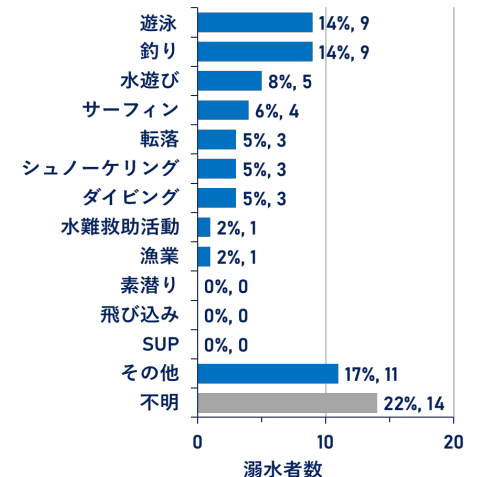


Fig. 3.5 水難事故者の行為 [6月・7月・8月・9月]

# 3. 2025年6月・7月・8月・9月のデータ比較

**利用状況 [単独/複数]**  
 いずれの時期も複数利用が多い。一方、6月、9月は7、8月に比べて単独利用が多い。この理由として水域を利用するアクティビティの違いが考えられる (P.25参照)。

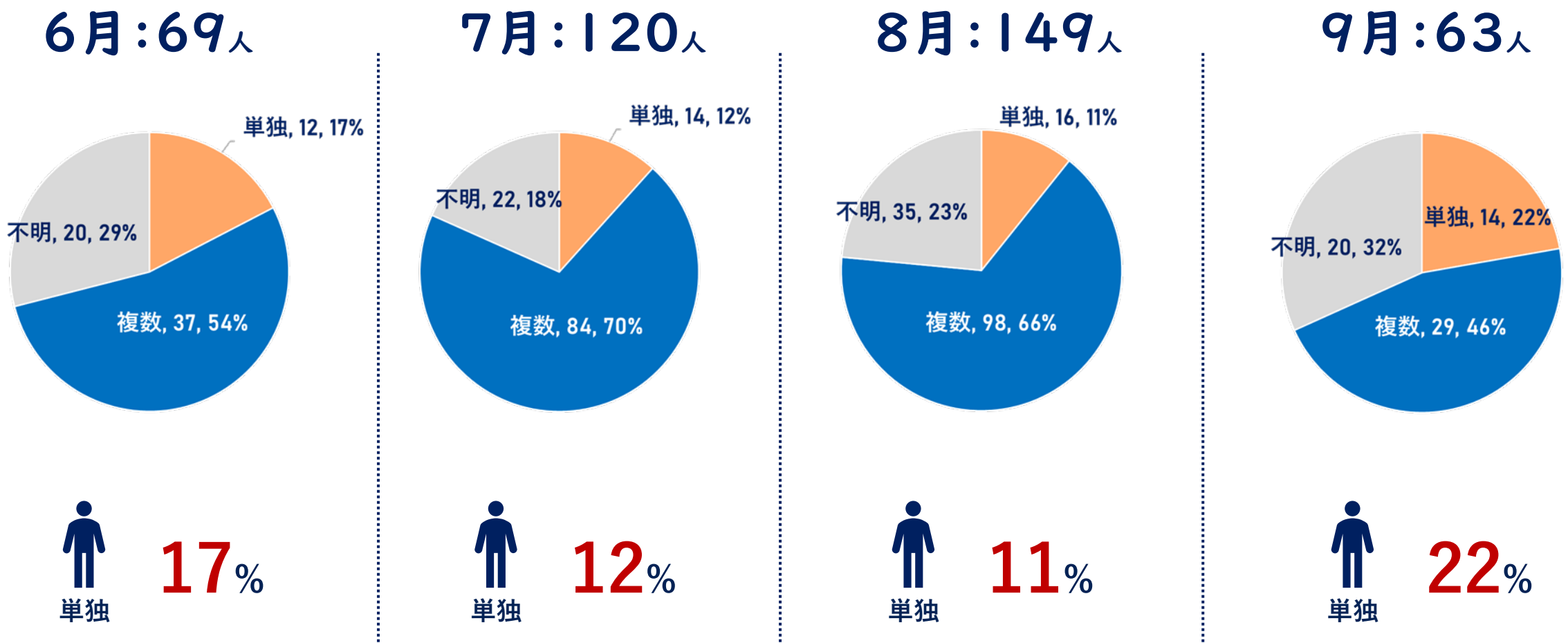


Fig. 3.6 水難事故者の利用状況 (単独, 複数) [6月・7月・8月・9月]

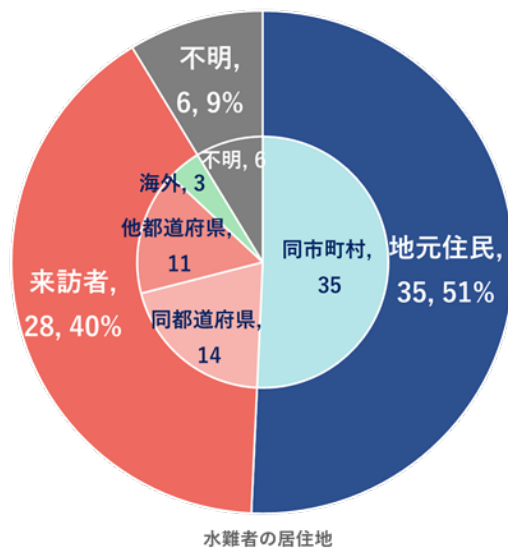
# 3. 2025年6月・7月・8月・9月のデータ比較

## 水難事故の発生場所と居住地の関係

6月は地元住民(同市町村)による溺水事故が51%と多く, 7, 8月は来訪者による溺水事故が48%と多く, 9月は地元住民と来訪者が同率(38%)であった。

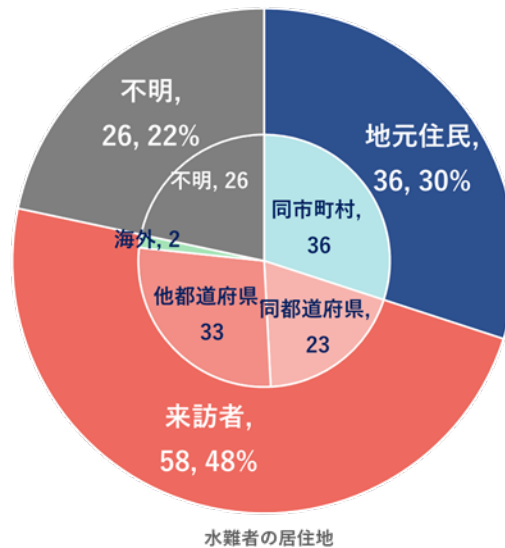
6月, 7・8月, 9月で水難事故にあう人の属性(居住地)が異なる。

6月: 69人



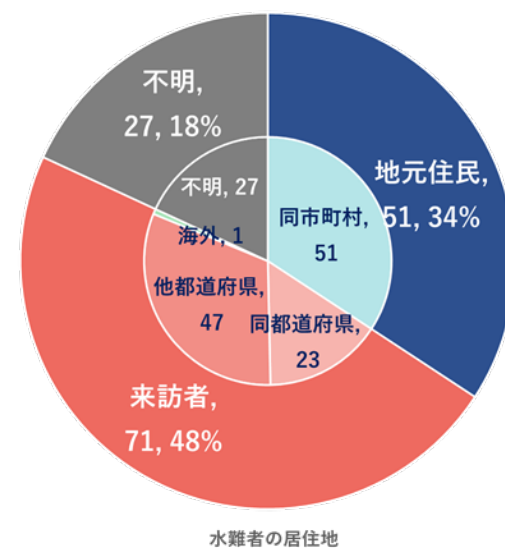
地元住民 **51%**  
来訪者 **40%**

7月: 120人



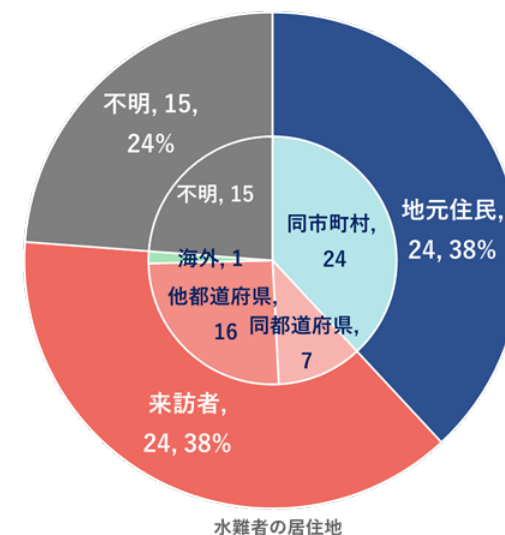
地元住民 **30%**  
来訪者 **48%**

8月: 149人



地元住民 **34%**  
来訪者 **48%**

9月: 63人



地元住民 **38%**  
来訪者 **38%**

Fig. 3.7 水難事故の発生場所と居住地 [6月・7月・8月・9月]

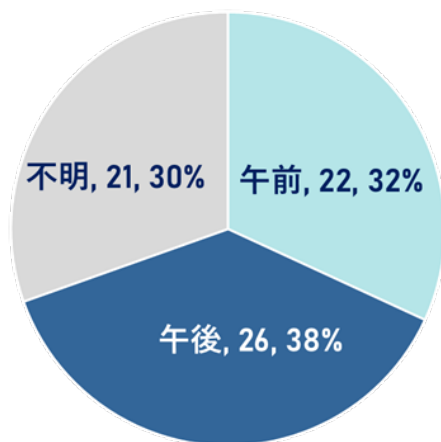
### 3. 2025年6月・7月・8月・9月のデータ比較

#### 時間帯

午後に水難事故が起こる割合は、**6月は38%、7月は55%、8月は47%、9月は48%**であった。

午後に水難事故が多い特徴は時期によって変わらない。

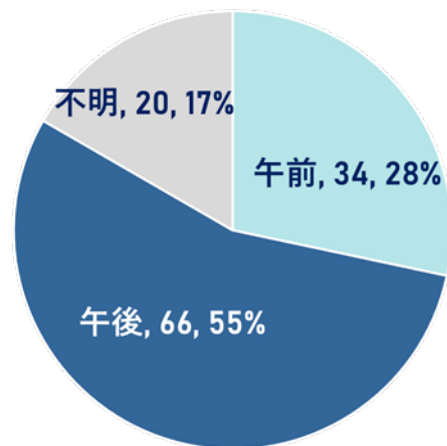
6月:69人



午前 **32%**

午後 **38%**

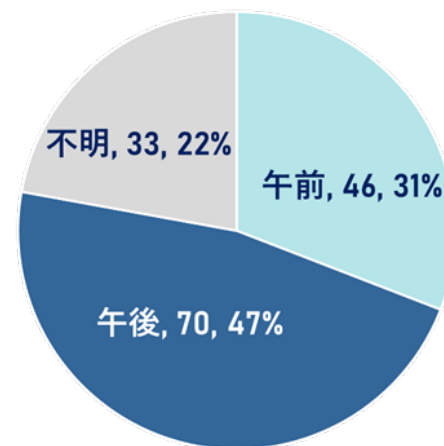
7月:120人



午前 **28%**

午後 **55%**

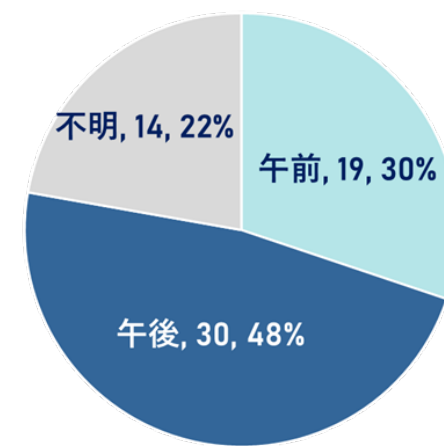
8月:149人



午前 **31%**

午後 **47%**

9月:63人



午前 **30%**

午後 **48%**

Fig. 3.8 水難事故発生の時間帯 [6月・7月・8月・9月]

# 3. 2025年6月・7月・8月・9月のデータ比較

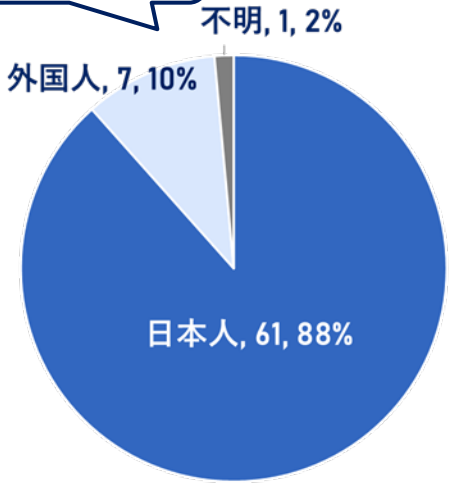
## 国籍

水難事故者数が異なることも影響し、外国人の割合は、6月は10%、7月は5%、8月は9%、9月は18%であり、1割を超えていた。9月が最も割合が高い。

時期によらずアジア圏の出身者が多い。

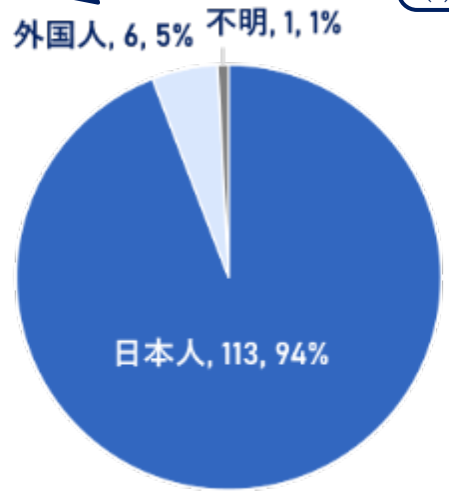
6月: 69人

ベトナム(2), アメリカ(1), インドネシア(1), 韓国(1), 中国(1), ミャンマー(1)



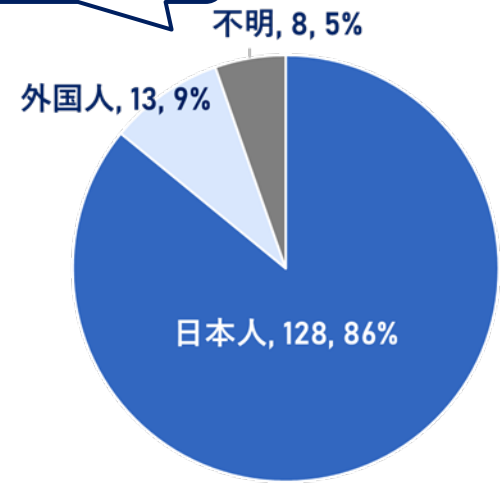
7月: 120人

ベトナム(2), 韓国(2), ブラジル(1), マレーシア(1)



8月: 149人

インドネシア(3), ブラジル(2), 台湾(2), インド(1), パキスタン(1), フィリピン(1), ベトナム(1), 不明(2)



9月: 63人

アメリカ(3), インドネシア(2), 韓国(1), 台湾(1), 中国(1), ネパール(1), パキスタン(1), モンゴル(1)

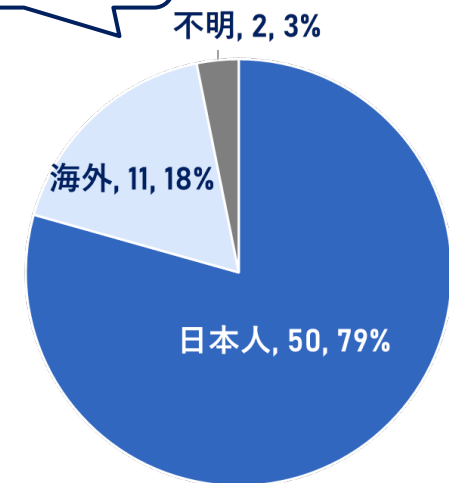


Fig. 3.9 水難事故者の国籍 [6月・7月・8月・9月]

### 3. 2025年6月・7月・8月・9月のデータ比較

- 水難事故者数は、6月：69人、7月：120人、8月：149人、9月：63人であり、8月が最も多かった。
- 水難事故の発生場所は、6月は河川が最も多く、次いで海岸であったが、7・8・9月は海岸が最も多く、次いで河川であった。水難事故の多い水域が時期によって異なる。
- 水難事故の多い年代が時期によって異なる。この理由のひとつとして、時期による水難事故者の行為の違いが考えられ、6月は釣り、7月・8月は遊泳、9月は遊泳・釣り（同率）が最も多かった。
- 6月は地元住民（同市町村）による溺水事故が多く、7・8月は来訪者による溺水事故が多く、9月は地元住民と来訪者が同率であった。水難事故にあう人の属性（居住地）が時期によって異なる。
- いずれの時期も複数利用が多い。一方、6月・9月は7・8月に比べて単独利用が多い。
- 男性が多い特徴は時期によって変わらない。
- 午後に水難事故が多い特徴は時期によって変わらない。
- 外国人の水難事故者は、時期によらずアジア圏の出身者が多い。

## 4. 2024年と2025年のデータ比較(7, 8月)

# 4. 2024年と2025年のデータ比較（7, 8月）

## 概要

水難事故者数は、2024年は265人、2025年は269人であり、2カ年の水難事故者数は同程度で、週別推移の特徴も似ている。

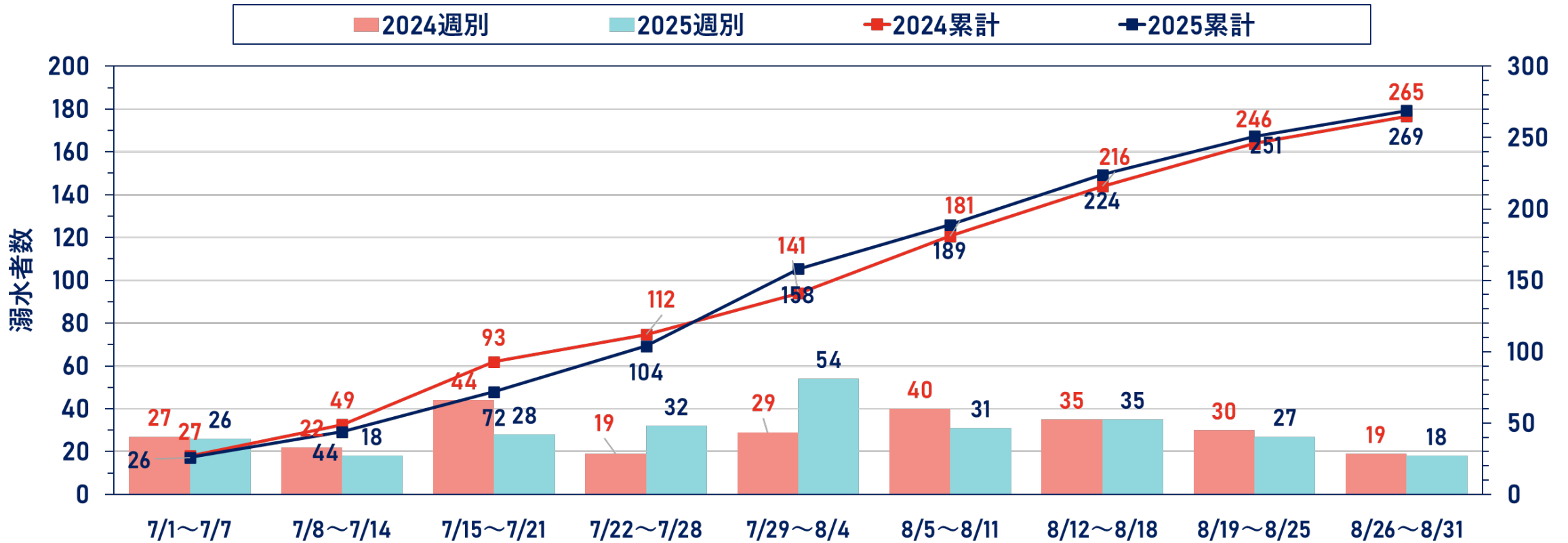


Fig. 4.1 7月・8月に発生した溺水事故数の週別推移（2024年・2025年）

# 4. 2024年と2025年のデータ比較 (7, 8月)

## 内訳

2025年は、2024年に対して生存が13人減、死亡16人増、行方不明1人減、意識不明2人増であった。

死者・行方不明者の割合は、2024年、2025年ともに7割程度(69%, 74%)。2カ年で特徴に大きな違いはない。

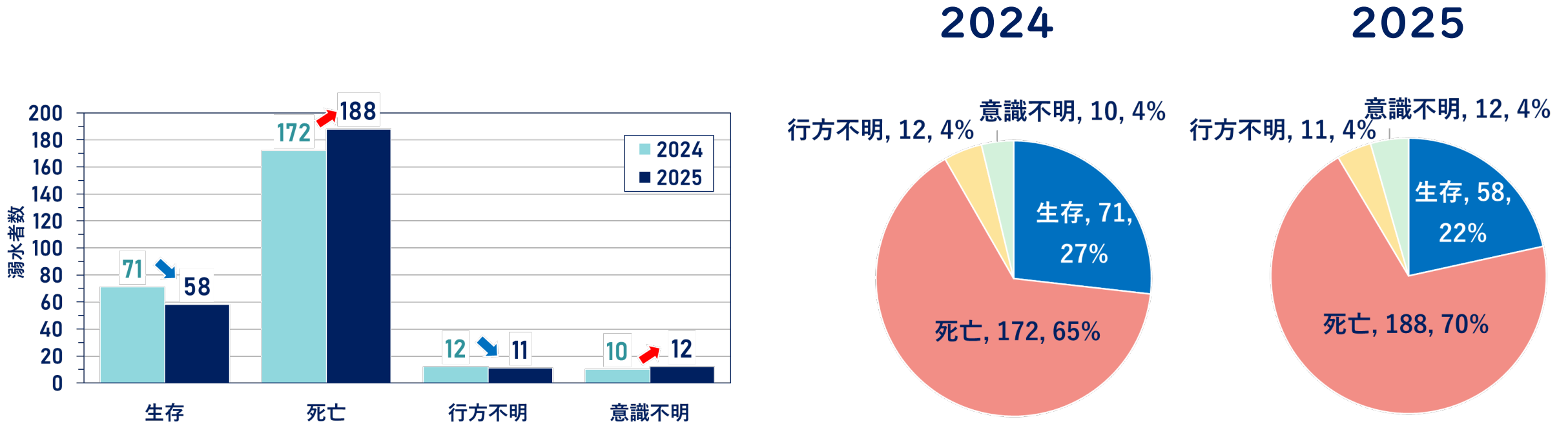


Fig. 4.2 水難事故者の内訳 [2024年・2025年]

# 4. 2024年と2025年のデータ比較 (7, 8月)

**水域別**  
水難事故が発生しやすい場所の特徴はほぼ同じであり、海岸が最も多く、次いで河川であった。  
海域での事故は、2024年、2025年ともに全体の約6割を占める。2カ年で特徴に大きな違いはない。

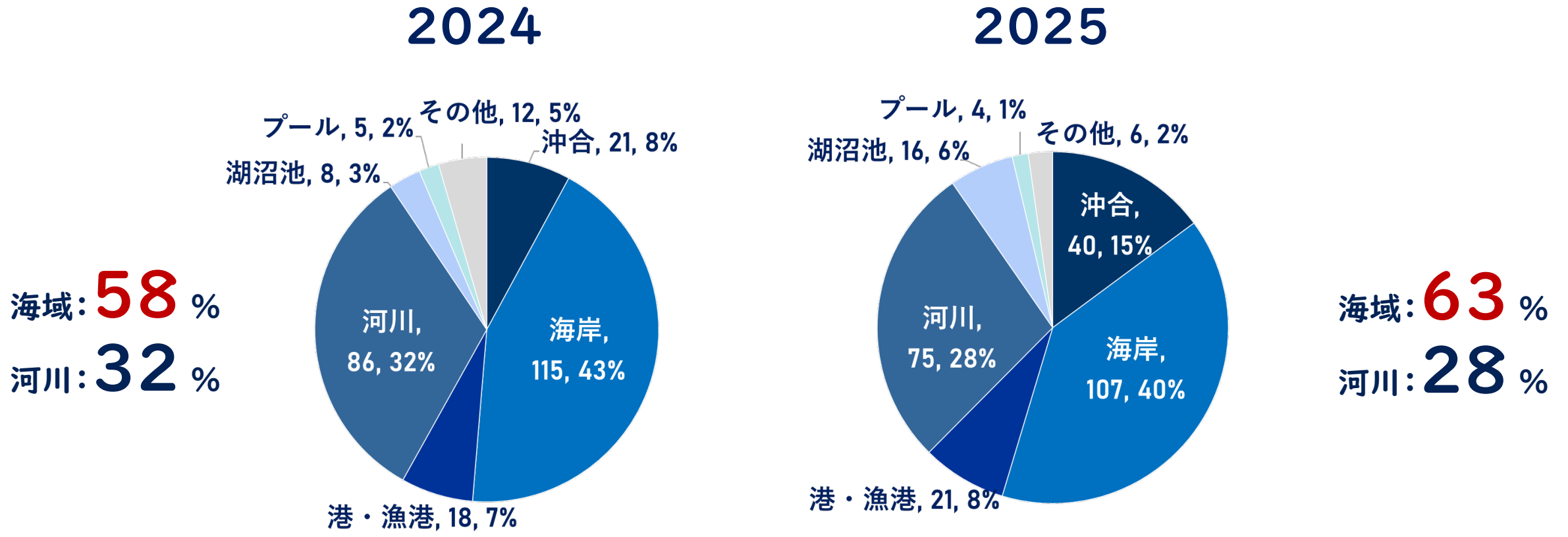


Fig. 4.3 水難事故の発生場所 [2024年・2025年]

# 4. 2024年と2025年のデータ比較 (7, 8月)

## 年代別

2025年では、2024年に比べて、10代(46人→47人)、40代(13人→28人)、50代(21人→22人)、60代(26人→28人)、70代(40人→41人)、90代(1人→2人)の事故が増加した。一方、10歳未満(19人→11人)、20代(48人→37人)、30代(16人→13人)の事故が減少した。

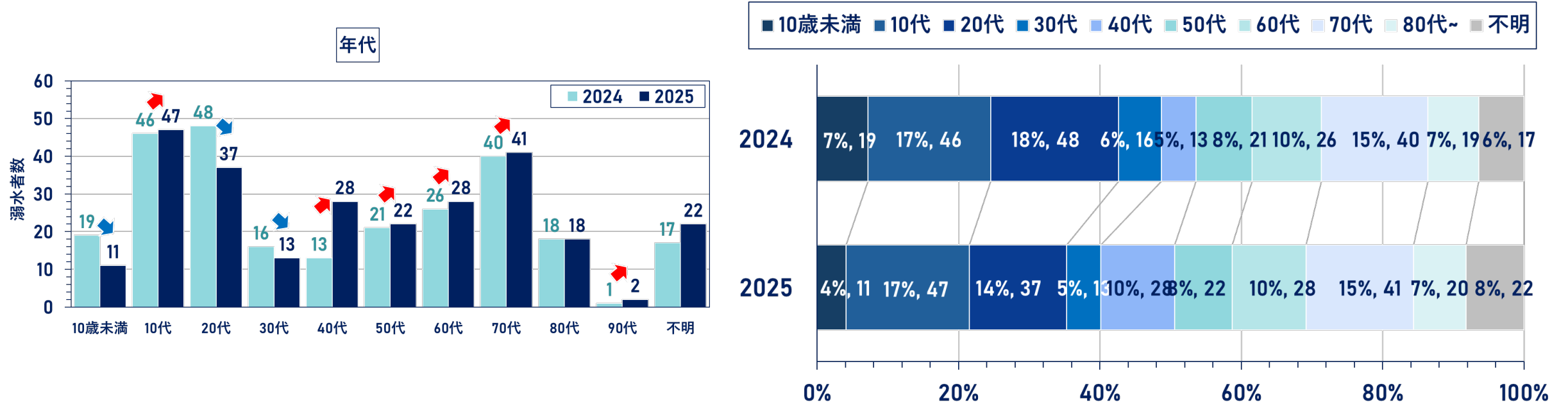


Fig. 4.4 水難事故者の年代別 [2024年・2025年]

# 4. 2024年と2025年のデータ比較 (7, 8月)

## 行為別

水難事故者の行為は、2024年、2025年ともに遊泳が最も多く、次いで水遊び、釣りであり、2カ年で特徴に大きな違いはない。

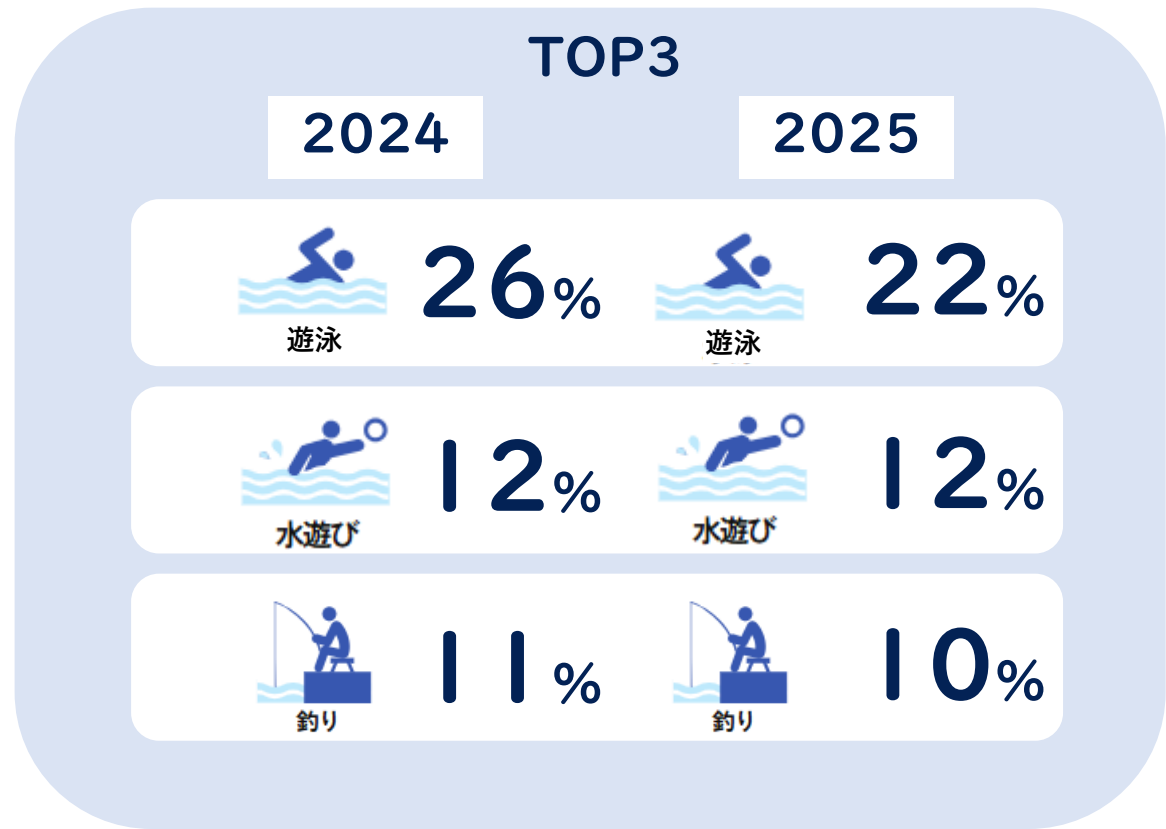
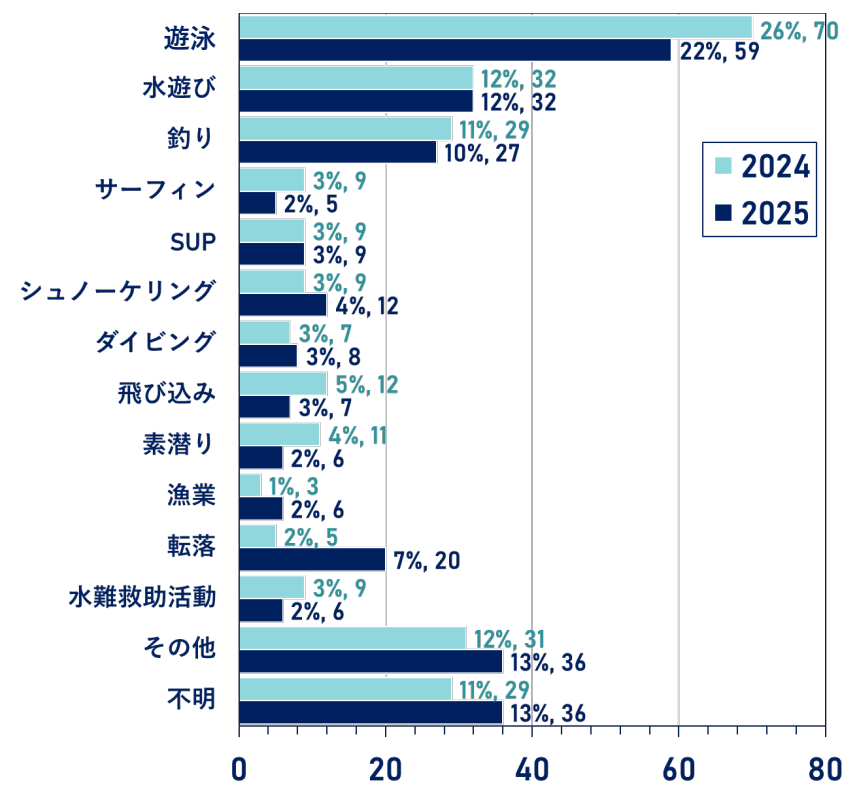


Fig. 4.5 水難事故者の行為 [2024年・2025年]



# 4. 2024年と2025年のデータ比較 (7, 8月)

## 性別

2024年, 2025年ともに男性の事故が7割を超える. 2カ年で特徴に大きな違いはない.

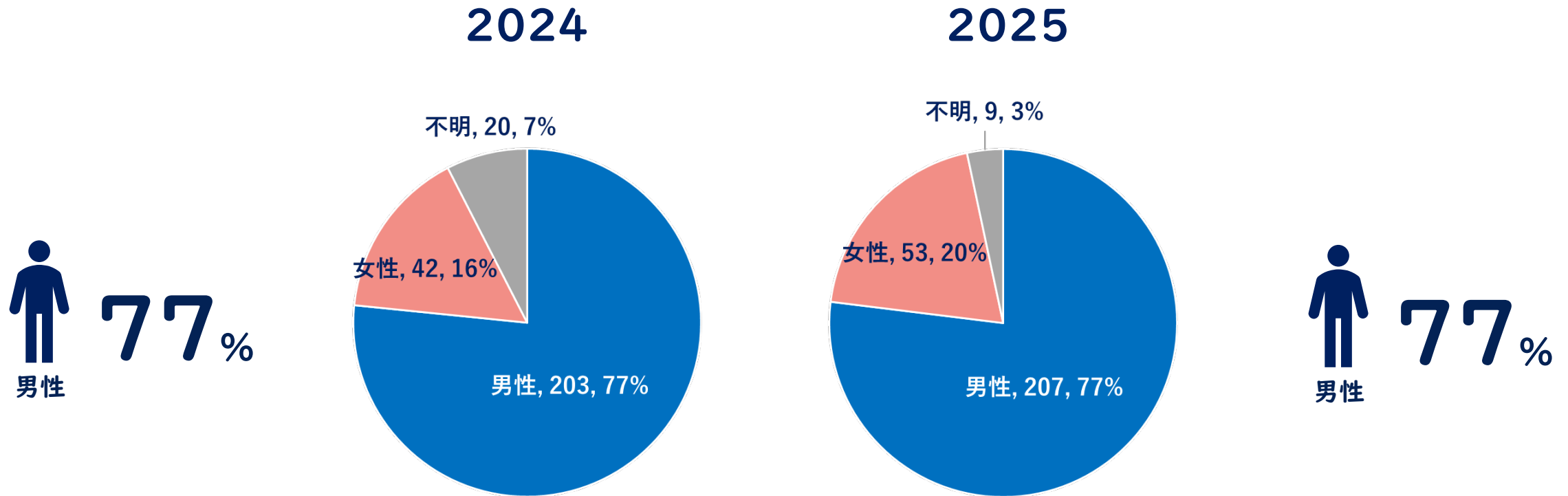


Fig. 4.6 水難事故者の性別 [2024年・2025年]

# 4. 2024年と2025年のデータ比較（7, 8月）

## 利用状況

2024年, 2025年ともに複数利用が6割を超える。2カ年で特徴に大きな違いはない。

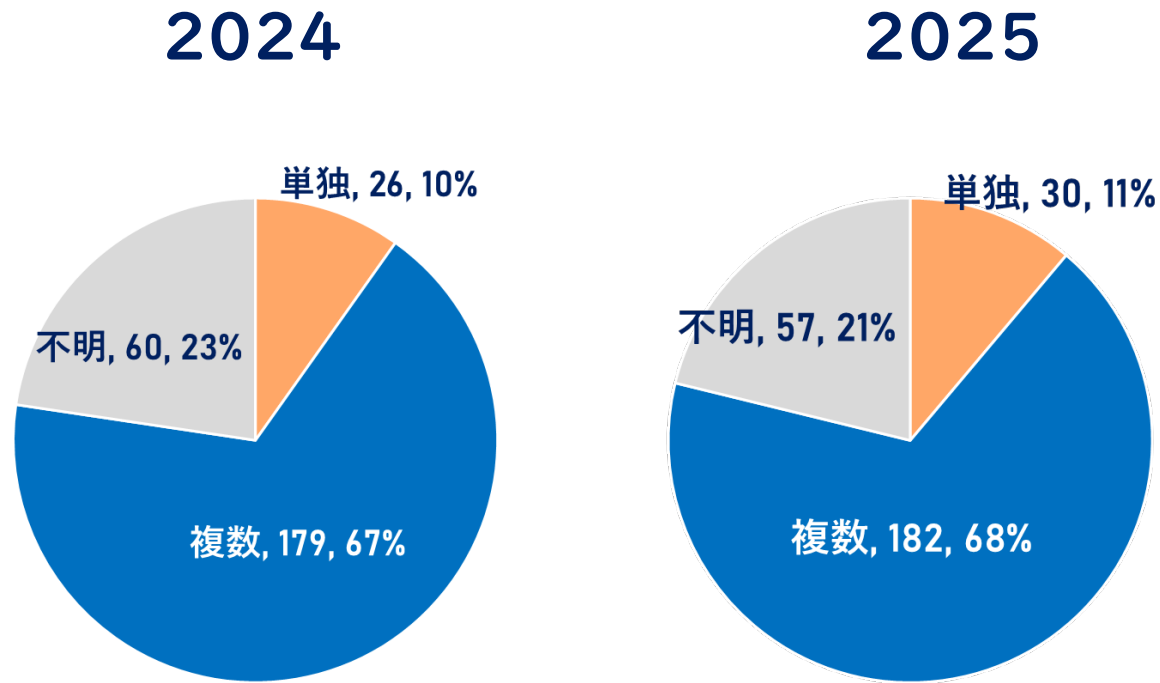


Fig. 4.7 水難事故者の利用状況（単独, 複数） [2024年・2025年]

# 4. 2024年と2025年のデータ比較 (7, 8月)

## 国籍

溺水事故者が外国籍であったのは、2024年は8%、2025年は7%と同程度であり、アジア圏の出身者が多い。2カ年で特徴に大きな違いはない。

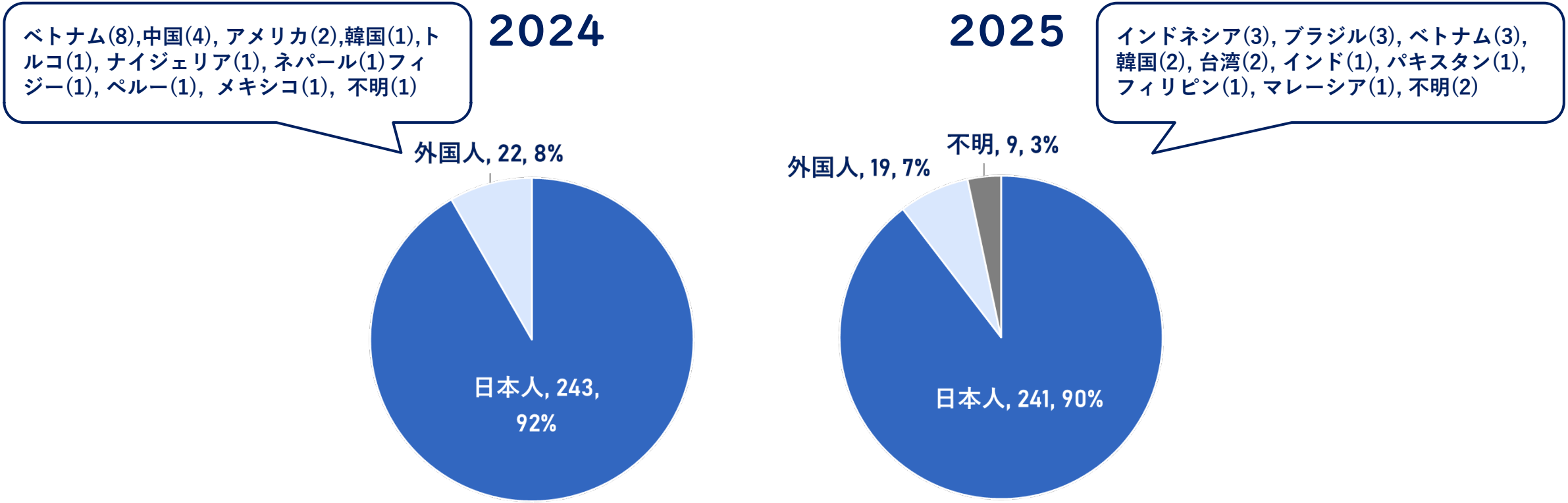


Fig. 4.8 水難事故者の国籍 [2024年・2025年 (6月のデータを除く)]

# 4. 2024年と2025年のデータ比較 (7, 8月)

**水難事故の発生場所と居住地の関係**  
2024年, 2025年ともに **来訪者の事故が5割程度と多い**.  
2024年に比べて, **2025年は地元住民の事故が増え (66人→88人), 来訪者の事故が減少 (139人→129人)**した.

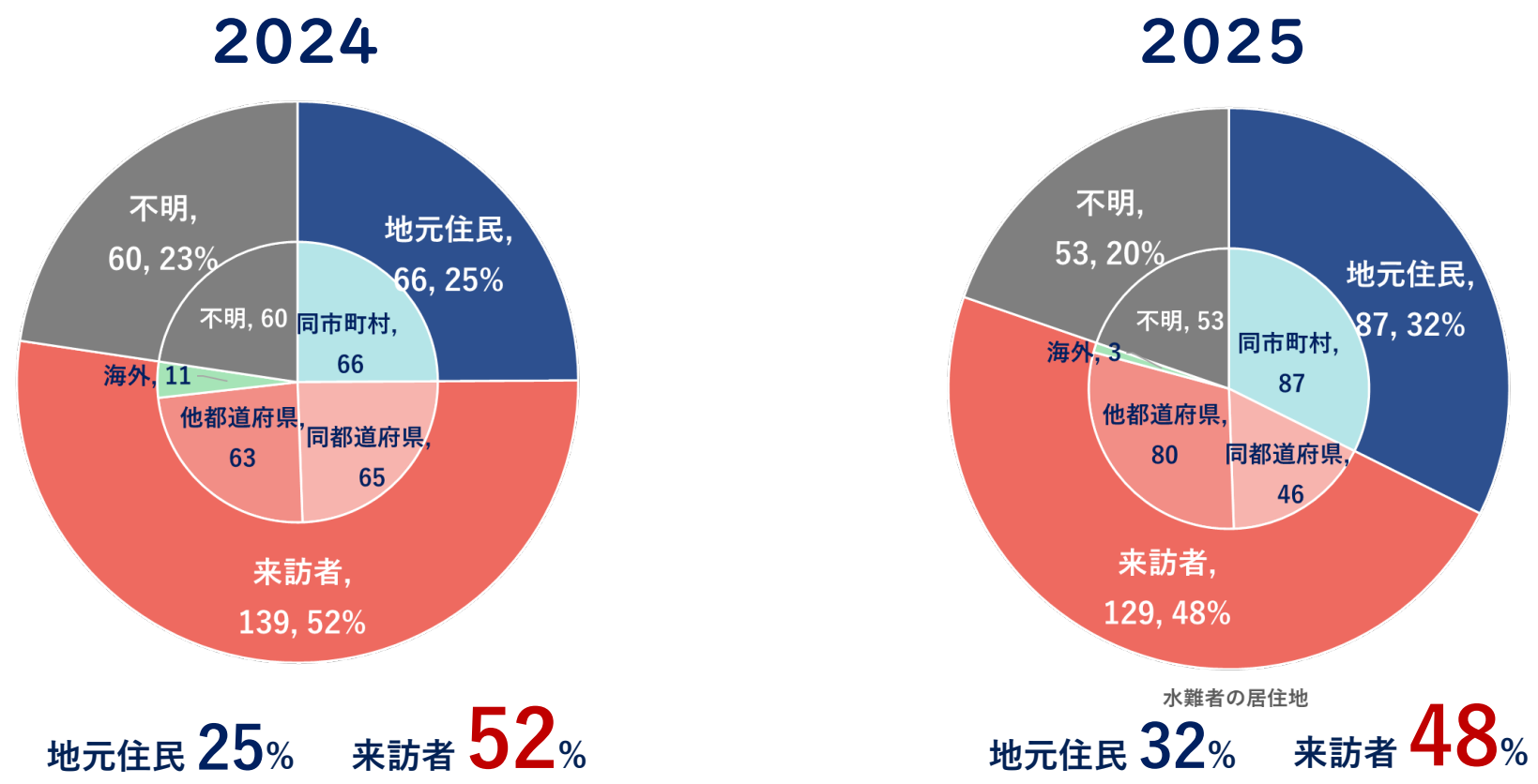


Fig. 4.9 水難事故の発生場所と居住地 [2024年・2025年]

## 4. 2024年と2025年のデータ比較(7, 8月)

- 水難事故者数は、2024年は265人、2025年は269人であり、2カ年の水難事故者数は同程度で、週別推移の特徴も似ている。
- 死者・行方不明者は7割程度、2カ年で特徴に大きな違いはない。
- 水難事故が発生しやすい場所は海岸が最も多く、次いで河川、海域での事故は全体の約6割。2カ年で特徴に大きな違いはない。
- 2025年は、10代、40代、50代、60代、70代、90代の事故が増加し、10歳未満、20代、30代の事故が減少した。
- 水難事故者の行為は、遊泳が最も多く、次いで水遊び、釣りであり、2カ年で特徴に大きな違いはない。
- 男性の事故が7割を超える。2カ年で特徴に大きな違いはない。
- 複数利用が6割を超える。2カ年で特徴に大きな違いはない。
- 外国籍の水難事故者の割合は同程度であり、アジア圏の出身者が多い。2カ年で特徴に大きな違いはない。
- 来訪者の事故が5割程度と多い点については、2カ年で特徴に大きな違いはない。一方、2025年は地元住民の事故が増え、来訪者の事故が減少した。

## 5. 都道府県別の水難事故の特徴

# 5. 都道府県別の水難事故の特徴

## 都道府県別の水難事故者数

水難事故が多い都道府県は、**2024年は北海道(20人)**、次いで**沖縄(19人)**、**神奈川(13人)・新潟(13人)**であったのに対し、**2025年も同様に北海道(23人)沖縄(23人)**、次いで**神奈川(16人)**であった。なお、**いずれの道県も水難事故者数が増加した。**

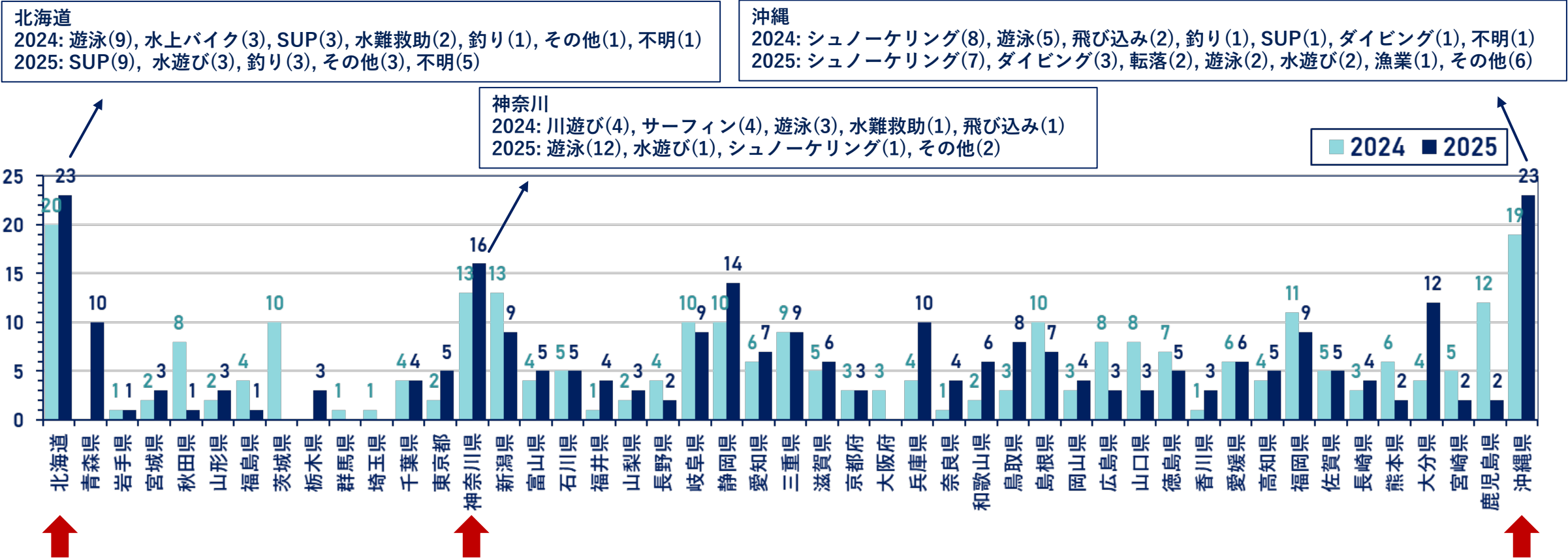


Fig. 5.1 都道府県別水難事故者数 [2024年・2025年]

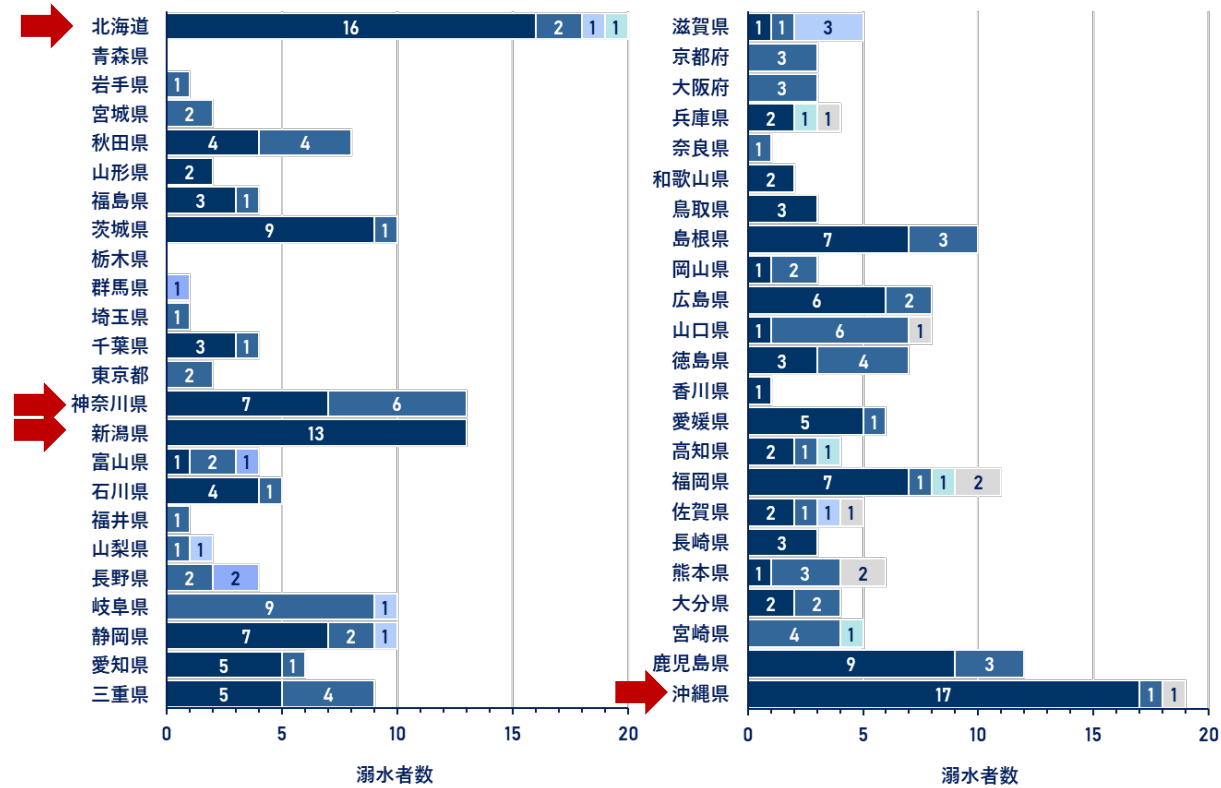
# 5. 都道府県別の水難事故の特徴

## 都道府県別の水難事故の水域

水難事故が多い北海道, 沖縄, 神奈川では, 2024年, 2025年ともに海域での事故が多い。2025年の神奈川は, 海域での事故が増えた。

### 2024

■海 ■河川 ■湖沼池 ■プール ■その他



### 2025

■海 ■河川 ■湖沼池 ■プール ■その他

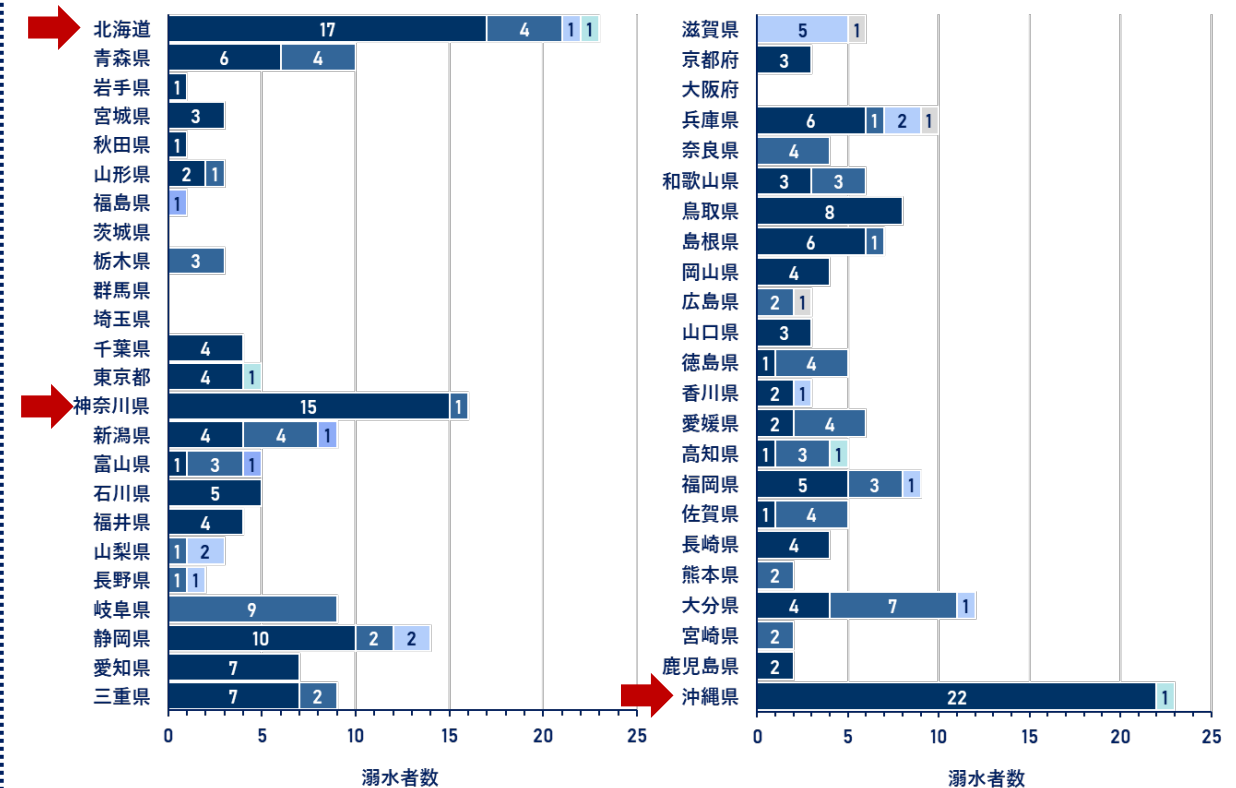


Fig. 5.2 都道府県別水域別水難事故者数



# 5. 都道府県別の水難事故の特徴

## 都道府県別の溺水事故の発生場所と居住地

2024年と2025年において、水難事故が多い北海道では、水難事故者の居住地が同市町村であるのが3人(15%)、2人(9%)、同様に沖縄では2人(11%)、4人(17%)、神奈川は5人(38%)、7人(44%)であった。水難事故が多い北海道と沖縄では地元住民ではなく、来訪者の事故が多い。

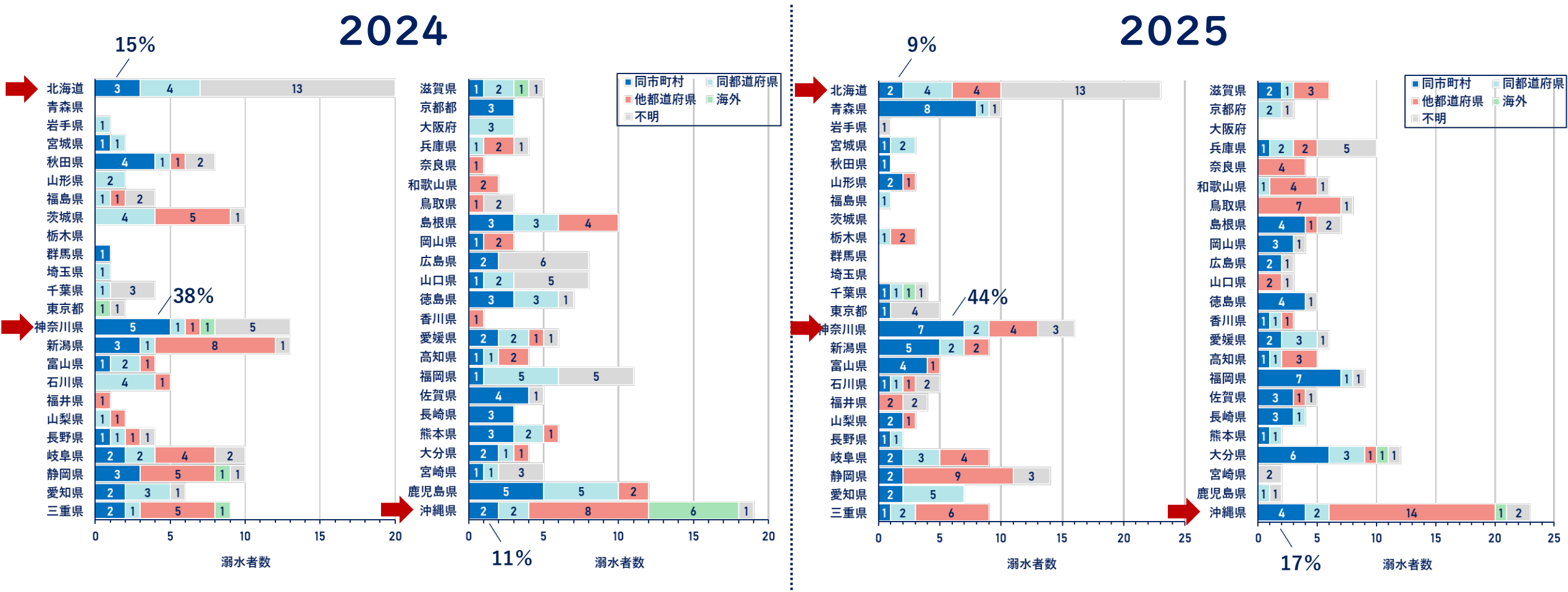


Fig. 5.3 都道府県別居住地別水難事故者数



# 5. 都道府県別の水難事故の特徴

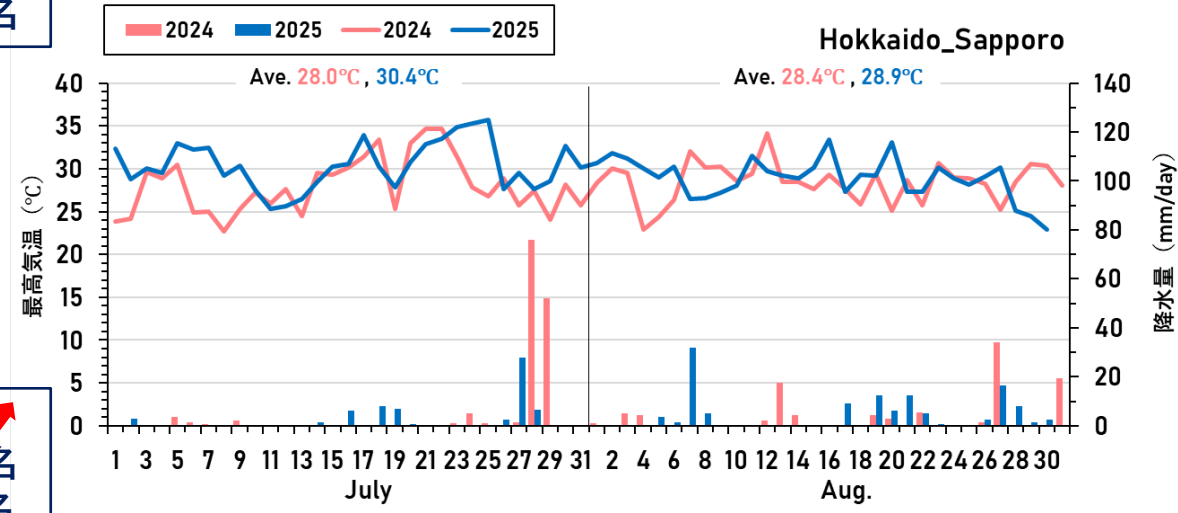
## 溺水事故が多い道県の気温・降水量

水難事故が多い北海道、沖縄、神奈川では、2024年に比べて水難事故者数が増加した。

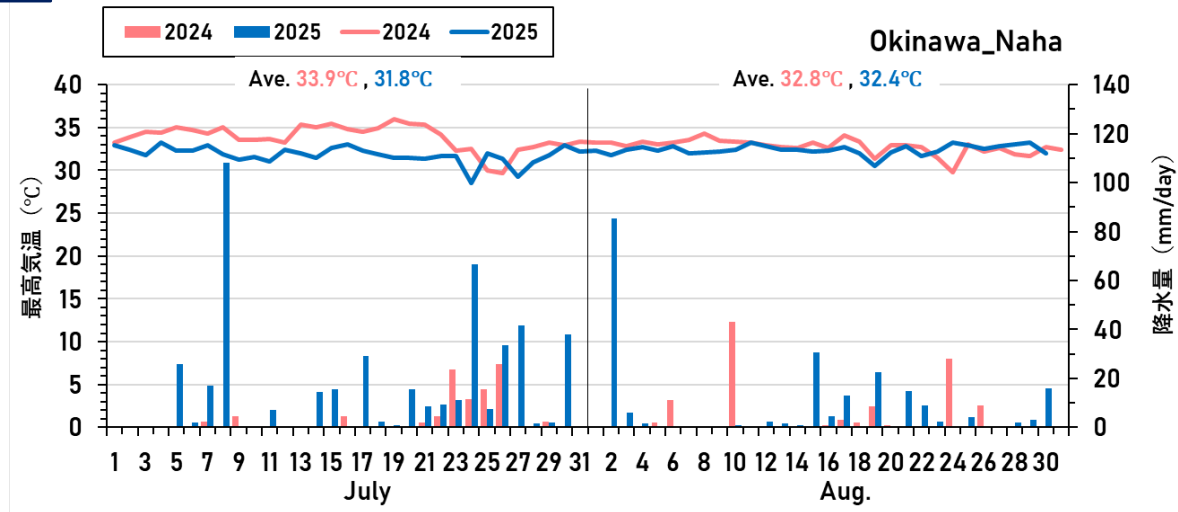
7月、8月の平均最高気温は、北海道では2025年の方がわずかに高く、神奈川や沖縄では2025年の方が低い条件であった。

沖縄県では、2025年の方が降水量も多く、事故は来訪者が多いことを考慮すれば、沖縄県での来訪者(観光客)は、天候に関係なく、海域を利用し、事故が発生していると考えられる。

北海道  
2025: 23名  
2024: 20名



沖縄  
2025: 23名  
2024: 19名



神奈川  
2025: 16名  
2024: 13名

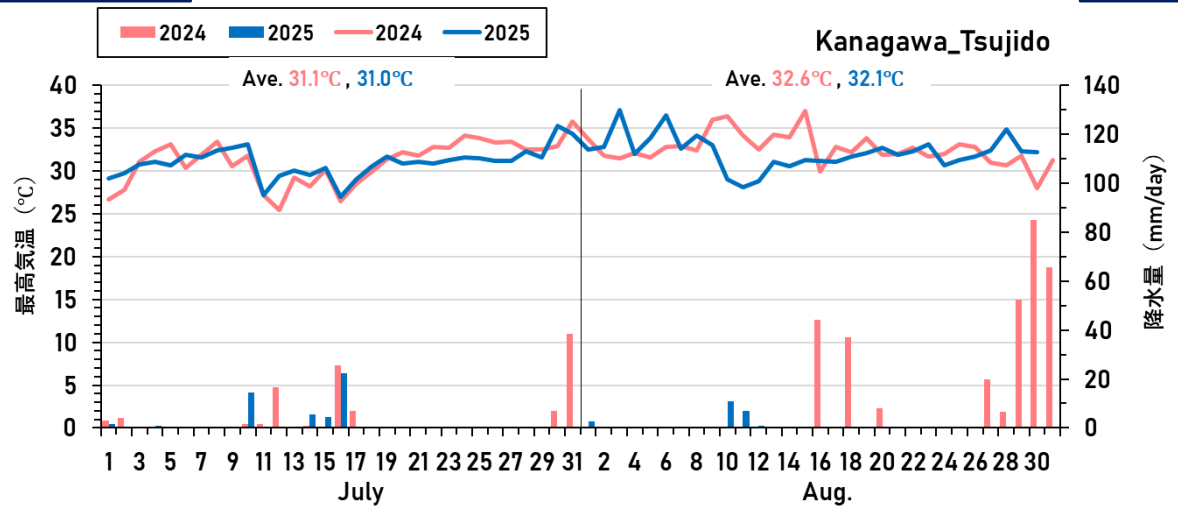


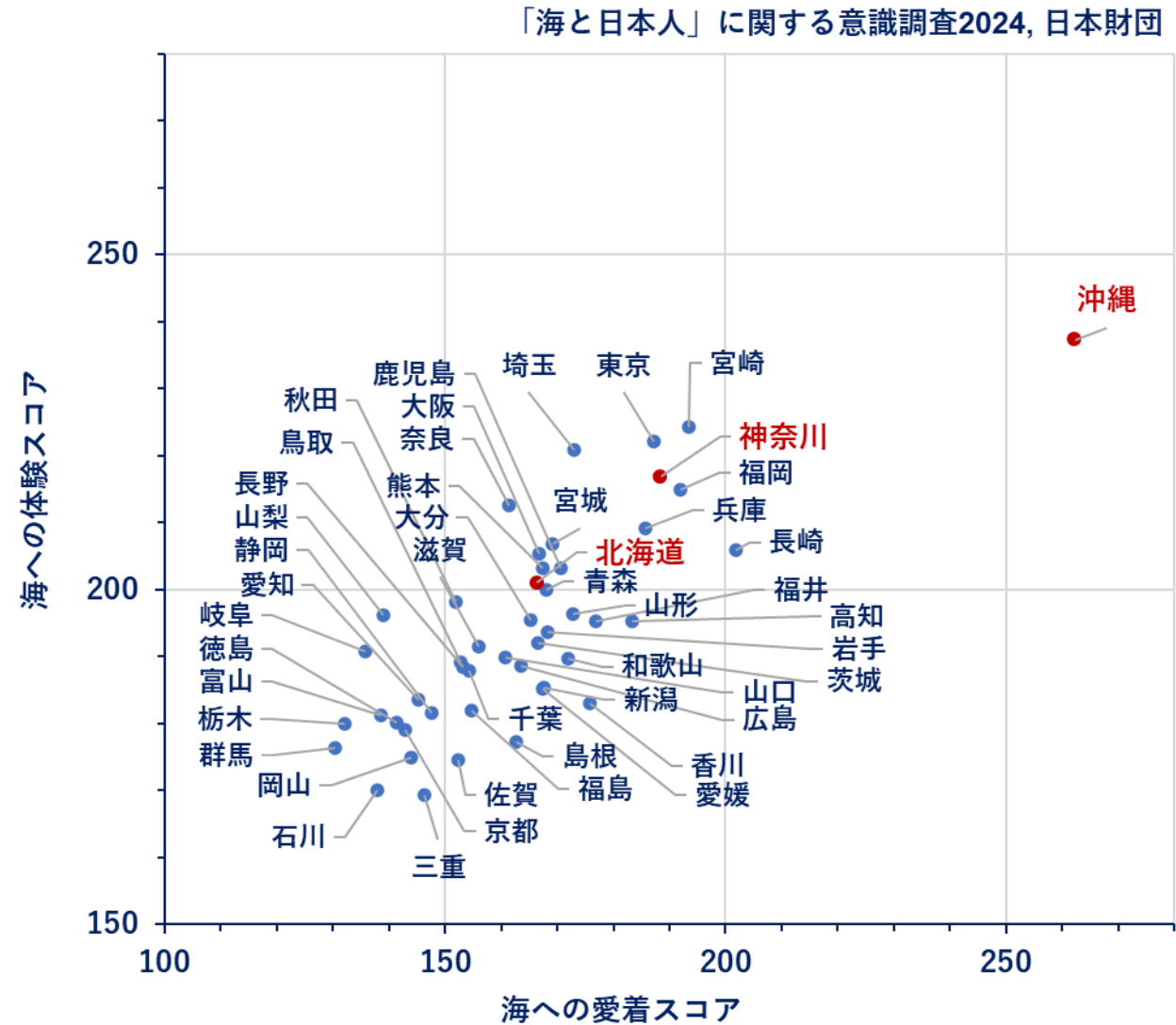
Fig. 5.4 2024年と2025年の各地の日最高気温と降水量

# 5. 都道府県別の水難事故の特徴

## 都道府県別の水難事故対策

水難事故が多い沖縄は、海への愛着や海での体験を有する地元住民が多い。沖縄では来訪者の事故が多い実態から、沖縄では、地元住民だけでなく、観光客など来訪者を意識した水難事故対策が必要。

一方、水難事故が三番目に多い神奈川も海への愛着や海での体験を有する地元住民が比較的多い。しかし、地元住民の事故も多い実態から、神奈川では、地元住民と来訪者のそれぞれを意識した水難事故対策が必要。

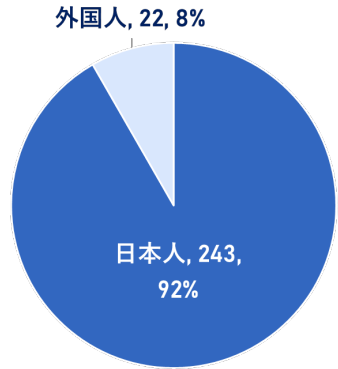


# 5. 都道府県別の水難事故の特徴

## 都道府県別の外国人の事故

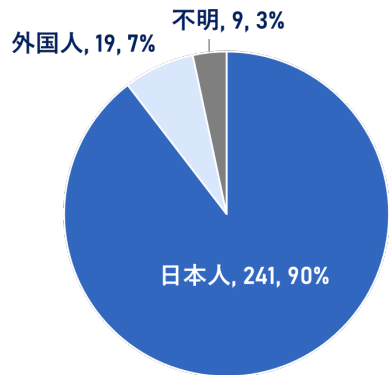
2024年は**沖縄**、次いで**三重**、**岐阜**で外国人の事故が多く、2025年は**岐阜**、次いで**沖縄**・**石川**で外国人の事故が多かった。2024年、2025年ともに**ベトナム人の事故が多い**。

### 2024年[22人]



2024年	ベトナム	中国	アメリカ	韓国	ネパール	トルコ	メキシコ	ペルー	フィジー	ナイジェリア	不明
沖縄	6	2	1	1			1				1
三重	4				1						
岐阜	3	2				1					
北海道	2	1	1								
兵庫	1	1									
東京	1	1									
神奈川	1								1		
滋賀	1							1			
宮崎	1									1	
静岡	1	1									
愛知	1	1									
計	22	8	4	2	1	1	1	1	1	1	1

### 2025年[19人]



2025年	ベトナム	インドネシア	ブラジル	韓国	台湾	マレーシア	パキスタン	フィリピン	インド
岐阜	4	1	1					1	
沖縄	3			1	2				
石川	3								
愛知	2		2						
大分	1			1					
千葉	1					1			
香川	1	1							
愛媛	1	1							
徳島	1	1							
滋賀	1						1		
奈良	1								1
計	19	5	3	2	2	1	1	1	1

Fig. 5.6 外国人の水難事故の都道府県別発生場所



# 5. 都道府県別の水難事故の特徴

## 都道府県別の外国人の事故

2024年, 2025年ともに外国人の事故が多い**沖縄**は,  
外国人労働者数は17,239人で都道府県別で23番目に多く, 観光としての訪問率は4.9%で12番目に多い特徴を有する。

同様に**岐阜**は,

外国人労働者数は43,733人で都道府県別で14番目に多く, 観光としての訪問率は3.4%で15番目に多い特徴を有する。

沖縄, 岐阜ともに, 他の都道府県に比べて, 外国人労働者が多いわけでもなく, 外国人の訪問も多いわけではない。

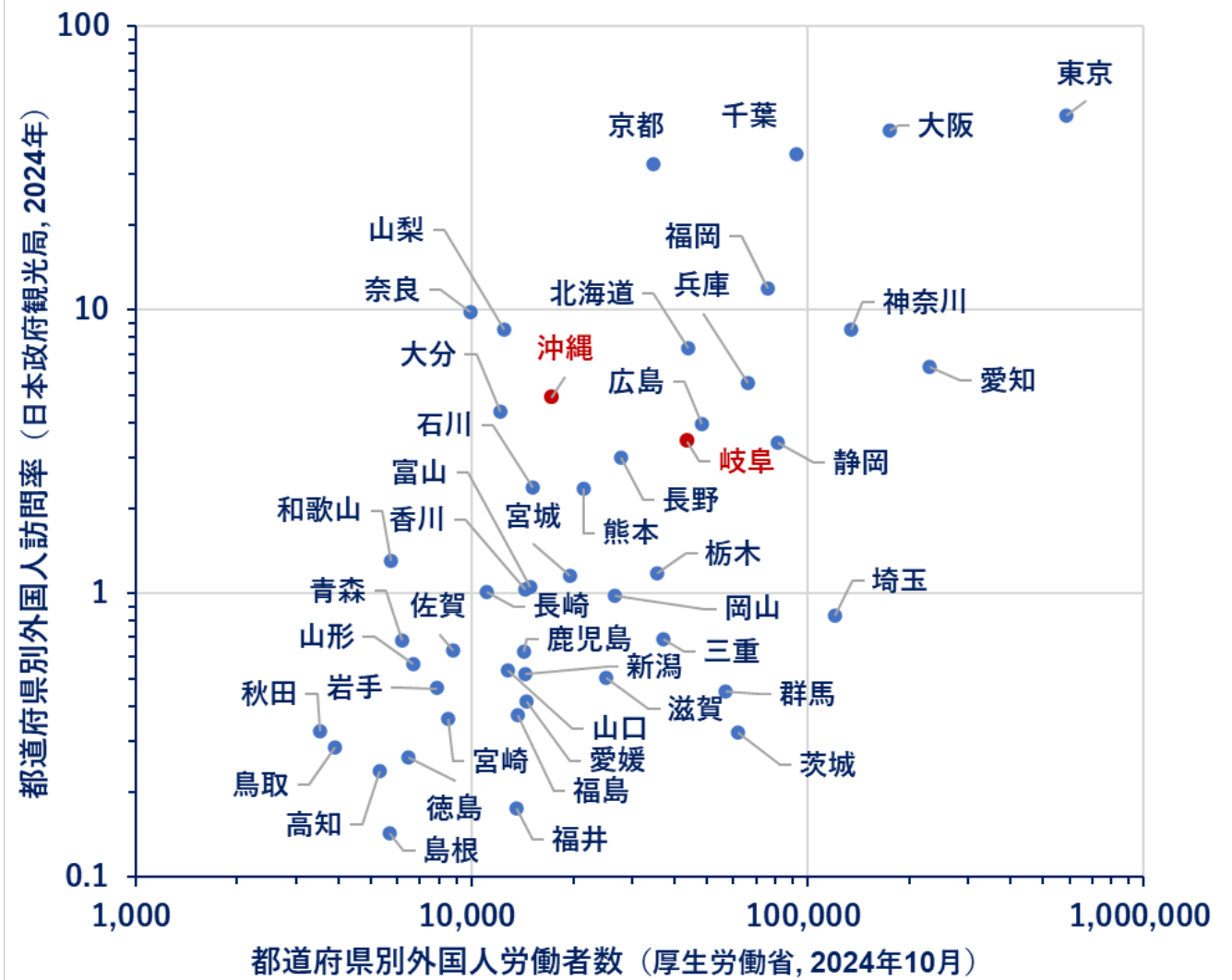


Fig. 5.7 都道府県別外国人労働者数・外国人訪問率



## 5. 都道府県別の水難事故の特徴

- 水難事故が多い都道府県は、2024年、2025年ともに北海道、沖縄、神奈川であった。いずれの道県も水難事故者数が2024年に比べて増加した。
- 水難事故が多い北海道、沖縄、神奈川では、海域での事故が多い。
- 水難事故が多い北海道と沖縄では、地元住民ではなく、来訪者の事故が多い。
- 沖縄では、2025年の方が平均最高気温が低く、降水量が多く、来訪者の事故が多いことから、沖縄での来訪者（観光客）は、天候に関係なく、海域を利用し、事故が発生していると考えられる。
- 水難事故が多い沖縄は、海への愛着や海での体験を有する地元住民が多い。沖縄では来訪者の事故が多い実態から、沖縄では、地元住民だけでなく、観光客など来訪者を意識した水難事故対策が必要。
- 2024年、2025年ともにベトナム人の事故が多い。都道府県では、沖縄と岐阜で外国人の事故が多い。

## 6. 水域別の水難事故の特徴

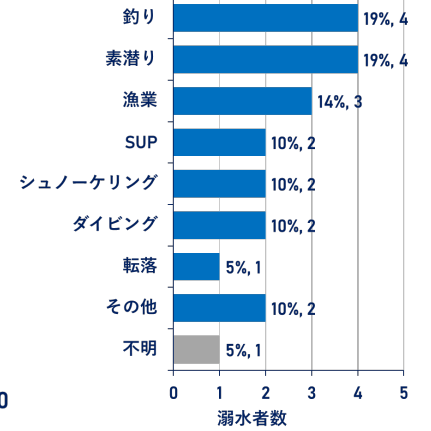
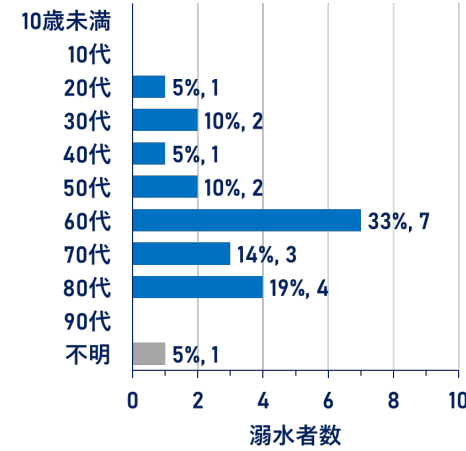
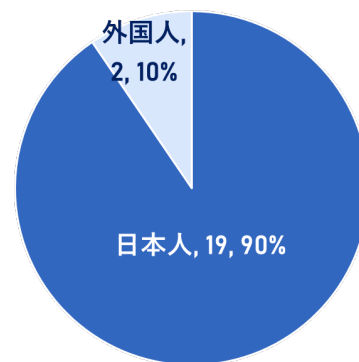
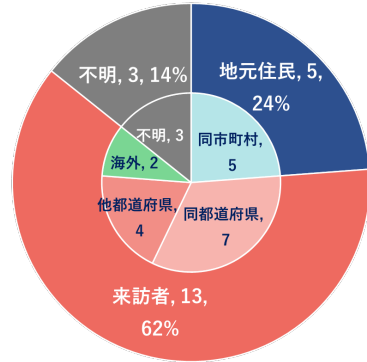
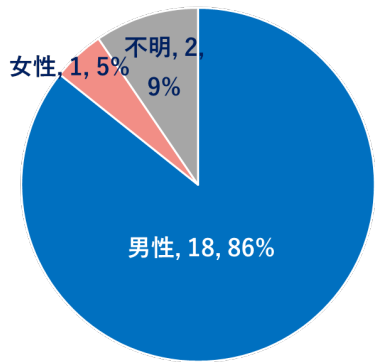
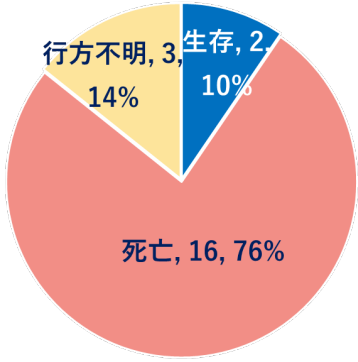
# 6. 水域別の水難事故の特徴



## 海域（沖合）

2024年, 2025年を比較すると, 死亡が多い, 男性が多い, 来訪者が多い等の特徴は類似しているが, いずれも割合が異なる. **年代や行為の特徴が異なる.**

### 2024年 [21人]



### 2025年 [40人]

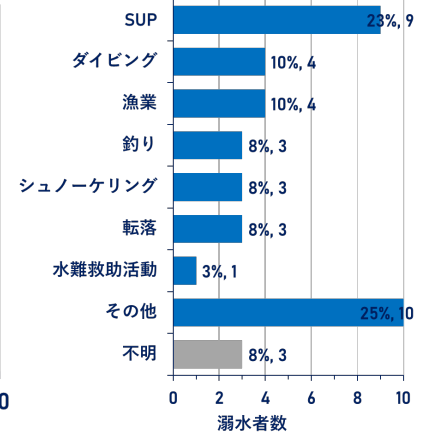
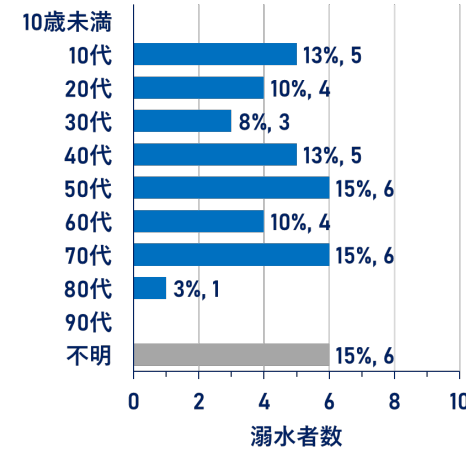
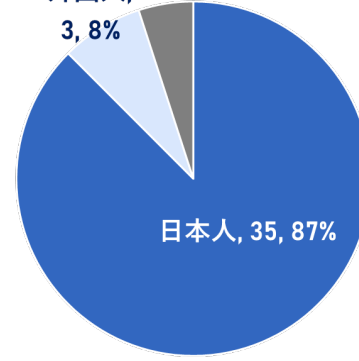
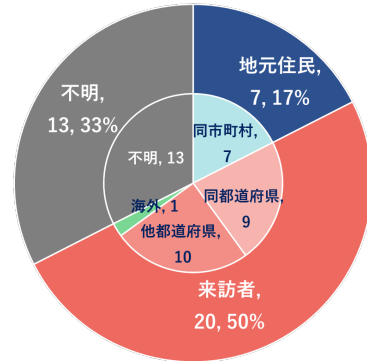
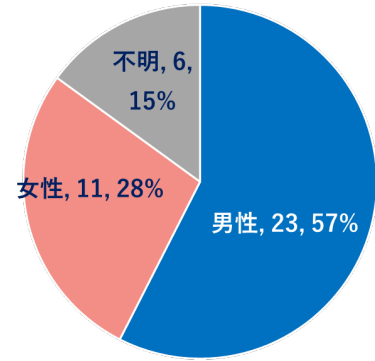
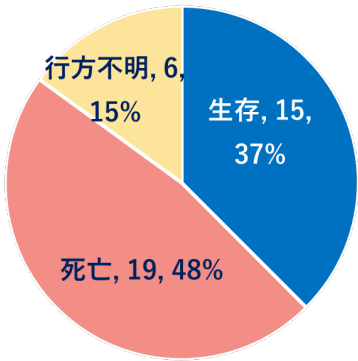


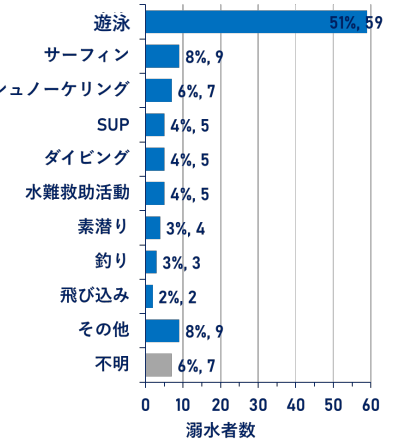
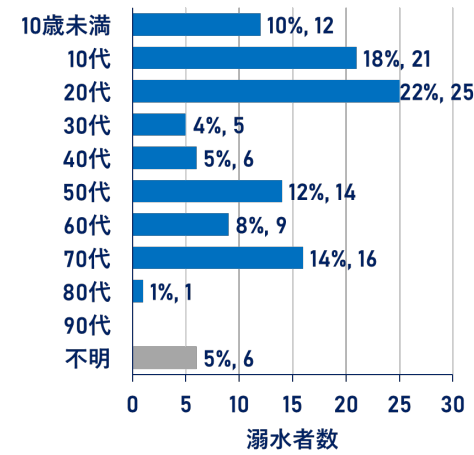
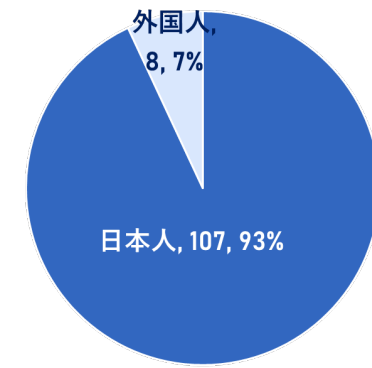
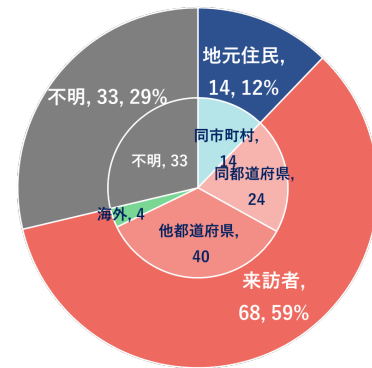
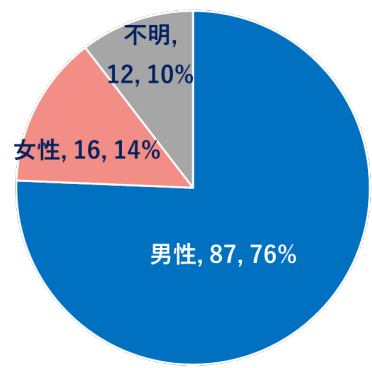
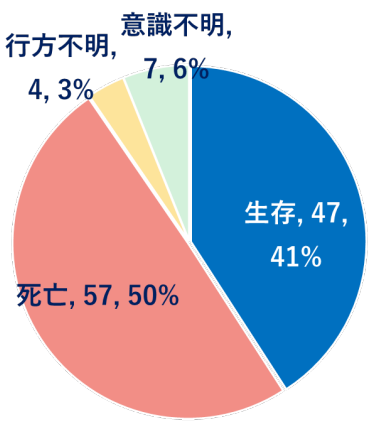
Fig. 6.1 海域（沖合）における水難事故の2ヵ年比較（2024年, 2025年）

# 6. 水域別の水難事故の特徴



**海岸**  
 2024年, 2025年を比較すると, **死亡・生存や性別, 来訪者, 年代, 行為の割合に多少の違いはあるが水難事故の特徴は類似している。行為は遊泳が最も多い。**

## 2024年 [115人]



## 2025年 [107人]

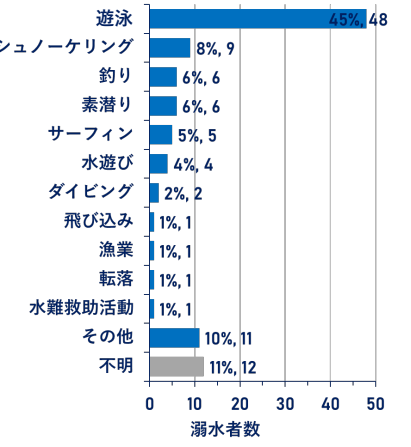
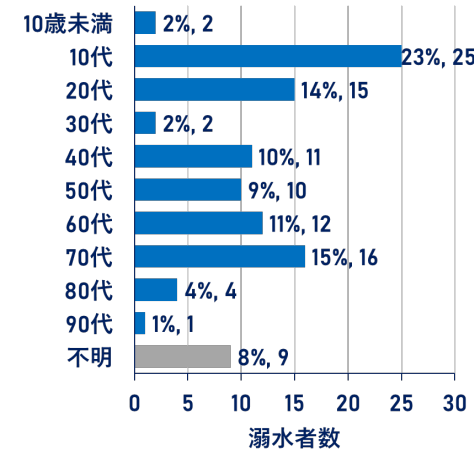
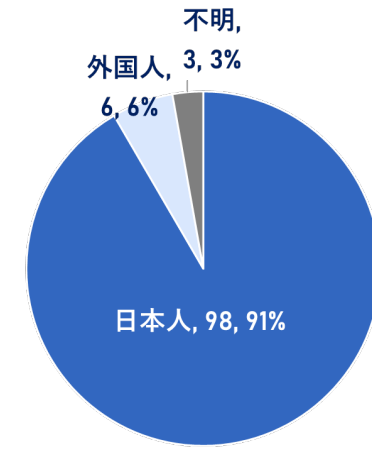
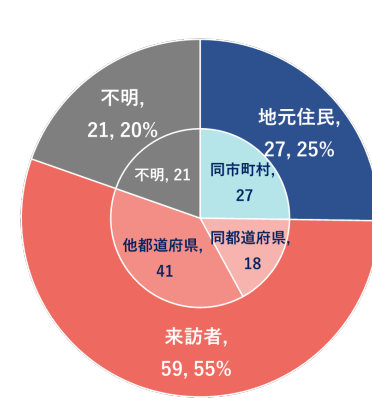
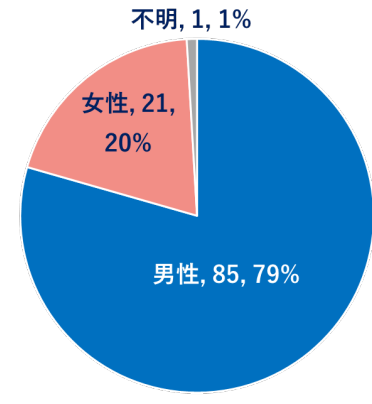
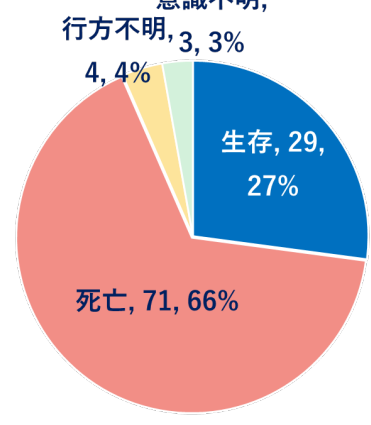


Fig. 6.2 海岸における水難事故の2ヵ年比較 (2024年, 2025年)

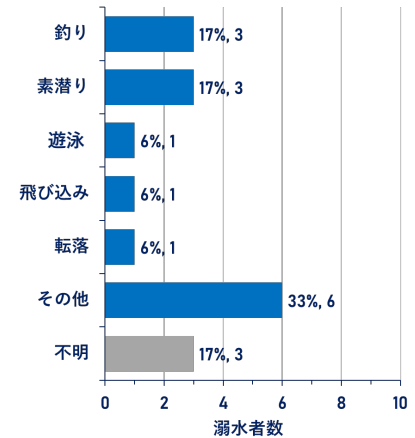
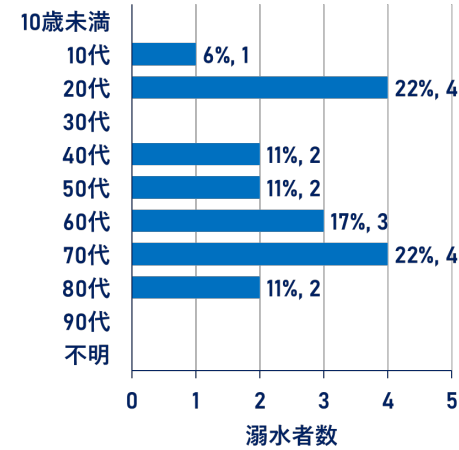
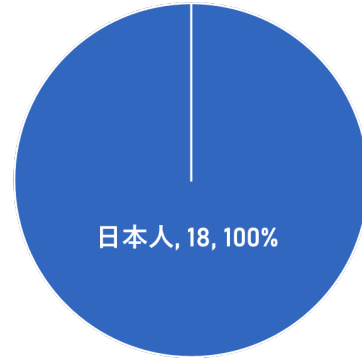
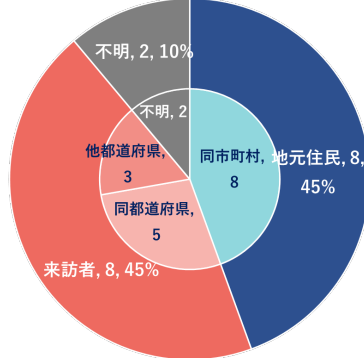
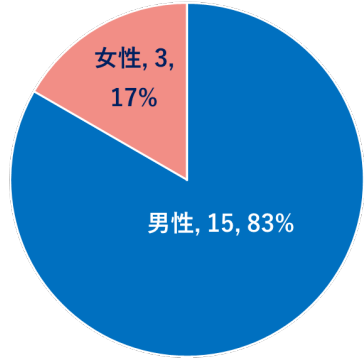
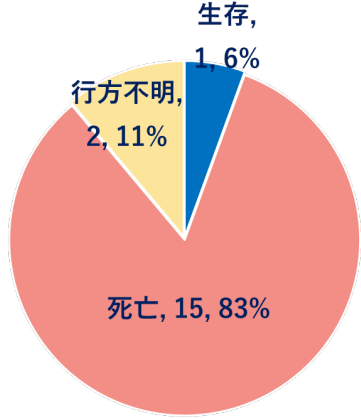
# 6. 水域別の水難事故の特徴



## 漁港・港湾

2024年, 2025年を比較すると, **死亡・生存の割合は類似している**. **漁港・港湾では地元住民の割合が多い**. **釣り中の転落が要因のひとつ**としてあげられる.

### 2024年 [18人]



### 2025年 [21人]

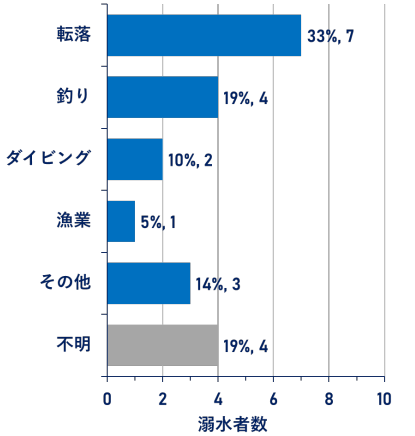
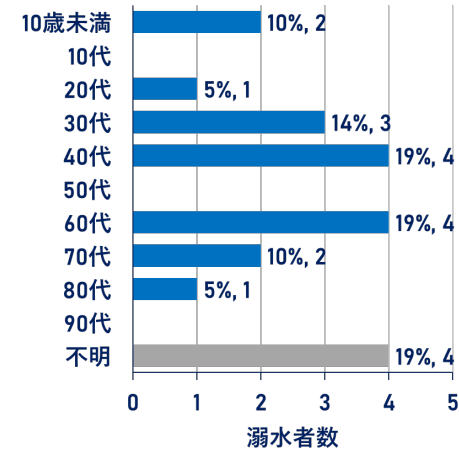
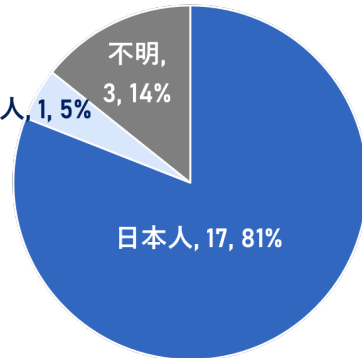
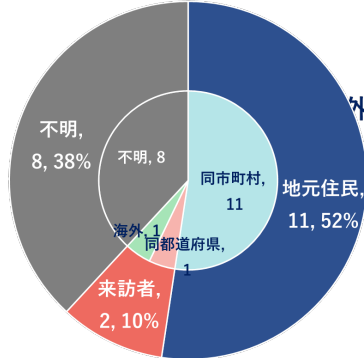
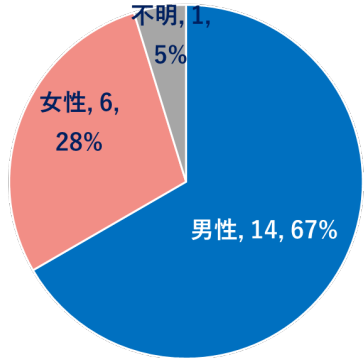
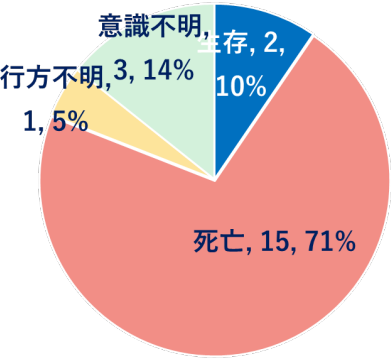


Fig. 6.3 漁港・港湾における水難事故の2ヵ年比較 (2024年, 2025年)

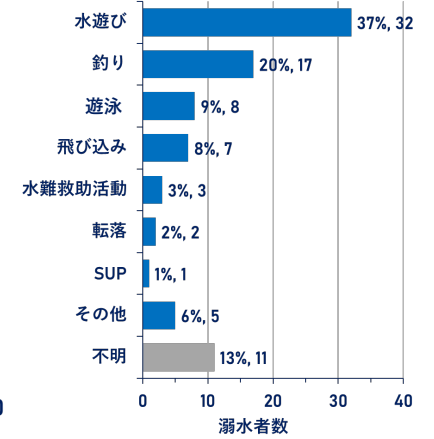
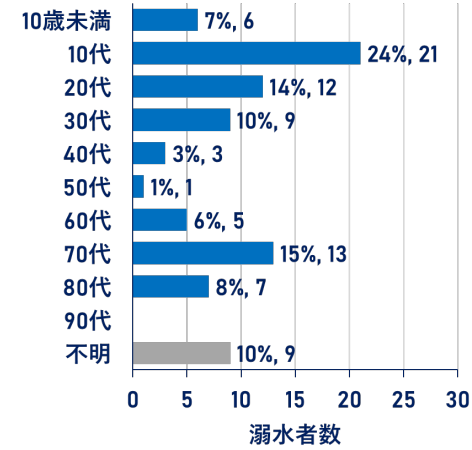
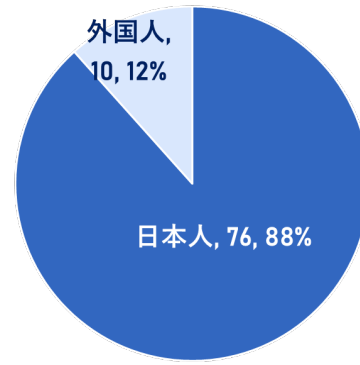
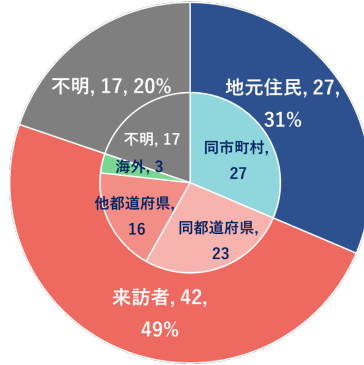
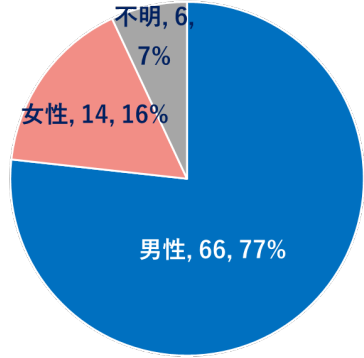
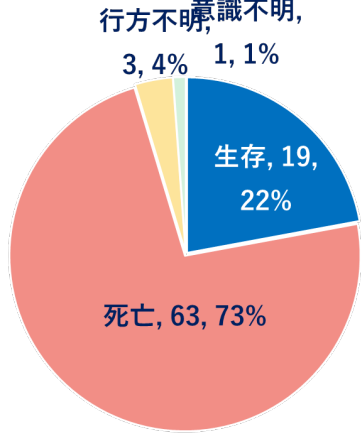
# 6. 水域別の水難事故の特徴



## 河川

2024年, 2025年を比較すると, **死亡・生存や性別, 来訪者, 年代, 行為の割合に多少の違いはあるが水難事故の特徴は類似している。行為は水遊びが最も多い。**

### 2024年 [86人]



### 2025年 [75人]

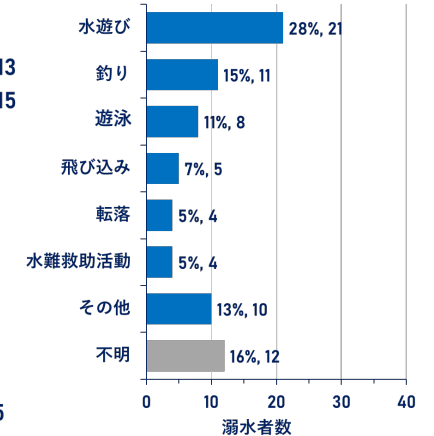
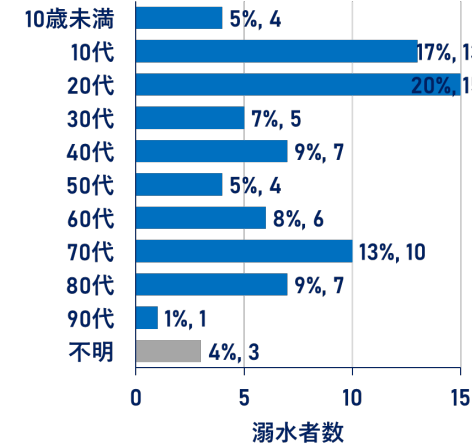
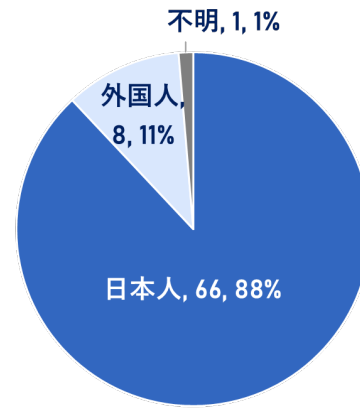
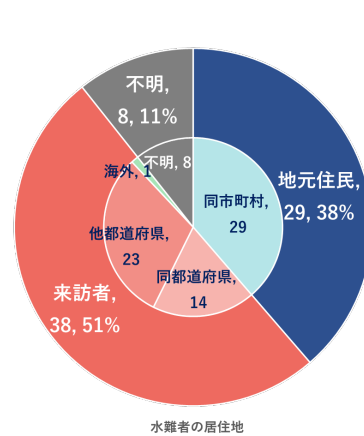
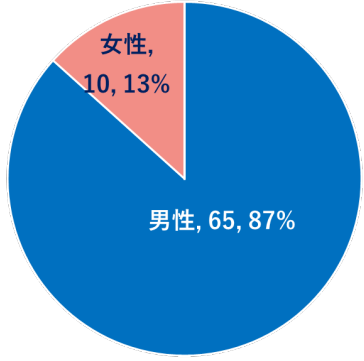
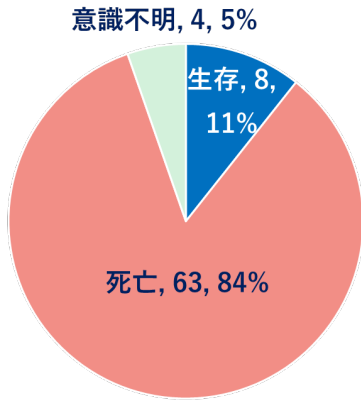


Fig. 6.4 河川における水難事故の2ヵ年比較 (2024年, 2025年)



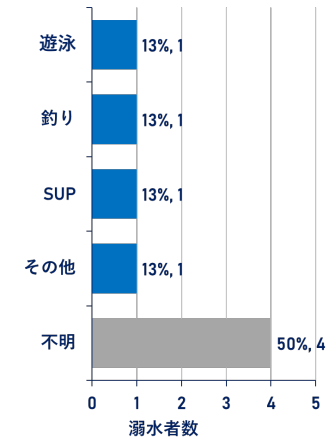
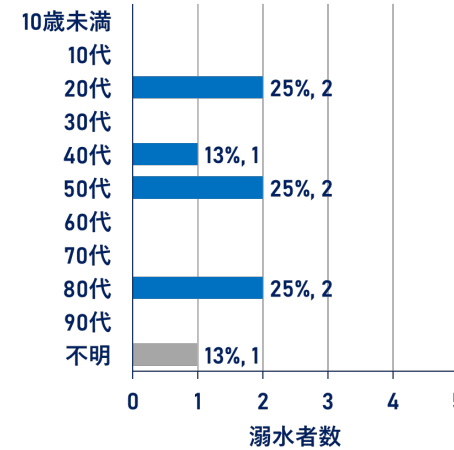
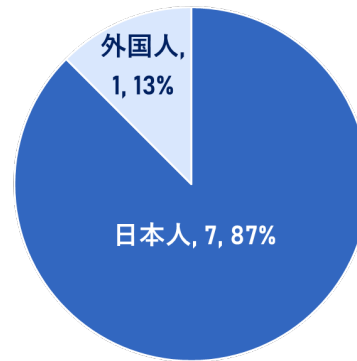
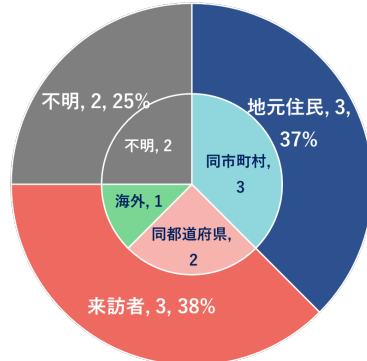
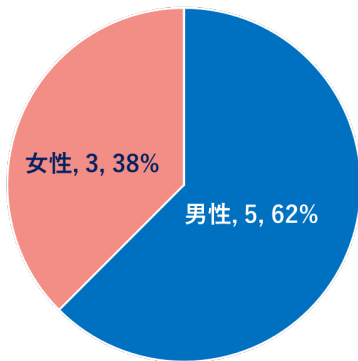
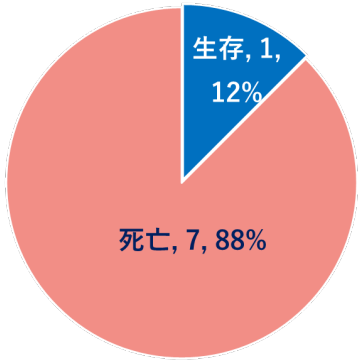
# 6. 水域別の水難事故の特徴



## 湖沼池

2024年, 2025年を比較すると, 死亡が多い, 男性が多い等の特徴は類似しているが, いずれも割合が異なる. 年代や行為は特徴が異なる.

### 2024年 [8人]



### 2025年 [16人]

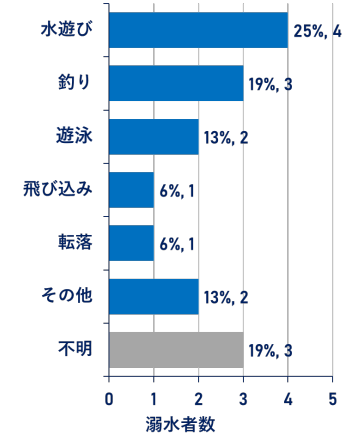
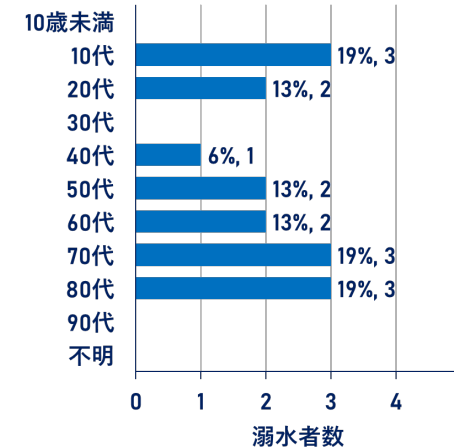
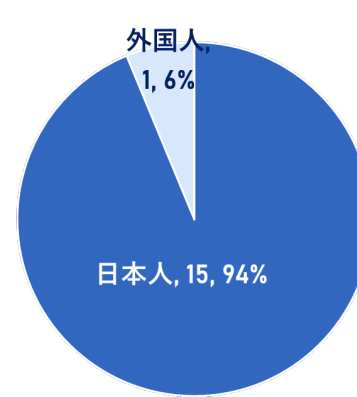
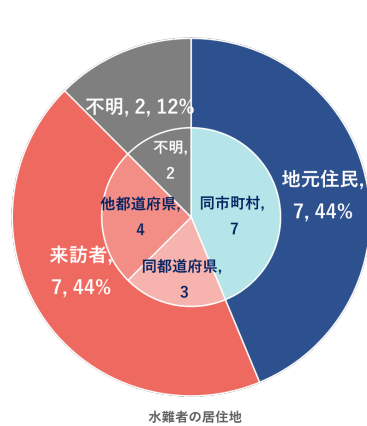
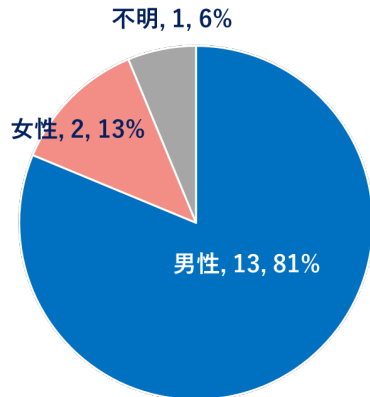
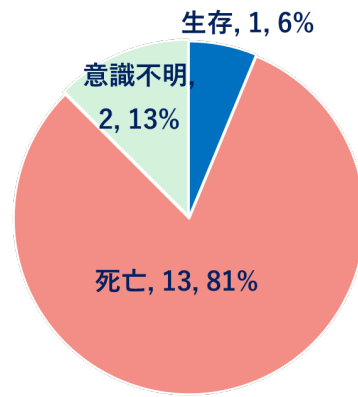


Fig. 6.5 湖沼池における水難事故の2ヵ年比較 (2024年, 2025年)

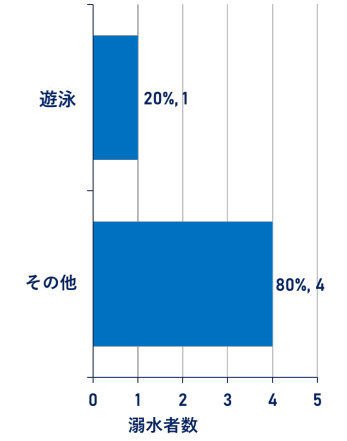
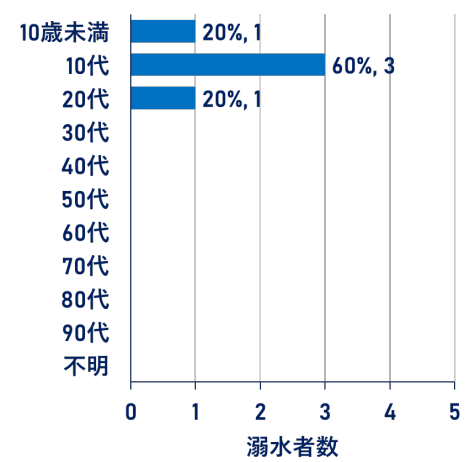
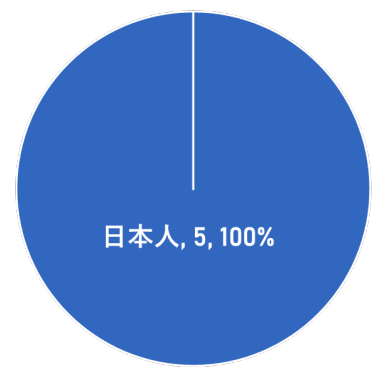
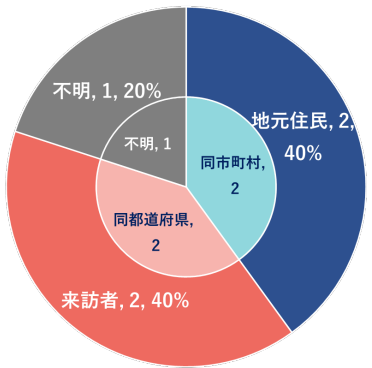
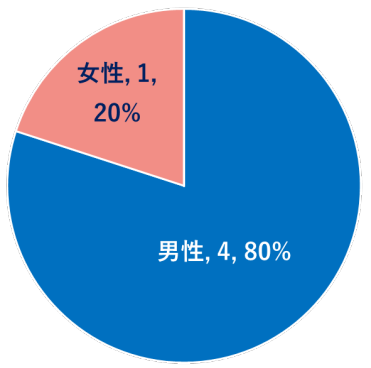
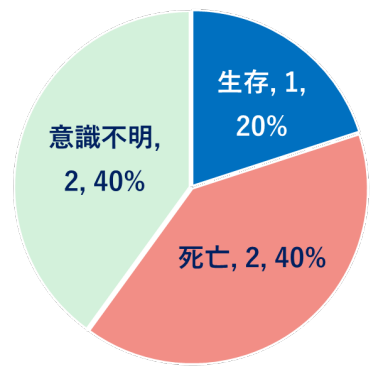
# 6. 水域別の水難事故の特徴



## プール

2024年, 2025年を比較すると, **10歳未満, 10代の子供たちの事故が多い特徴**がある。

### 2024年 [5人]



### 2025年 [4人]

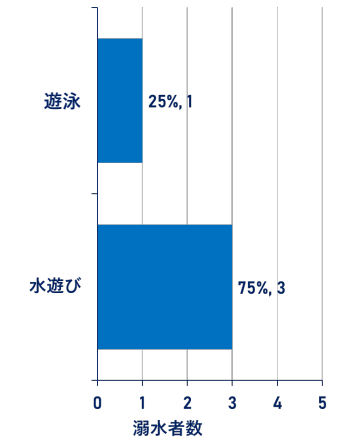
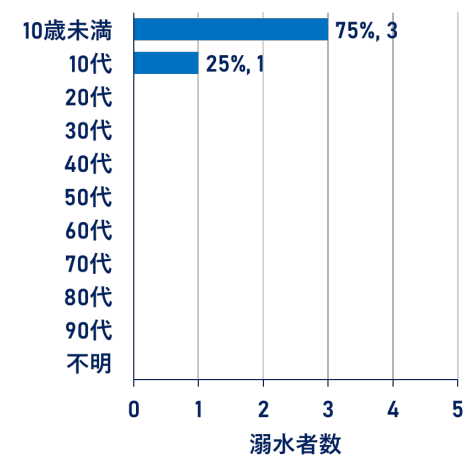
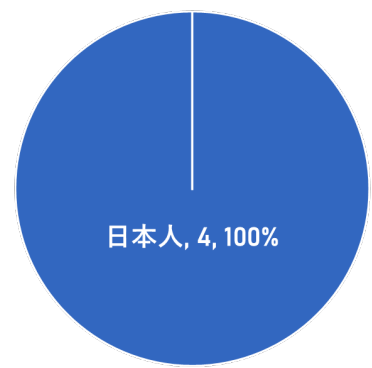
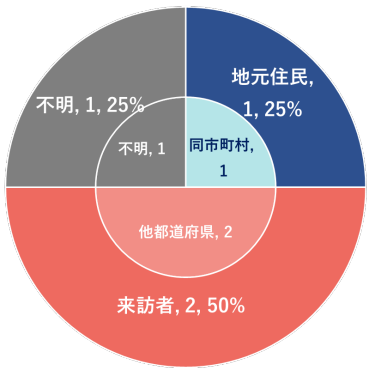
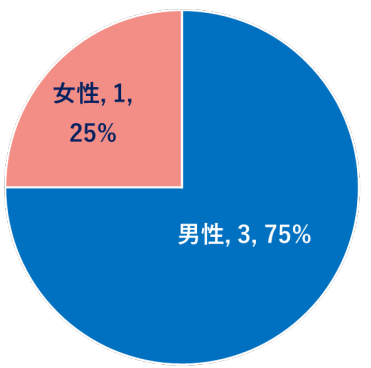
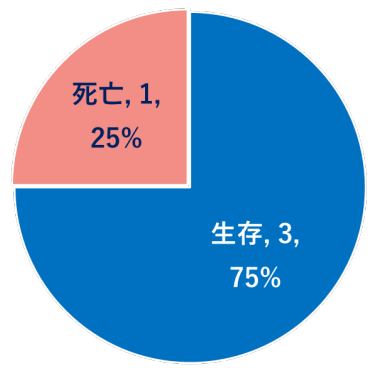


Fig. 6.6 プールにおける水難事故の2ヵ年比較 (2024年, 2025年)

## 6. 水域別の水難事故の特徴

- 海域（沖合）では、2カ年で年代や行為も様々であり、特徴が異なる。
- 海岸では、2カ年で死亡・生存や性別、来訪者、年代、行為の割合に多少の違いはあるが水難事故の特徴は類似している。行為の特徴として、遊泳が最も多い。
- 漁港・港湾では、2カ年で死亡・生存の割合は類似している。地元住民の事故が多い。釣り中の転落が要因のひとつとしてあげられる。
- 河川では、2カ年で死亡・生存や性別、来訪者、年代、行為の割合に多少の違いはあるが水難事故の特徴は類似している。行為の特徴として、水遊びが最も多い。
- 湖沼池では、2カ年で年代や行為は特徴が異なる。
- プールでは、10歳未満、10代の子供たちの事故が多い特徴がある。

## 7. 追加分析・要因分析

# 7. 追加分析・要因分析

## (1) 報道調査 2024年と2025年の比較 [水難事故者数]

水難事故者数は、2024年は265人、2025年は269人であり、2カ年の水難事故者数は同程度で、週別推移の特徴も似ている。

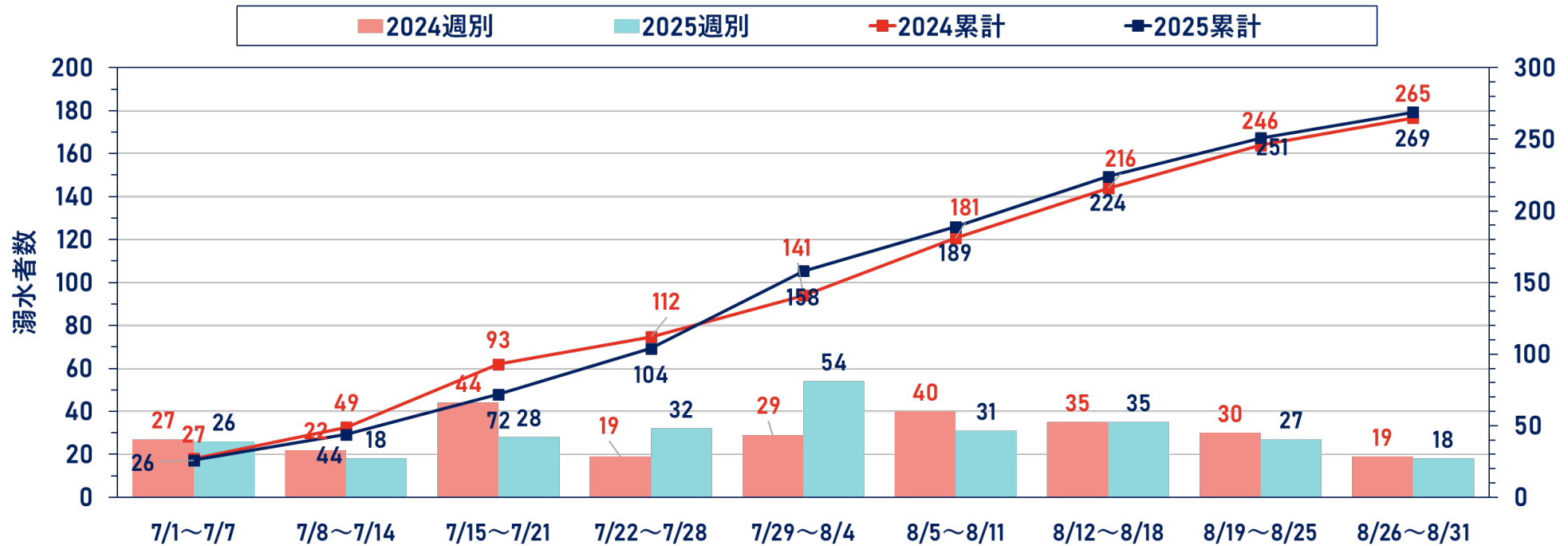


Fig. 7.1 海岸で発生した水難事故の7月・8月の週別推移 (2024年・2025年)

# 7. 追加分析・要因分析

## (2) 報道調査 2024年と2025年の比較 [水難事故者のうち死者・行方不明者数]

死者・行方不明者は、2024年は184人、2025年は199人であり、2カ年の水難事故者数は同程度で、週別推移の特徴も似ている。

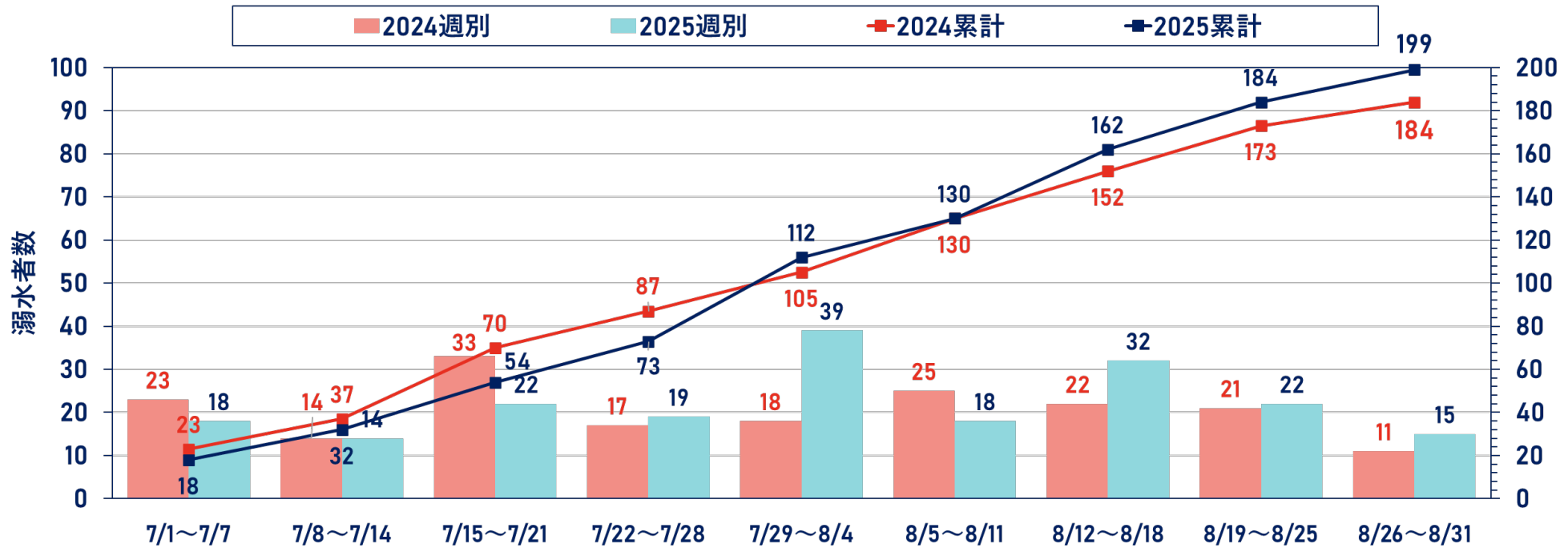


Fig. 7.2 死者・行方不明者の7月・8月の週別推移 (2024年・2025年)

# 7. 追加分析・要因分析

## (3) 報道調査 2024年と2025年の比較[海岸での水難事故者数]

海岸で発生した水難事故は、2024年は115人、2025年は107人であり、水難事故者数は同程度で、週別推移の特徴も似ている。違いがみられない理由として、水難事故の発生は、気温や降雨などの気象条件ではなく、人の行動に強く関係すると考えられる。ただし、溺水事故の直接的要因は離岸流に流される、急深にはまるなど自然要因や泳力不足などの個人的要因である。

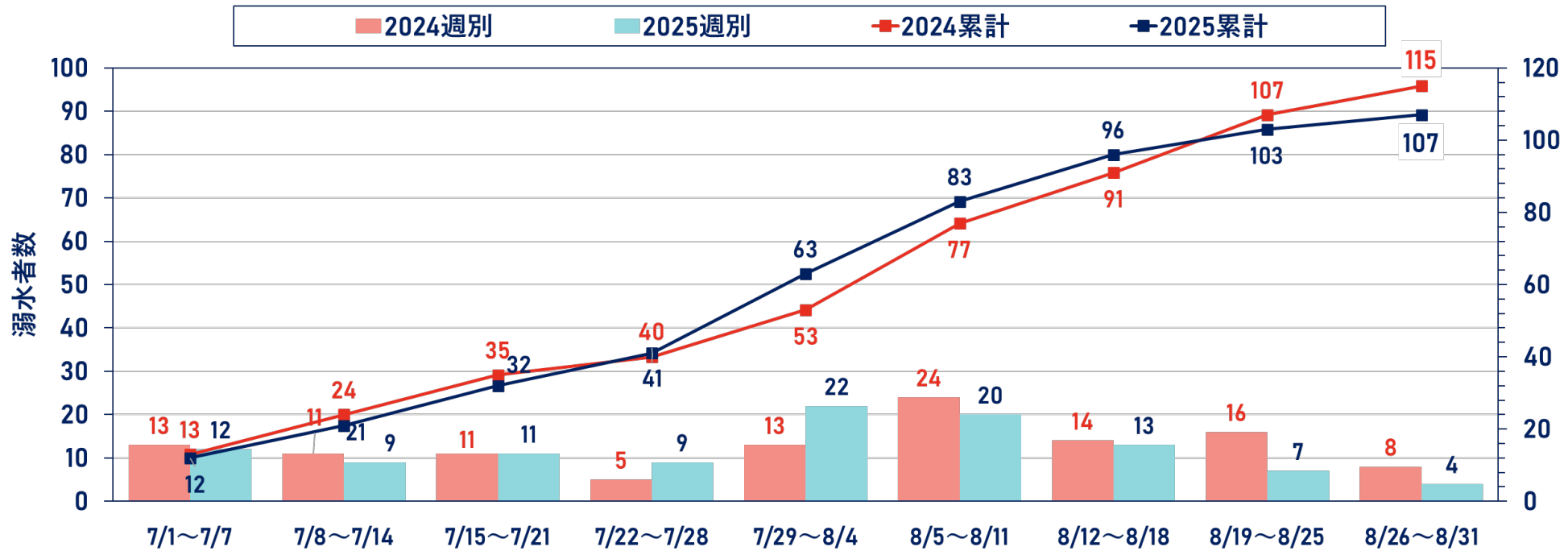


Fig. 7.3 海岸で発生した水難事故の7月・8月の週別推移 (2024年・2025年)

# 7. 追加分析・要因分析

## (4) 報道調査 2024年と2025年の比較 [河川での水難事故者数]

河川で発生した水難事故は、2024年は86人、2025年は75人であり、減少したが週別推移の特徴は似ている。  
河川においても、水難事故の発生は、人の行動に強く関係すると考えられる。

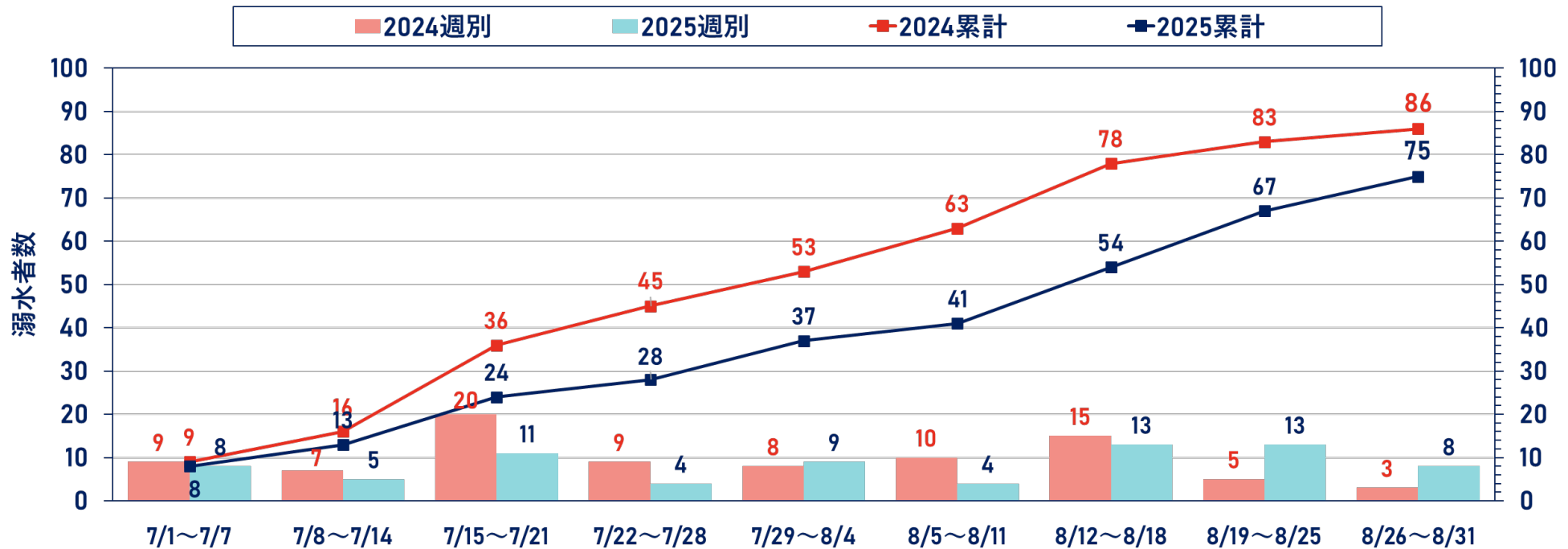


Fig. 7.4 河川で発生した水難事故の7月・8月の週別推移 (2024年・2025年)

# 7. 追加分析・要因分析

## 溺水ケース①

溺水発生日時:7/5 15:30  
溺水場所:神奈川県藤沢市片瀬東浜  
事故発生場所:海岸  
溺水人数:3人  
年齢:中学3年生  
性別:男性  
行為:遊泳中  
同行者:3人

### 【概要】

遊泳中に男子中学生3人が溺れ、海水浴場のライフセーバーに救助されて病院に搬送。このうち2人は意識あり、1人はその後死亡。救助された中学生は「思っていた以上に深さがあって、足がつかずに溺れてしまった」と話している。

### 【記事(NHK NEWS WEB)】

5日午後3時半すぎ、藤沢市の片瀬東浜海水浴場で「溺れている人がいたが見当たらなくなった」と近くにいた人から消防に通報がありました。警察によりますと男子中学生3人が海で溺れ、いずれも海水浴場のライフセーバーに救助されて病院に搬送されました。このうち1人について警察は当初、心肺停止の状態だと説明していましたが、その後、病院で蘇生し治療を受けているということです。ほかの2人は搬送時、会話ができる状態で、「自分たちだけで海水浴に来ていた」と話したということで、警察が当時の状況を調べています。現場の海水浴場は今日1日に海開きしていました。

## 溺水ケース②

溺水発生日時:8/4 11:00  
溺水場所:神奈川県平塚市ひらつかビーチパーク  
事故発生場所:海岸  
溺水人数:5人  
年齢:中学1年生  
性別:女性  
行為:遊泳中  
同行者:10数人の生徒と教員

### 【概要】

10数人の生徒と教員が海水浴中に、女子中学生5人が溺れた。ライフセーバーに救助されたが、このうち、1人が意識不明の状態での病院に運ばれた。当時は学校の部活動帰りだった。海岸から約60メートル沖合で溺れたみられ、当時、海上の波は高かった。

### 【記事(日テレ NEWS NNN)】

4日、神奈川県平塚市の海水浴場で中学生5人が溺れた事故で意識不明の重体となっていた12歳の女子生徒が5日夜、死亡しました。この事故は4日正午前、神奈川県平塚市高浜台の海水浴場で市内の中学校の生徒5人が溺れたもので、中学1年生の12歳の女子生徒が意識不明の重体となっていたものです。警察によりますと、この女子生徒は5日夜、入院先の病院で死亡が確認されたということです。当時、海水浴場にはクラブ活動を終えた中学校の生徒と引率の教師、あわせて十数人で訪れ、このうち生徒5人が海岸から約60メートル沖合で溺れたということです。当時、海上の波は高かったということで、警察が教師から話を聞くなど事故の状況を詳しく調べています。

## 溺水ケース③

溺水発生日時:7/6 11:00  
溺水場所:神奈川県藤沢市片瀬東浜  
事故発生場所:海岸  
溺水人数:2人  
年齢:中学3年生, 18歳  
性別:男性  
行為:遊泳中  
同行者:9人

### 【概要】

9人グループが海水浴中に、10代2人が溺れた。ライフセーバーに救助され、このうち男子中学3年生の1人が意識不明の重体。もう1人の18歳の男性はけがはなし。海岸から100メートルほどの沖合で泳いでいたところ溺れたとみられる。

### 【記事(TBS NEWS DIG)】

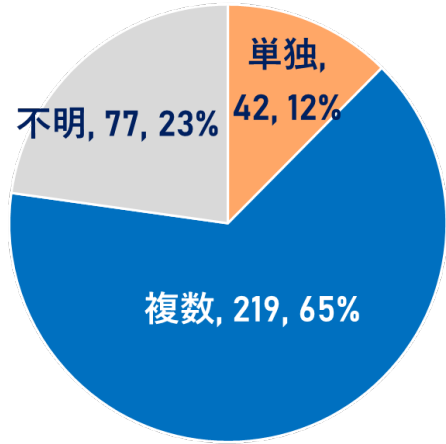
きょう夕方、神奈川県藤沢市の江の島近くの海水浴場で男性2人が溺れ、その後、救助されました。14歳の少年は今も意識不明の状態です。午後1時半すぎ、江の島近くの片瀬東浜海水浴場で、「10代男性が水を飲んで溺れてしまった」と通報がありました。警察によりますと、海岸から100メートルほどの場所で14歳の少年と18歳の男性が溺れているのをライフセーバーが発見し、救助したということです。18歳の男性は意識があり、14歳の少年は今も意識不明の状態です。当時、SNSで知り合った男女9人で遊びに来ていて、この2人を含む男性4人が泳いでいた際、突然、14歳の少年が「やばい溺れる」と苦しみだしたということです。ほかの男性3人が助けようとしたところ、18歳の男性も溺れてしまったということです。

# 7. 追加分析・要因分析

## (5) 報道調査 水難事故の特徴に注目した分析

水難事故は海岸, 複数利用 (知人・友人), 男性, 10~20代に多くみられる。

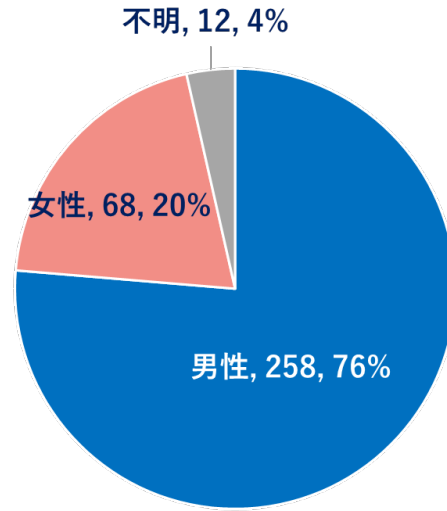
複数利用が約6割



65%

複数利用

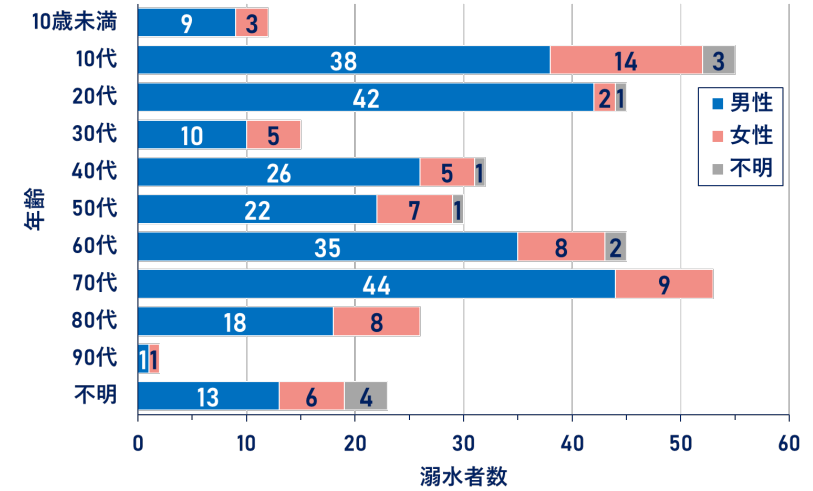
男性が約8割



76%

男性

10代が最も多い



16%

10代

# 7. 追加分析・要因分析

## (5) 報道調査 水難事故の特徴に注目した分析

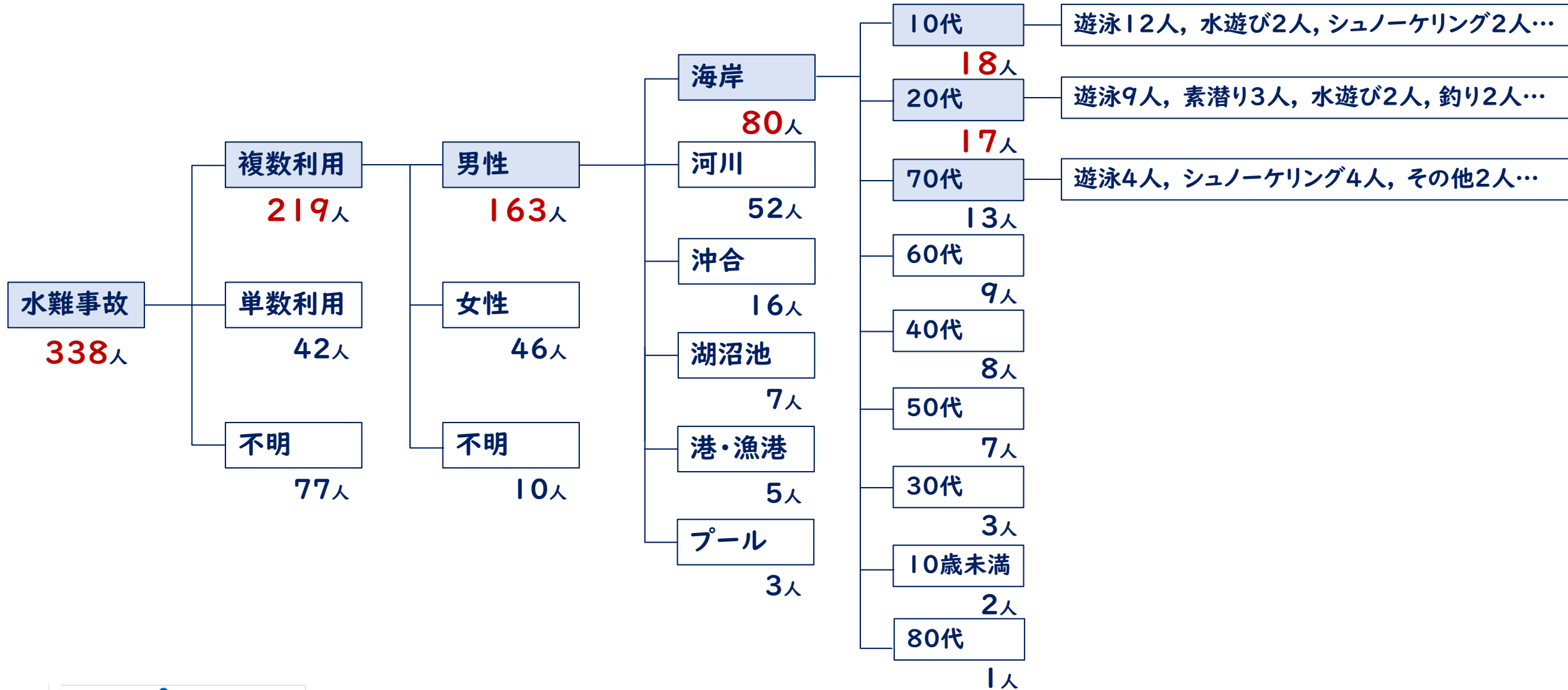


Fig. 7.5 単独・複数利用に注目した事故要因のロジックツリー [1]

# 7. 追加分析・要因分析

## (5) 報道調査 水難事故の特徴に注目した分析

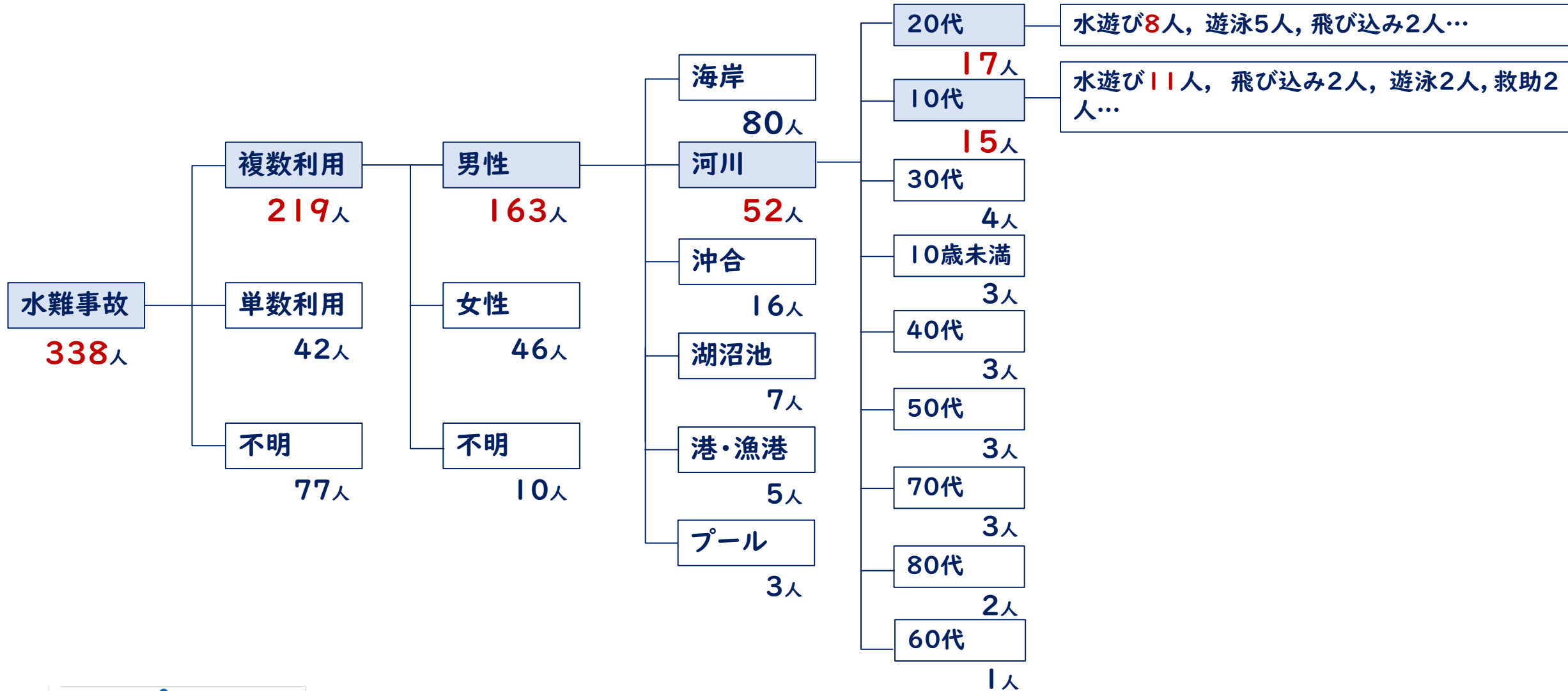


Fig. 7.6 単独・複数利用に注目した事故要因のロジックツリー [II]

# 7. 追加分析・要因分析

## (5) 報道調査 水難事故の特徴に注目した分析

国民調査では、男性、女性で海に行った際の危機管理に関する意識に大きな違いはないが、海での感情経験では以下の特徴がみられた。

“泳げる友達と一緒にいれば自信はなくても大丈夫”と回答した男性は女性の1.2倍程度。

“泳げないことを隠してしまう”と回答した男性は女性の1.5倍程度。

“カッコいいところを見せようとした経験がある”と回答した男性は女性の2.2倍程度。

**⇒友達と一緒に遊びにきて、自分は沖まで行きたくないのに、周りの雰囲気に乗ってしまうような行動特性が考えられる。**

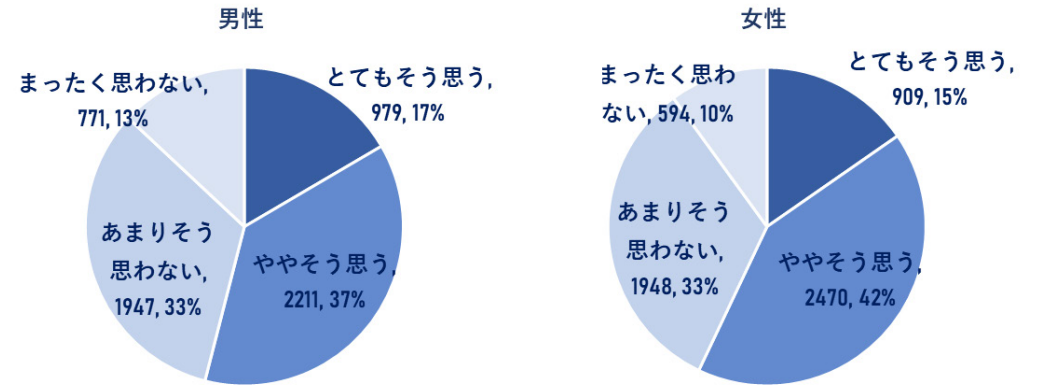


Fig. 7.7 海に行くと危険を認知、回避する意識が弱まるか？（2024年 国民の水域利用と水難事故に関する意識調査）

みんなが海に入っているから、自分も大丈夫だろうと思った経験

泳げる友達といっしょにいる場合、自信はないが大丈夫だろうと思った経験

友達といっしょにいる場合、無理をして泳ごうとした経験（泳げないことを隠してしまう）

怖かったが、誰かにかっこいいところを見せようとした経験

あてはまるものはない

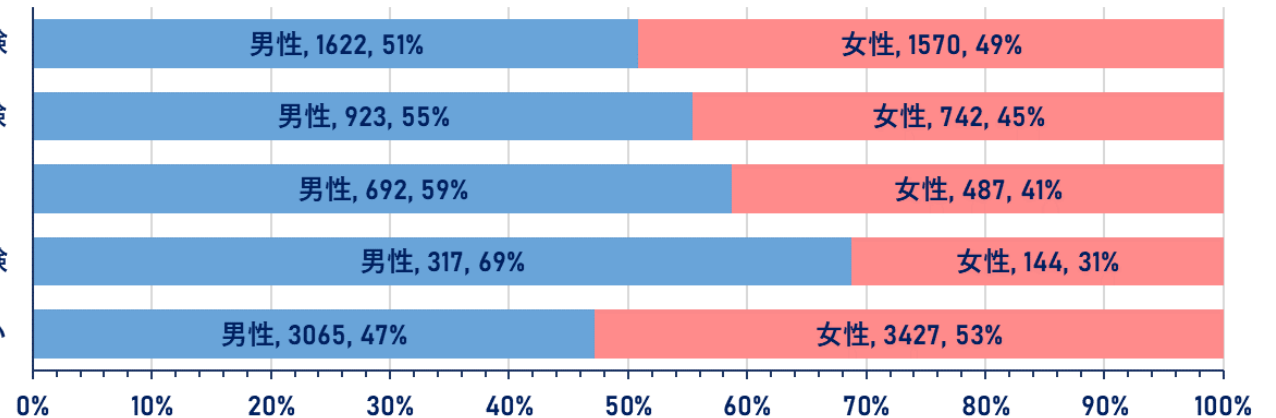


Fig. 7.8 海での感情経験（2024年 国民の水域利用と水難事故に関する意識調査）

## 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (1) 2025年夏季の警察庁による水難事故データ

### 警察庁データ 定義

#### 【集計の対象となる事故の定義】

対象期間:2025年1月~12月(夏季速報は7, 8月)

対象水域:海域, 河川, 湖沼池, プール, 用水路, その他(ダムなど)

対象事故:水難事故

→全て溺水に関する事故を対象としている。

予後:無事救出, 負傷, 死亡, 行方不明

#### 【水難事故の定義】

屋外における水死または水死寸前に救助された者を対象(自力帰還を含む)。

自動車事故, 船舶事故などの二次溺水, 自然災害に起因する水死, 自殺は対象外。

ただし, 船からの転落による溺水は状況によって対象(都道府県警察の判断に委ねる)。

#### 【データソース】

都道府県警察から提供される事故データを警察庁が集計。

#### 【データの公表】

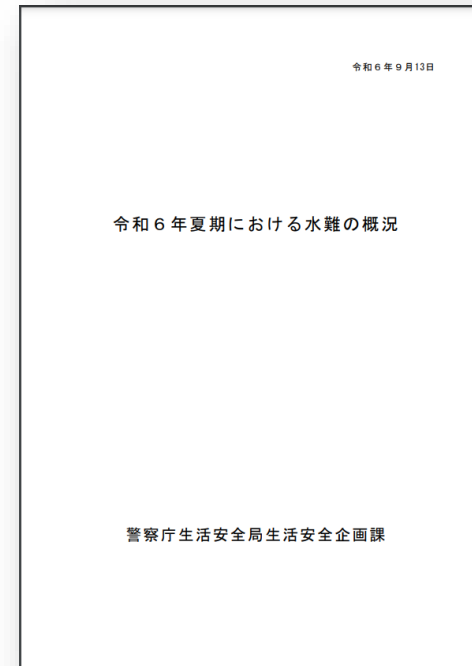
1年の結果を翌年の6月に「令和〇年における水難の概況等」として公表。

夏季の結果をその年の9月に「令和〇年夏期における水難の概況」として公表。

PDFとともに統計データ(Excelデータ)を公表。

#### 【夏季速報 公表項目】

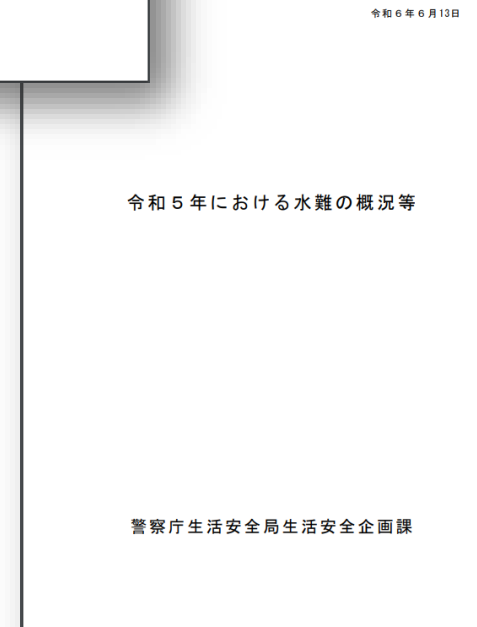
水難事故件数, 水難事故者数, 年齢別, アクティビティ別, 都道府県別



令和6年9月13日

令和6年夏期における水難の概況

警察庁生活安全局生活安全企画課



令和6年6月13日

令和5年における水難の概況等

警察庁生活安全局生活安全企画課

## (2) 2025年夏季の海上保安庁による水難事故データ

### 海上保安庁データ 定義

#### 【集計の対象となる事故の定義】

対象期間:2025年1月~12月(夏季速報は7~8月)

対象水域:海域

対象事故:人身事故(船舶事故以外, マリンレジャー, マリンレジャー以外)

→溺水事故だけでなく, 溺水以外の負傷(イルカに噛まれたなど), 病気, 中毒なども含まれる。

#### 【人身事故の定義】

海水浴, 釣り, スキューバダイビング等, 海洋における余暇活動に伴って発生した事故, 海中転落, 負傷, 病気, 中毒, 自殺, 溺水, 帰還不能, その他を対象\*. 自力帰還を含む. 二次溺水は対象.しかし, 船の転覆による溺水は船舶事故として別集計.

\*海中転落や負傷により死亡した場合, その直接的原因が溺水であるかは不明.

#### 【データソース】

全国の海上保安部署から提供される事故データを海上保安庁が集計.

#### 【データの公表】

1年の結果を翌年に「令和〇年 海難の現況と対策」として公表.

夏季の結果をその年の9月に「夏季(7~8月)の海難発生状況(速報値)


~マリンレジャー活動に伴う事故~」として公表.

日々, 月々のデータを公表(2024年においては夏季速報値のデータと一致しない).

PDFとともに統計データ(Excelデータ)を公表.

#### 【夏季速報 公表項目】

マリンレジャー活動に伴う人身事故者数, アクティビティ別

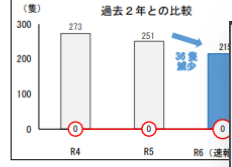


令和6年9月6日  
海上保安庁

夏季(7~8月)の海難発生状況(速報値)  
~マリンレジャー活動に伴う事故~

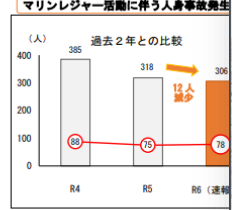
- 船舶事故数(プレジャーボート及び遊漁船)は215隻(昨年同期間比36隻減少)  
死者・行方不明者数は0人(昨年同期間比増減なし)
- マリンレジャー活動に伴う人身事故者数は306人(昨年同期間比12人減少)  
死者・行方不明者数は78人(昨年同期間比3人増加)
- マリンレジャー活動に伴う12歳未満の人身事故者数は28人(昨年同期間比10人減少)  
死者・行方不明者数は2人(昨年同期間比増減なし)

**船舶事故(プレジャーボート及び遊漁船)発生状況**




年度	発生数(隻)
R4	273
R5	251
R6(速報)	215

**マリンレジャー活動に伴う人身事故発生状況**




年度	発生数(人)
R4	385
R5	318
R6(速報)	306

令和5年  
**海難の現況と対策**  
~大切な命を守るために~




船舶事故及び人身事故の現況と防止対策  
救助状況及び救助・救急への取組



海上保安庁

WEB版



# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (3) 警察庁，海上保安庁の非公開データの取得（2025年）

行政機関	公開データ	データ提供依頼	非公開データ [取得]
警察庁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生件数</li> <li>・水難者数</li> <li>・内訳</li> <li>・水域別</li> <li>・年齢</li> <li>・アクティビティ別</li> <li>・都道府県別 (9月16日公開)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開データのローデータ</li> <li>・溺水日時*</li> <li>・溺水時刻*</li> <li>・性別</li> <li>・水域名称*</li> </ul> <p>*個人情報の観点から提供不可</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><del>・性別 (集計値)</del></li> <li><del>・日付 (日毎の集計値)</del></li> <li>・月別 (ローデータ)</li> <li>・都道府県別 (ローデータ)</li> <li>・水域別 (ローデータ)</li> <li>・行為別 (ローデータ)</li> <li>・死傷別 (ローデータ)</li> <li>・年代別 (ローデータ)</li> </ul>
海上保安庁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人身事故者数</li> <li>・内訳</li> <li>・アクティビティ別 (令和7年度未公開)</li> </ul>	<p>3区分 (マリンレジャーに伴う海難事故，マリンレジャー以外の海浜事故，船事故以外に乗船中の事故) での下記事項。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海難発生日時</li> <li>・海難発生場所*</li> <li>・区分</li> <li>・国籍**</li> <li>・性別</li> <li>・年齢(実際の年齢) *</li> <li>・概要**</li> <li>・救命胴衣</li> <li>・死者・行方不明者</li> <li>・気象・海象**</li> </ul> <p>*個人情報の観点から提供不可 **速報版では集計していないため提供不可</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海難発生日時</li> <li>・担任水域管区</li> <li>・事故区分 (マリンレジャーに伴う海浜事故，マリンレジャー以外の海浜事故，船舶海難によらない乗船者の人身海難)</li> <li>・事故内容</li> <li>・性別</li> <li>・年代</li> <li>・行為別</li> <li>・救命胴衣着用有無</li> <li>・予後 (死亡，行方不明，-)</li> </ul>

# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

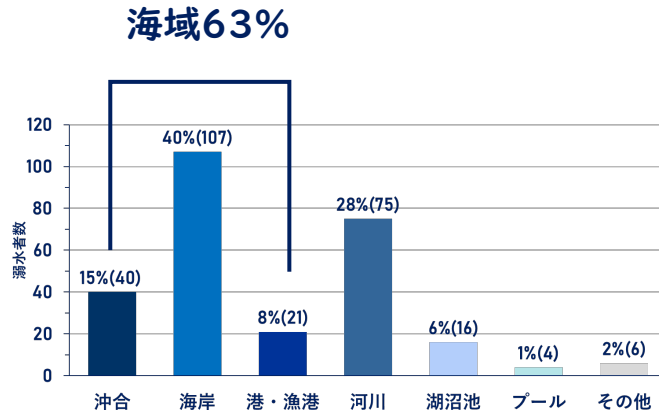
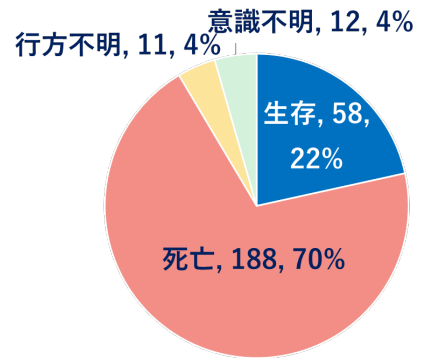
## (4) 夏季溺れ事故報道調査の概要と信頼性の評価方法



### 夏季溺れ事故報道調査結果 概要

2025年7/1～8/31において報道における**溺水事故者数は269人**。  
**溺水者の70%が死亡**，22%が生存。溺水事故が多い水域は海岸40%，次いで河川28%。  
海域（沖合，海岸，港・漁港）は63%であり，**溺水事故の約6割が海域で発生**。

溺水事故者数：**269人**



### 警察庁 水難事故データ (\*非公開データ)

- ① 水難者数と報道の溺水者数の比較
- ② 死者・行方不明者数の比較
- ③ 水難者数と報道の溺水者数の予後比較
- ④ 水難者数と報道の溺水者数の都道府県比較
- ⑤ 水難者数と報道の溺水者数の都道府県・水域比較
- ⑥ 水難者数と報道の溺水者数の水域比較
- ⑦ 水難者数と報道の溺水者数の年齢別(カテゴリー)比較
- ⑧ 水難者数と報道の溺水者数の年代別(比率)比較\*
- ⑨ 水難者数と報道の溺水者数の年代別比較\*
- ⑩ 水難者数と報道の溺水者数の行為別比較\*

### 調査結果の信頼性評価

- ⑪ 事故者数の比較\*
- ⑫ 死者行方不明者数の比較(人身事故者数)\*
- ⑬ 人身事故者数と報道の溺水者数の行為別比較\*
- ⑭ 人身事故者数と報道の溺水者数の年代別(比率)比較\*
- ⑮ 人身事故者数と報道の溺水者数の年代別比較\*
- ⑯ 人身事故者数と報道の溺水者数の性別比較\*

### 海上保安庁 海難事故データ (\*非公開データ)

注； 溺水，海中転落，帰還不能，その他を対象(負傷，病気，中毒，自殺除く)

# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (5) 2025年夏季水難事故 警察庁データと報道データの比較

水難事故者について、2024年では報道は警察データの44%、2025年は50%。

死者・行方不明数は、2024年では報道は警察データの76%、2025年は83%。2025年は、死者・行方不明者数について、報道データは警察の8割を超える。

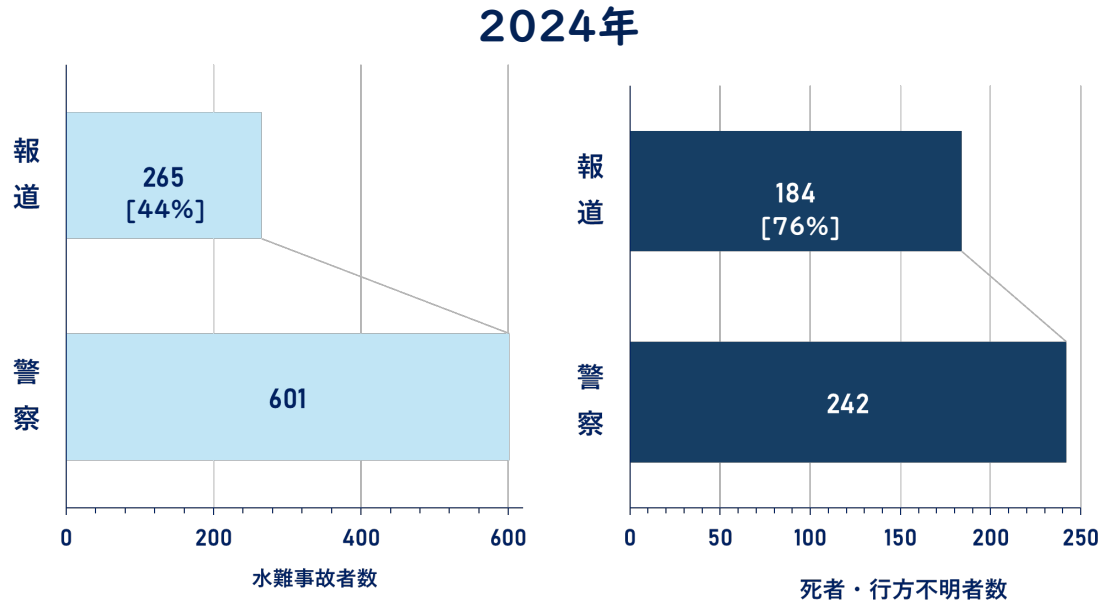


Fig. 8.1 2024年の水難事故者数と死者・行方不明者の比較  
警察データ：9/16公開

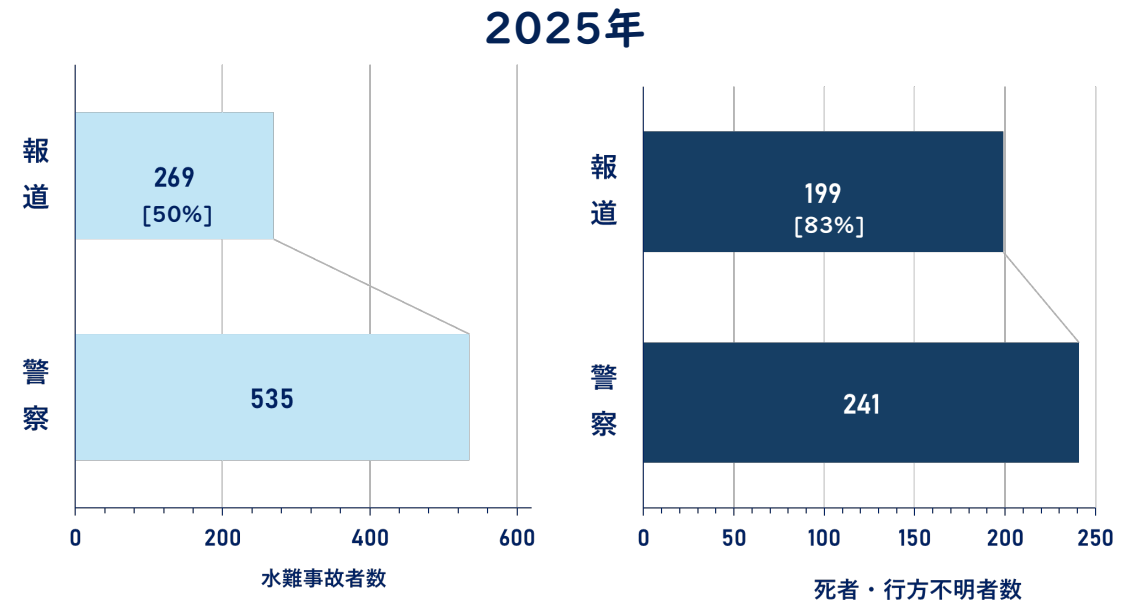


Fig. 8.2 2025年の水難事故者数と死者・行方不明者数の比較  
警察データ：9/16公開

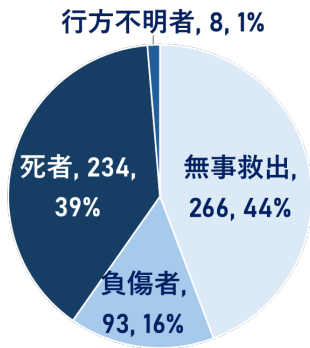
# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (5) 2025年夏季水難事故 警察庁データと報道データの比較

死者・行方不明者について、2024年では警察が40%、報道が69%、2025年は警察が45%、報道が74%であった。  
2カ年とも報道データは約7割を占めており、死者・行方不明者を多く報道する特徴が見られた。

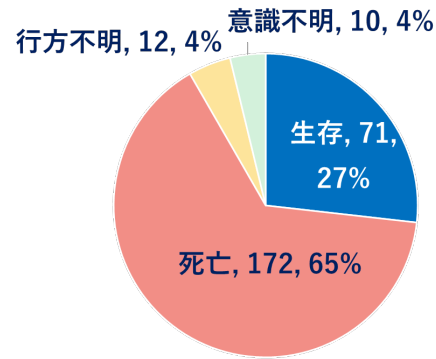
2024年

警察庁データ



死者・行方不明者； **40%**

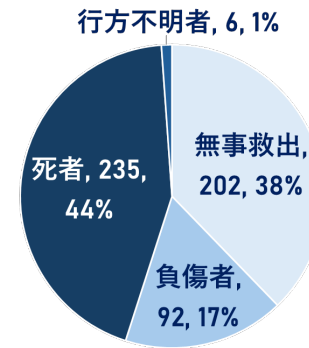
報道データ



死者・行方不明者； **69%**

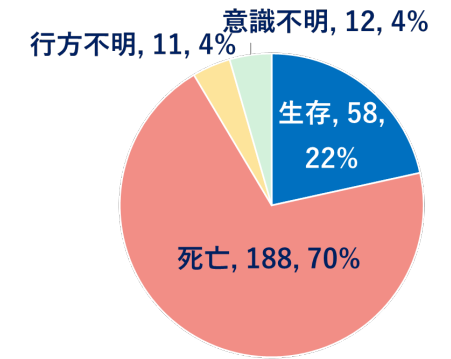
2025年

警察庁データ



死者・行方不明者； **45%**

報道データ



死者・行方不明者； **74%**

Fig. 8.3 2024年の水難事故者の予後  
警察データ：9/16公開

Fig. 8.4 2025年の水難事故者の予後  
警察データ：9/16公開

# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (5) 2025年夏季水難事故 警察庁データと報道データの比較

**警察と報道ともに、神奈川県・沖縄県の水難事故が多い。**一方、都道府県別の事故発生数は警察と報道で一致しない。

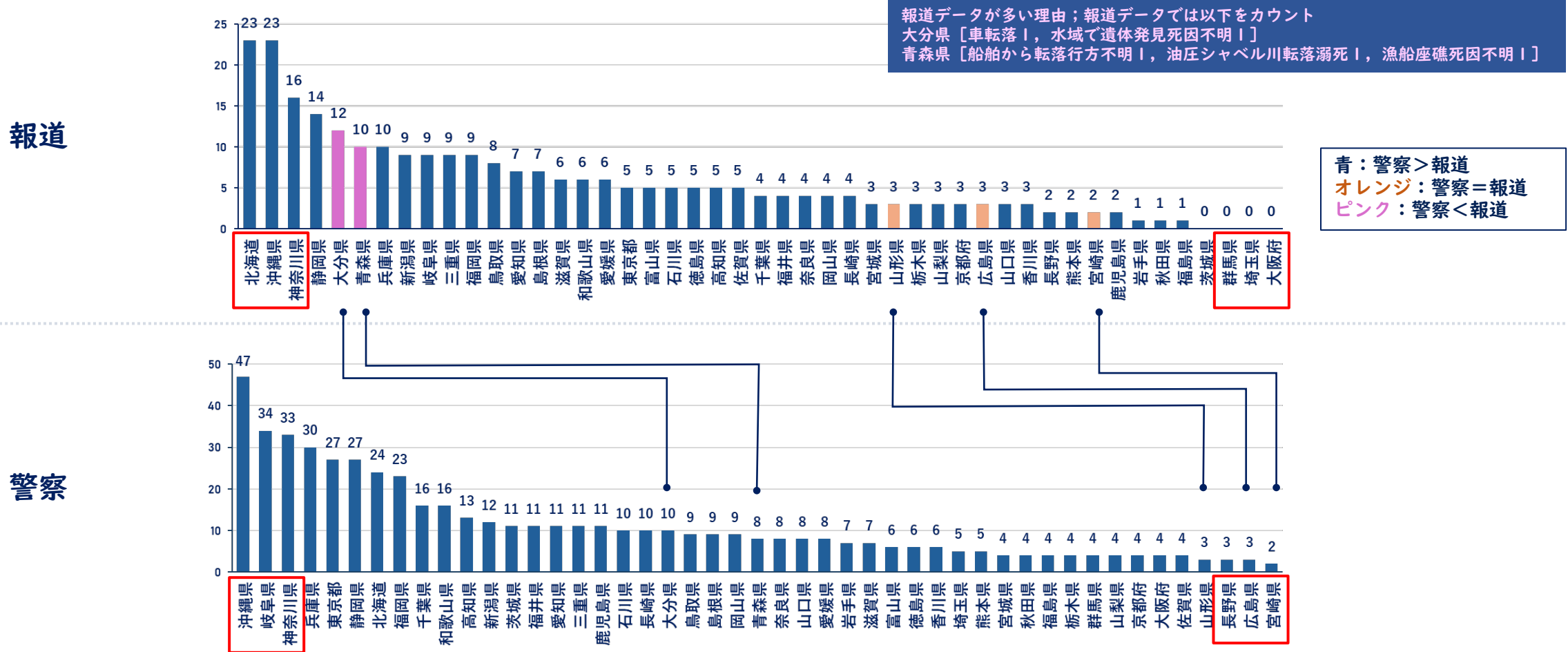


Fig. 8.5 報道データと警察データの都道府県別比較 (2024年・2025年)



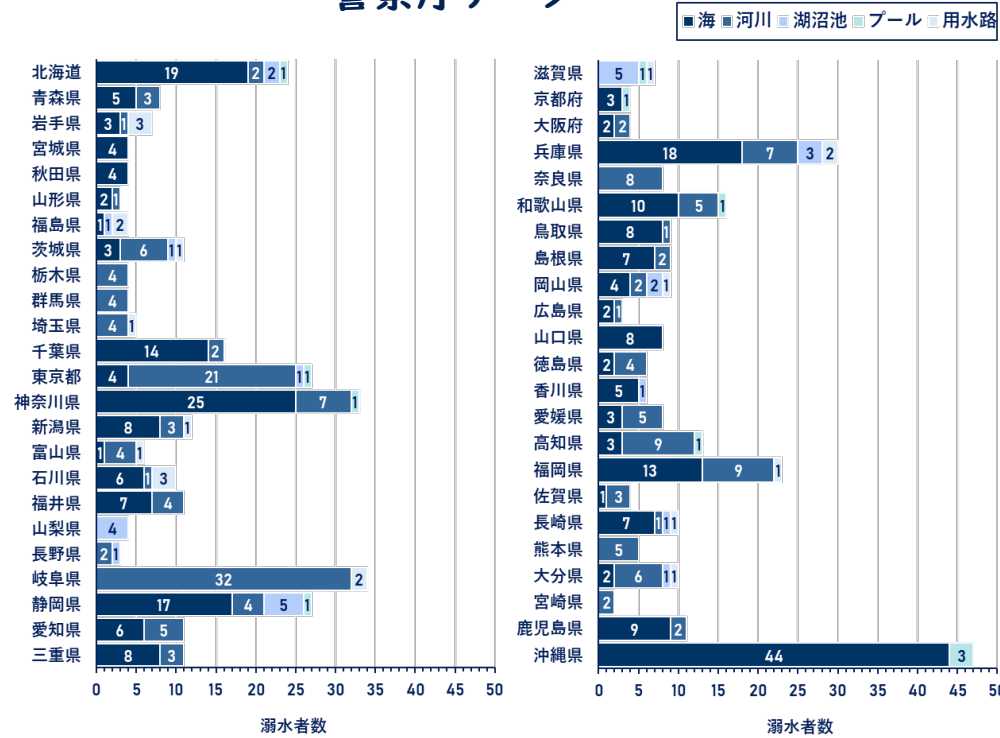
# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (5) 2025年夏季水難事故 警察庁データと報道データの比較

水難事故が多い神奈川県・沖縄県であり、海域における事故が多い。

2025年

警察庁データ



報道データ

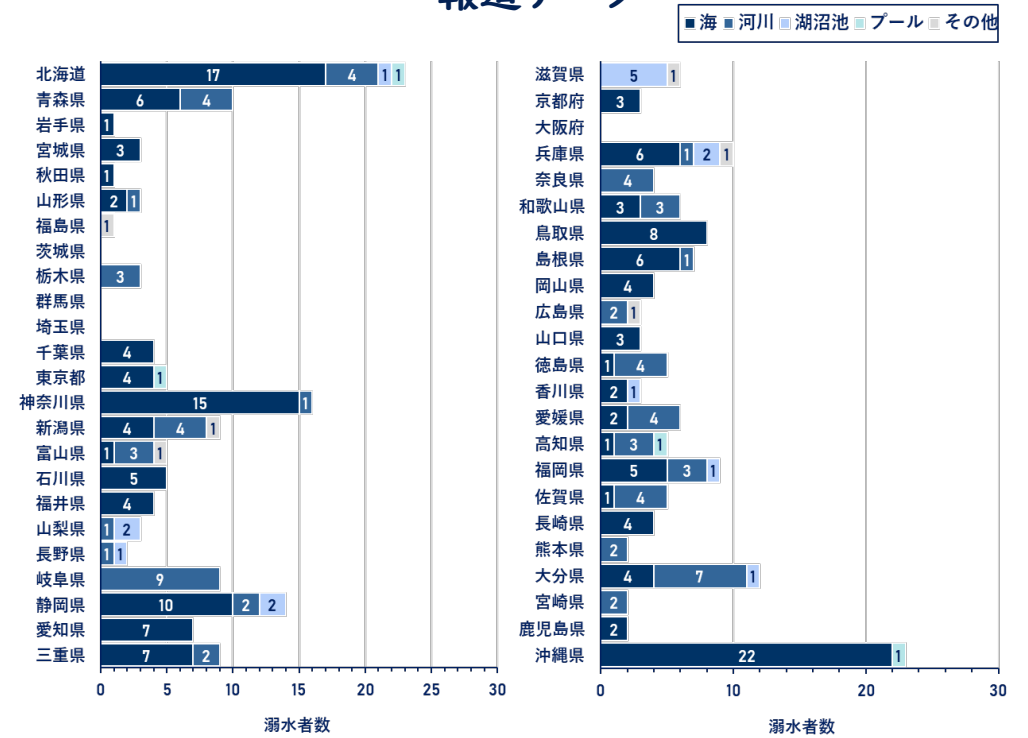


Fig. 8.6 報道データと警察データの都道府県別・水域別比較 (2025年)



# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (5) 2025年夏季水難事故 警察庁データと報道データの比較

警察, 報道ともに, 最も水難事故が発生しやすい水域は海であり, 次いで河川であった。特徴に大きな違いはみられない。

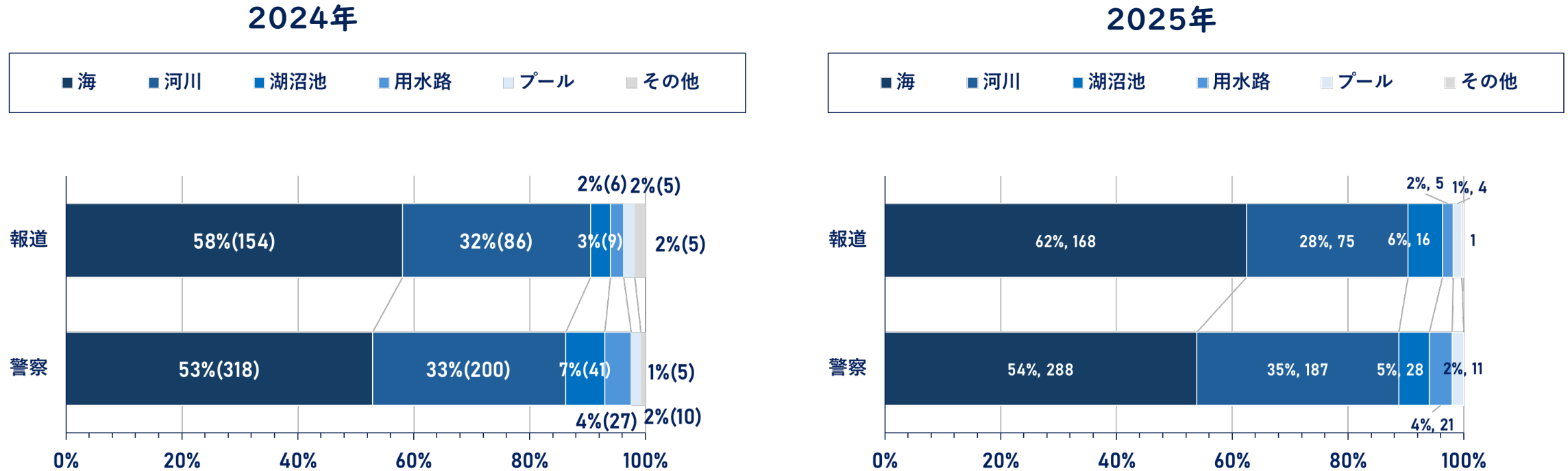


Fig. 8.7 報道データと警察データの水域別比較 (2024年・2025年)

# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (5) 2025年夏季水難事故 警察庁データと報道データの比較

**未就学児童や小学生を含む未成年の死者・行方不明者数は警察と報道は同程度である。**

**特に2025年は、未就学児童、小学生、中学生の死者・行方不明者数は警察と報道は一致している。**

### 2024年

	溺水者数		死者・行方不明者	
	警察	報道	警察	報道
中学生以下	105	50	18	21
未就学児童	20	11	3	4
小学生	55	23	6	6
中学生	30	16	9	11
高校生又はこれに相当する年齢の者	28	10	9	7
高校卒業に相当する年齢以上65歳未満の者	308	119	97	84
65歳以上の者	143	69	102	68
不明	17	17	16	4
合計（人）	601	265	242	184

### 2025年

	溺水者数		死者・行方不明者	
	警察	報道	警察	報道
中学生以下	103	44	15	15
未就学児童	20	6	1	1
小学生	37	12	4	4
中学生	46	26	10	10
高校生又はこれに相当する年齢の者	18	8	8	6
高校卒業に相当する年齢以上65歳未満の者	242	120	94	89
65歳以上の者	146	75	108	73
不明	26	22	16	16
合計（人）	535	269	242	199

Fig. 8.7 報道データと警察データの年代（カテゴリー）比較（2024年・2025年）

# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (5) 2025年夏季水難事故 警察庁データと報道データの比較

年齢に関して、2カ年とも警察と報道に、特徴に大きな違いはみられない。

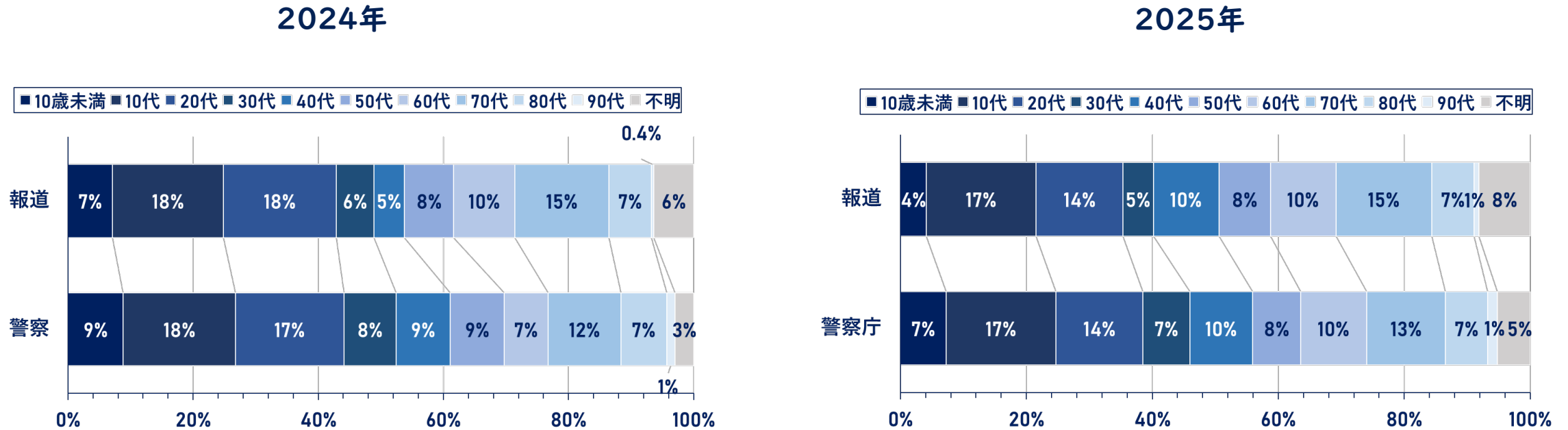


Fig. 8.8 報道データと警察データの年代（比率）比較（2024年・2025年）

# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (5) 2025年夏季水難事故 警察庁データと報道データの比較

年代について、2024年は警察が10代、報道が20代、2025年は警察・報道ともに10代による事故が最も多かった。  
10代20代といった若者の事故が多い。また、70代による事故も多くみられた。

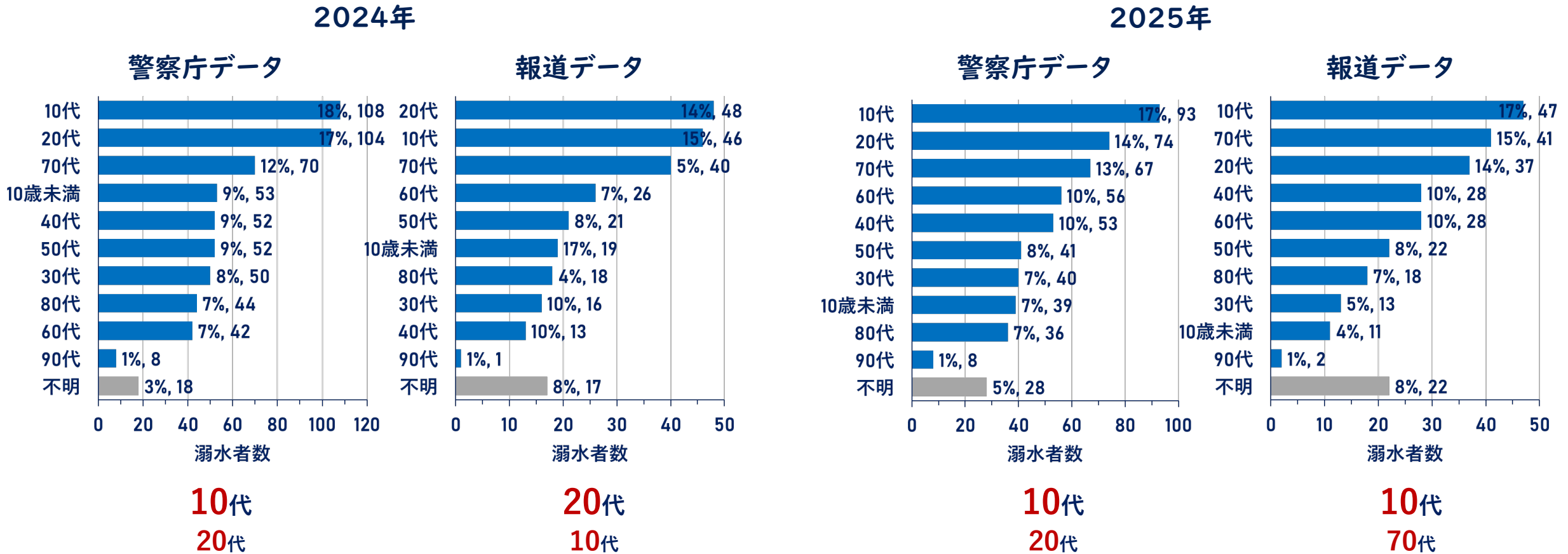


Fig. 8.9 報道データと警察データの年代別比較 (2024年・2025年)

# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (5) 2025年夏季水難事故 警察庁データと報道データの比較

行為別では、2024年、2025年ともに警察が水遊び、報道が遊泳中における事故が最も多かった。特徴に大きな違いはみられない。

2024年

2025年

警察庁データ

報道データ

警察庁データ

報道データ

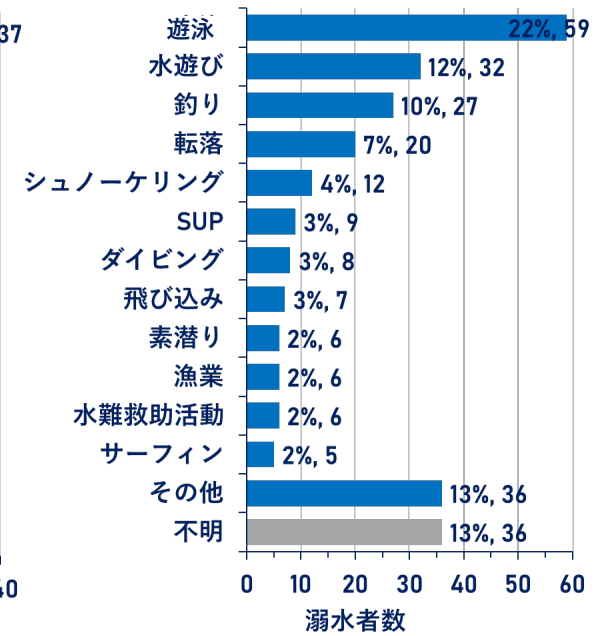
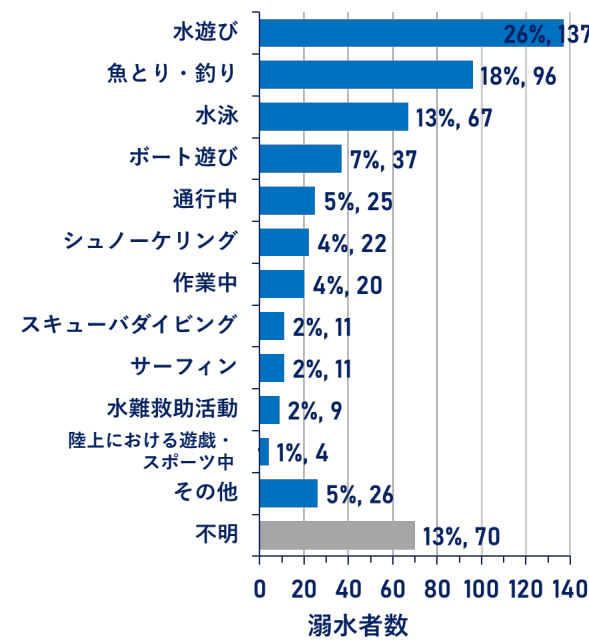
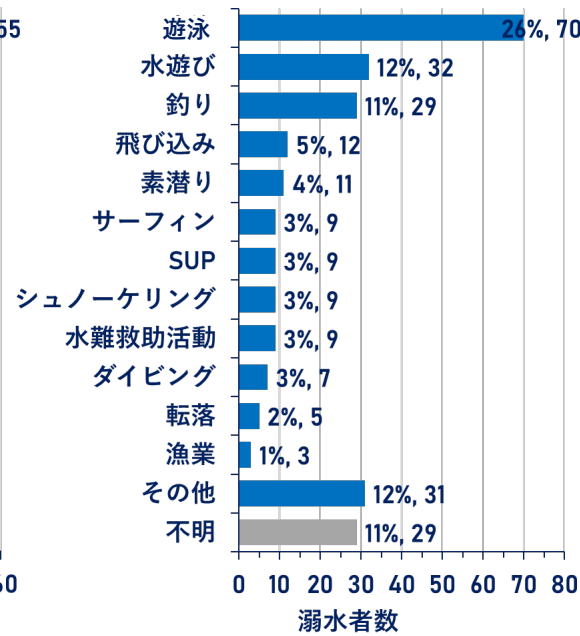
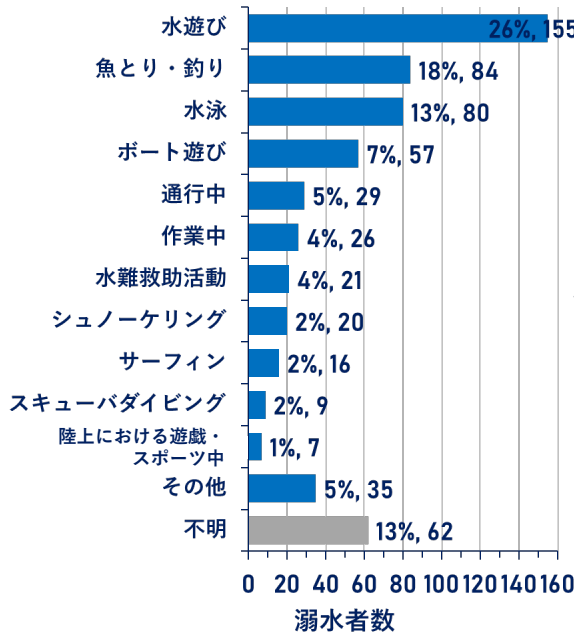


Fig. 8.10 報道データと警察データの行為別比較 (2024年・2025年)

# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (6) 2025年夏季水難事故 海上保安庁データと報道データの比較

水難事故者について、2024年では報道は海上保安庁データの74%，2025年は50%。

死者・行方不明数は、2024年では報道は海上保安庁データの147%，2025年は91%。2025年は、死者・行方不明者数について、報道データは海上保安庁の9割を超える。

2024年

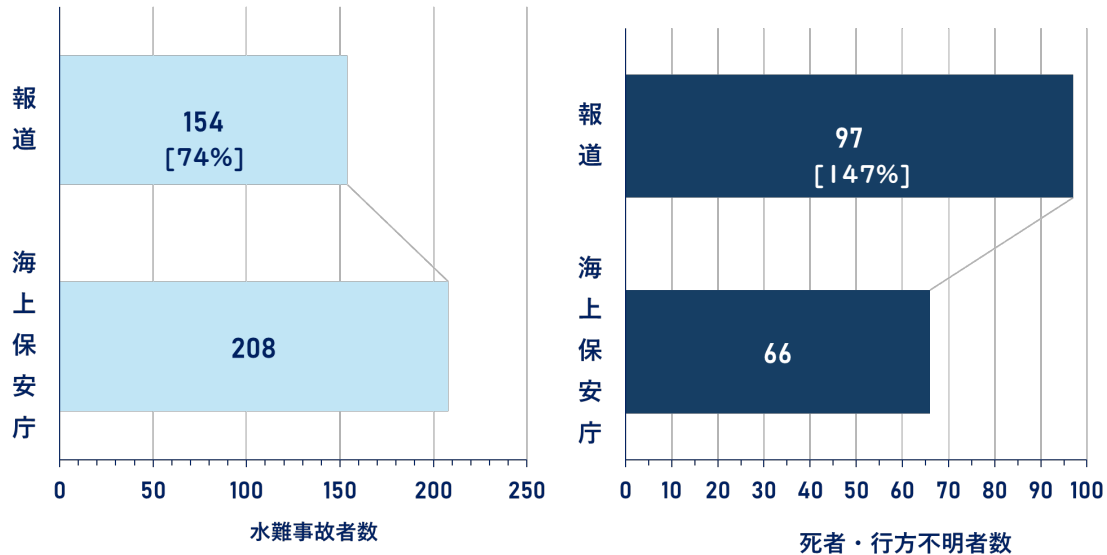


Fig. 8.11 2024年の水難事故者数と死者・行方不明者の比較 (海上保安庁，報道，海域のみ)

2025年

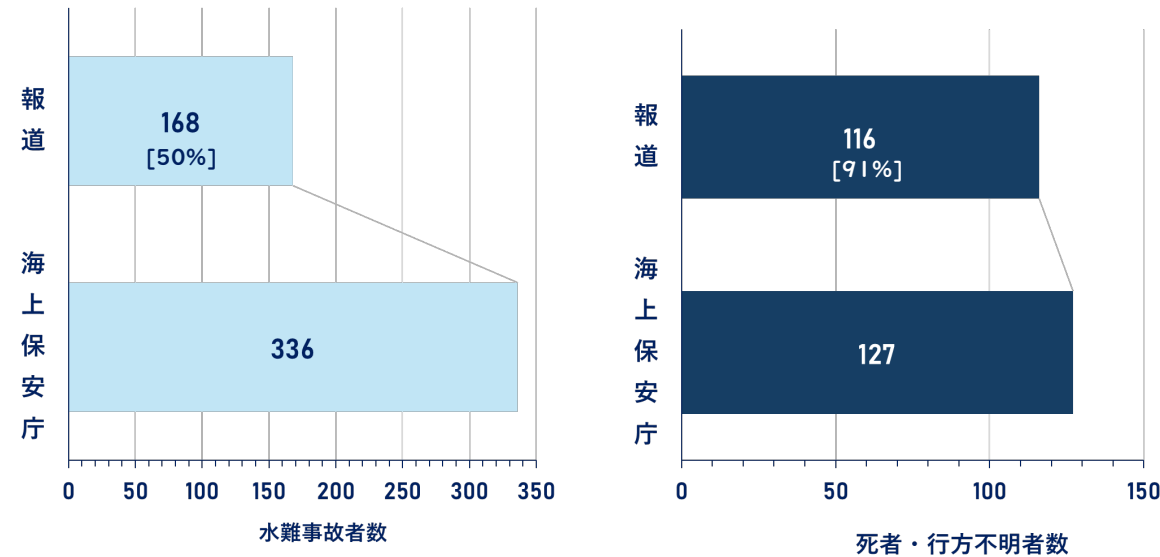


Fig. 8.12 2025年の水難事故者数と死者・行方不明者数の比較 (海上保安庁，報道，海域のみ)

# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (6) 2025年夏季水難事故 海上保安庁データと報道データの比較

行為別では、海上保安庁、報道ともに遊泳中の事故が最も多かった(2024, 2025)。特徴に大きな違いはみられない。

2024年

2025年

海上保安庁データ

報道データ

海上保安庁データ

報道データ

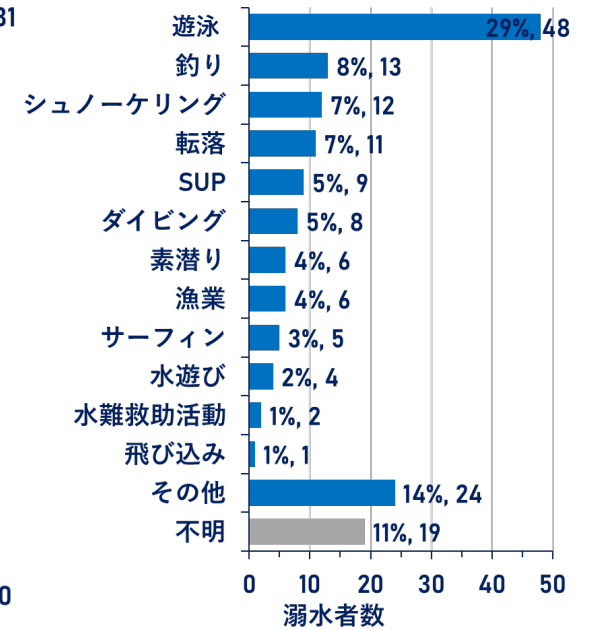
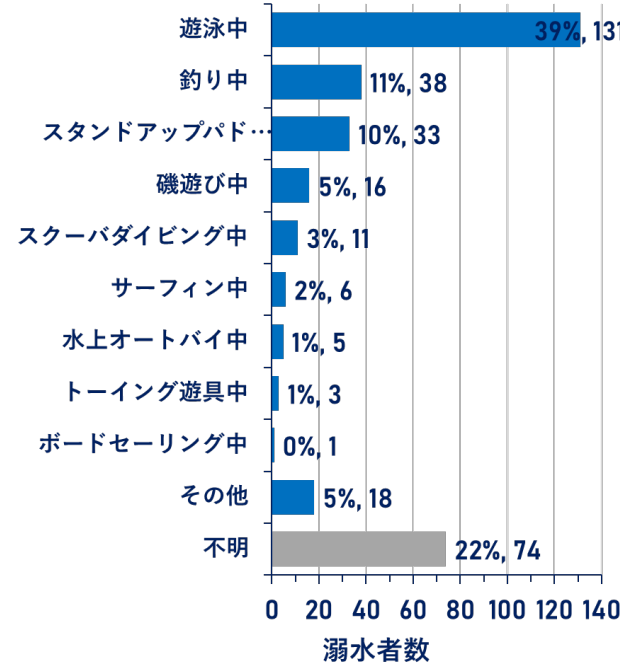
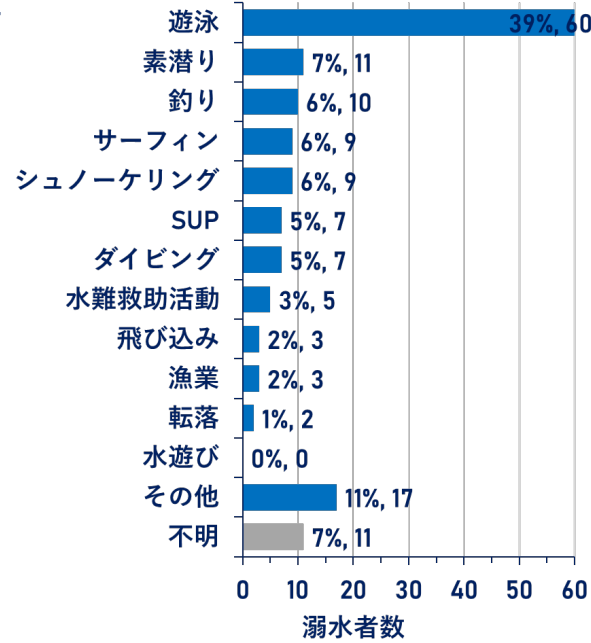
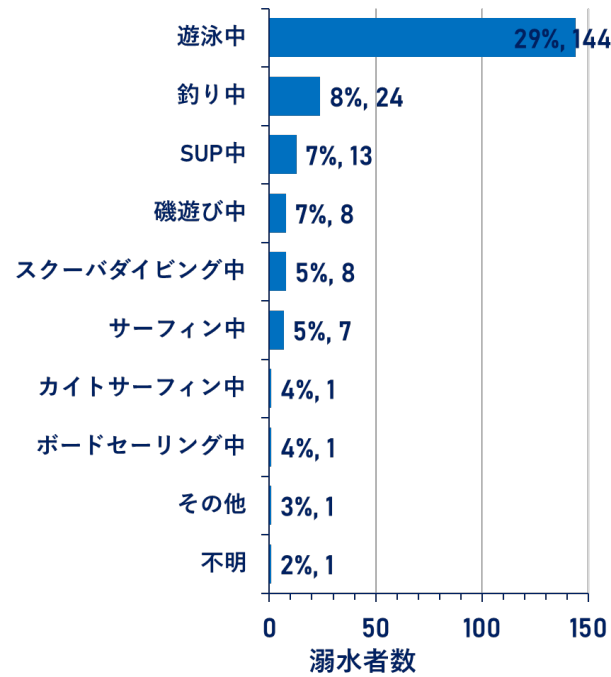


Fig. 8.13 報道データと海上保安庁データの行為別比較 (2024年・2025年)

# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (6) 2025年夏季水難事故 海上保安庁データと報道データの比較

年齢に関して、2カ年とも海上保安庁と報道に、特徴に大きな違いはみられない。

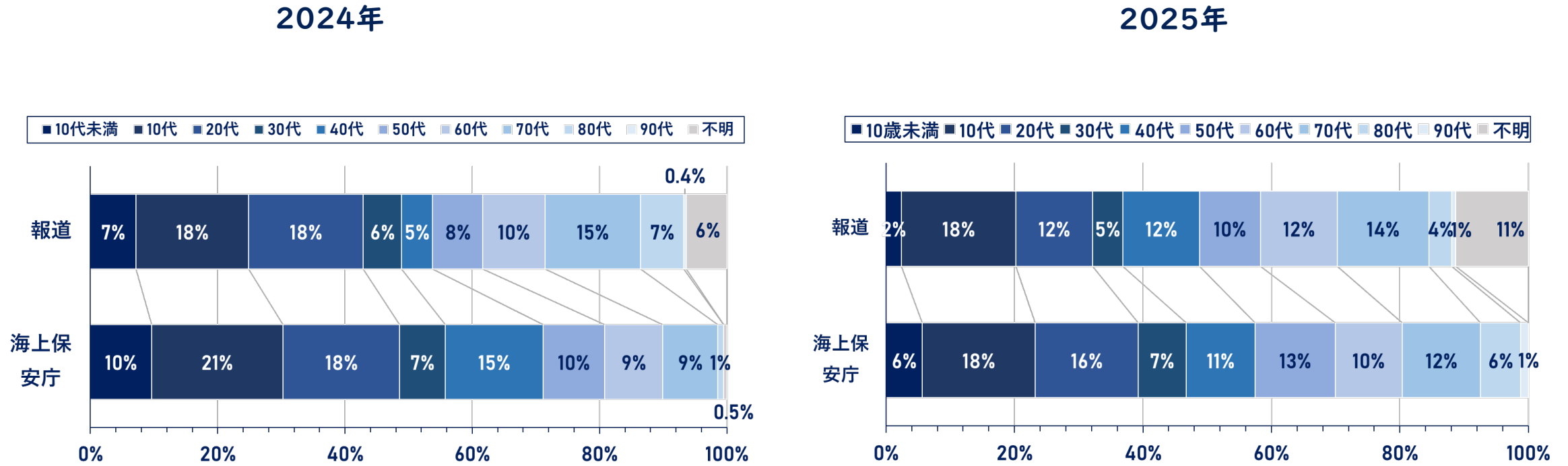


Fig. 8.14 報道データと海上保安庁データの年代別比較 (2024年・2025年)

# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (6) 2025年夏季水難事故 海上保安庁データと報道データの比較

年代について、2024年は海上保安庁が10代、報道が20代、2025年は海上保安庁・報道ともに10代による事故が最も多かった。  
10代20代といった若者の事故が多い。また、70代による事故も多くみられた。

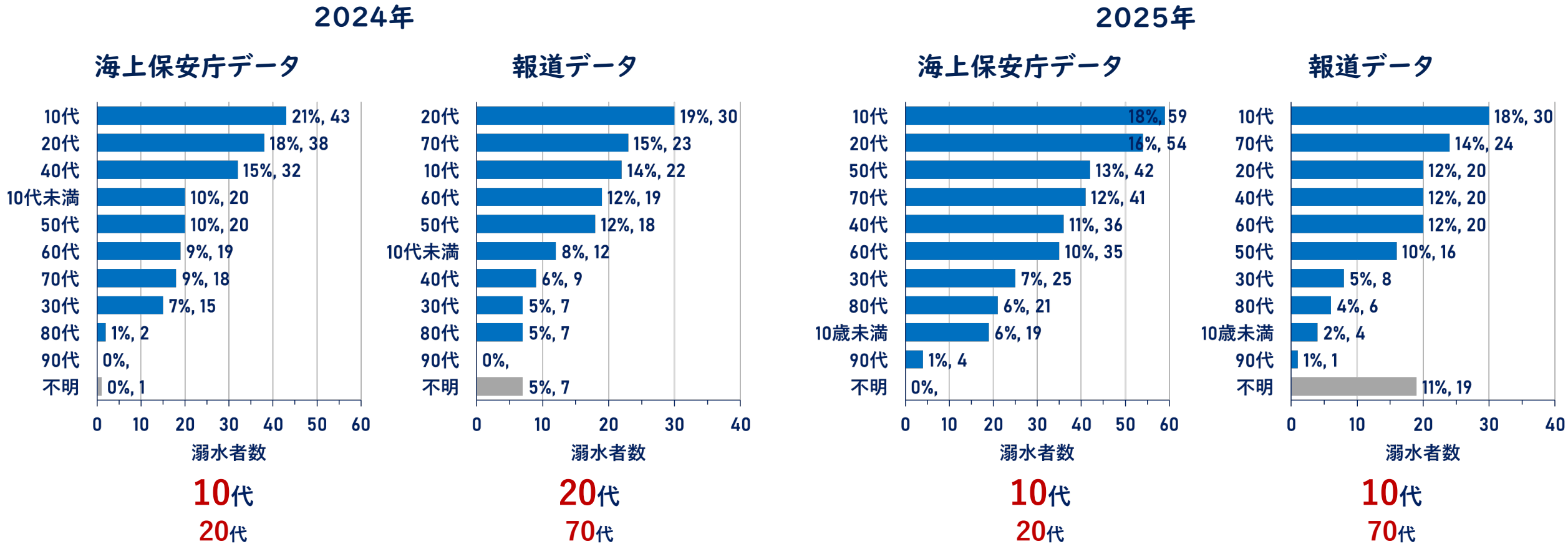


Fig. 8.15 報道データと海上保安庁データの年代別比較 (2024年・2025年)

# 8. 報道データと警察庁データ・海上保安庁データの比較

## (6) 2025年夏季水難事故 海上保安庁データと報道データの比較

性別では、2カ年とも、海上保安庁、報道ともに男性による事故が7割以上を占める。特徴に大きな違いはみられない。

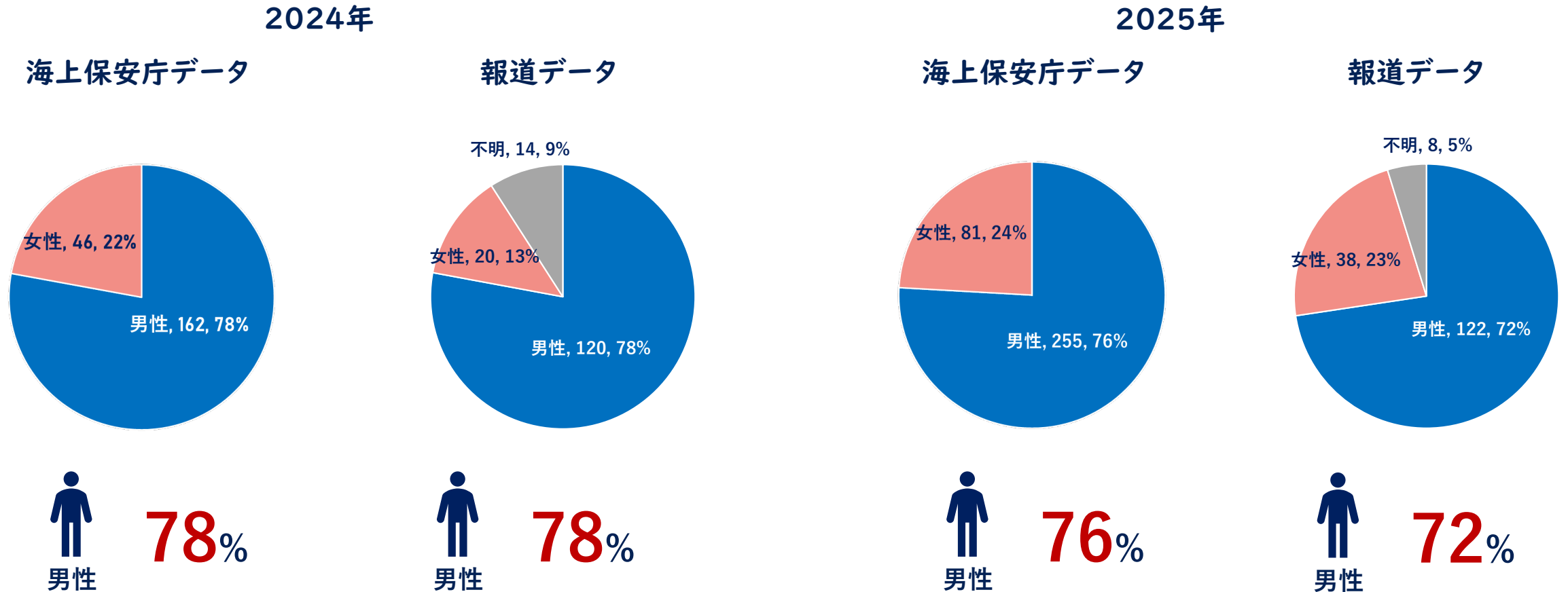


Fig. 8.16 報道データと海上保安庁データの性別比較 (2024年・2025年)

## 参考資料 水難事故の要因の記述

# 参考資料 水難事故の要因の記述

- 生存の場合は、死亡や行方不明に比べて、水難事故要因が記述されているケースが多い。
- 海（沖合）、河川、港・漁港の場合は、水難事故要因が記述されているケースが多い。一方、海岸の場合は少ない。

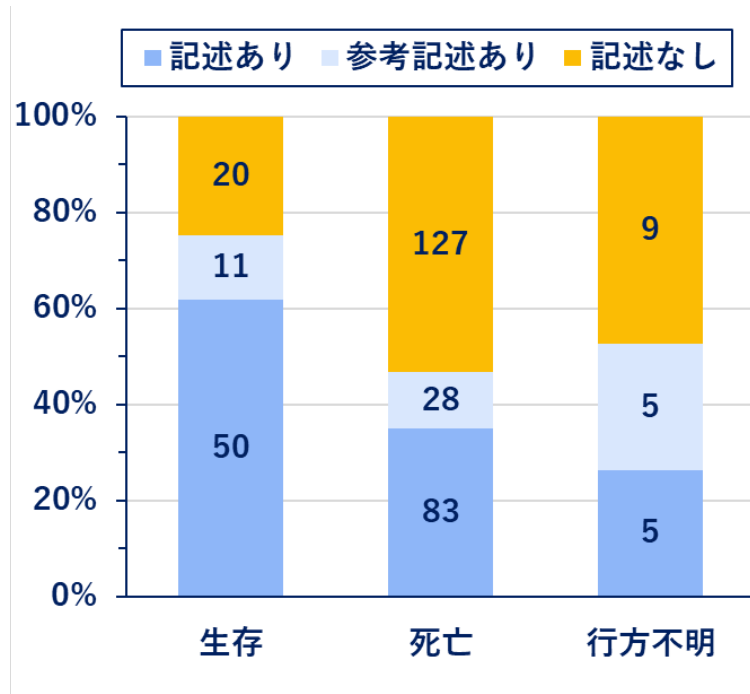


Fig. a-1 生存・死亡・行方不明別の水難事故要因の記述（2025年6月1日～8月31日）

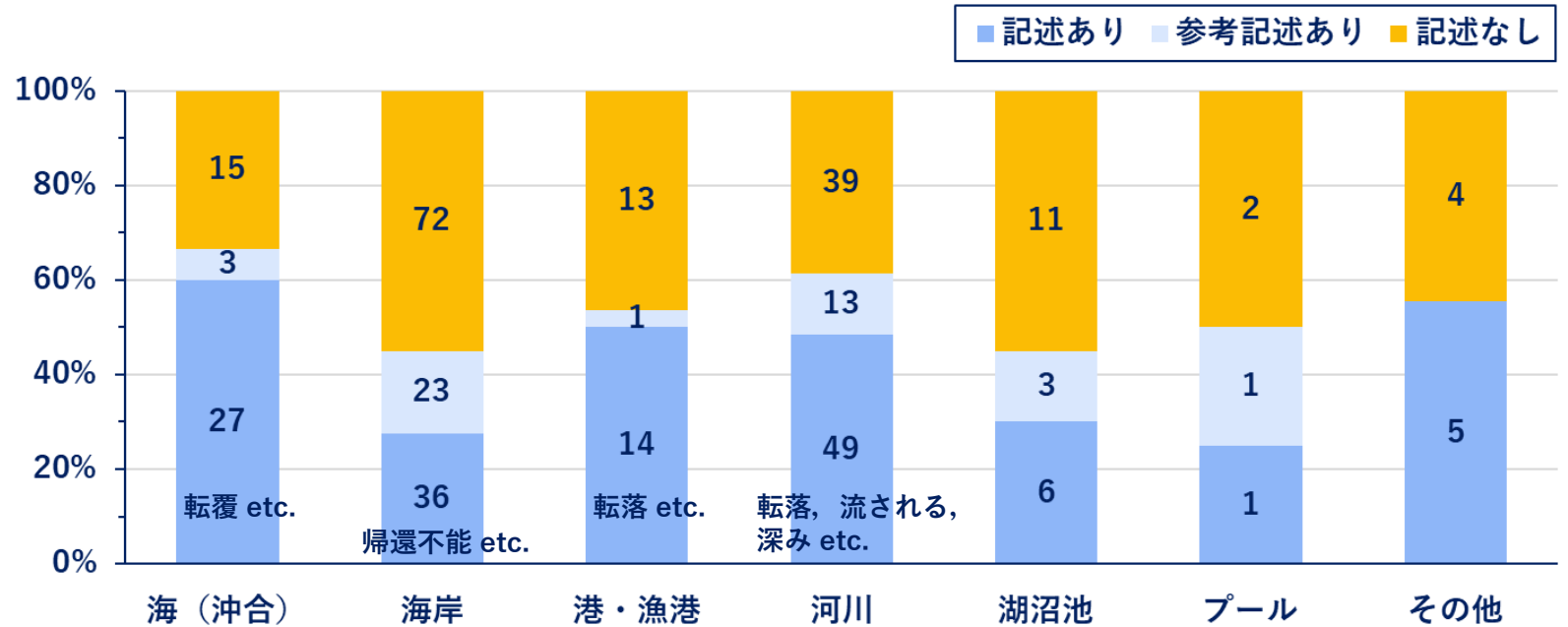


Fig. a-2 水域別の水難事故要因の記述（2025年6月1日～8月31日）

## 参考資料 2025年海水浴場等での救助実績速報値

# 参考資料 2025年海水浴場等での救助実績

2025年 [2026年3月30日時点の値]



\*e-log 194ヶ所 [95%] + 提出8ヶ所

\*自然要因:風 23%, 離岸流 43%, 沿岸流 4%, 地形 9%, 波 4%, その他 18%  
個人要因:泳力不足 51%, パニック 18%, 疲労 17%, 飲酒 4%, けいれん 1%, その他 9%  
\*\*134人のうち71人は救助や応急手当の救急車要請

2024年



\*自然要因:風 34%, 離岸流 26%, 沿岸流 5%, 地形 6%, 波 3%, その他 26%  
個人要因:泳力不足 50%, パニック 15%, 疲労 15%, 飲酒 2%, けいれん 1%, その他 17%